

現場説明事項

工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事（第1期工事）

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、市立みずほ台小学校の東側1系統のトイレの改修工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工事は目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、工事用図面 A4（A3 二つ折）を3部製本し提出すること。
- 2) 契約工期は契約日から令和3年10月15日とする。
- 3) 下記内容を遵守し、令和3年9月30日までに現場使用前検査を受け工事を完了すること。
 - ① 石綿撤去作業は夏季休業期間におこなうこと。
 - ② 夏季休業期間以外に行う騒音、振動、異臭等を伴う工事は、学校休業日に施工すること。
 - ③ 仮設計画については学校、監督員と協議の上、決定すること。
- 4) 大気汚染防止法の改正により、石綿の規制が強化されているため（一部の規定を除き令和3年4月1日に施行）、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」に基づき工事を行うこと。
- 5) 石綿障害予防規則に基づく石綿作業主任者を選任すること。
- 6) 特別管理産業廃棄物管理責任者を選任すること。
- 7) 降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 8) みずほ台小学校の学校環境・行事を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。
- 9) 駐車スペースは、教職員も使用するため、工事車両・廃材コンテナ・現場事務所程度とし、関係者（監督員・教育委員会・学校関係者）と協議し設置すること。
- 10) 仮設については、周辺施設、住民等に十分注意し、安全を確保すること。
- 11) 工事中の騒音・振動等の防止に努めるとともに、近隣道路に違法駐車しないこと。
- 12) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 13) 同施設において、「市立デイサービスセンターみずほ台空調設備更新工事」・「市立みずほ台小学校高圧交流負荷開閉器（PAS）改修工事」を予定しているため、状況に応じて

協議を行い、工事を進めること。

- 1 4) 「建設業における 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」等を参考に、感染防止対策を行うこと。
- 1 5) ホルムアルデヒド等有害化学物質の発生材は、MSDS（化学物質安全データシート）等を確認した上で監督員に提出すること。
- 1 6) 提出書類については、富士見市様式で遅滞なく提出すること。
- 1 7) 竣工図は、監督員と協議の上、CAD データを作成すること。

参考資料

設 計 仕 様 書

工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事(第1期工事)

工事場所 富士見市 東みずほ台3丁目 地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事(第1期工事)						
請負工事費						
工事概要 西棟東側トイレ改修 機械:衛生器具・設備配管の改修 建築:床・壁・天井の内装改修 アスベスト撤去工事 電気:照明器具の改修						
総括表						上段 設計変更 下段 原設計 備 考
名称	摘要	数量	単位	金額		
直接工事費		1	式			
計		1	式			
共通仮設費		1	式			
純工事費		1	式			
現場経費		1	式			
工事原価		1	式			
一般管理費		1	式			
工事価格	スクラップ控除後				スクラップ控除前	スクラップ控除
改め						
消費税相当額		1	式		10%	
請負工事費						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	工事共通仮設費												
	準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用		1.0		式							
	仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、作業員施設等の費用		1.0		式							
	工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用		1.0		式							
	環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置隣接物の養生等に要する費用		1.0		式							
	動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用		支給									(共通仮設費率)+ (積上げ)
	屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用		1.0		式							
	機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用		1.0		式							
	その他	材料試験等に要する費用		1.0		式							
	計												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設工事						
キャスターゲート	W6.0m×H2.0	2.0	ヶ所			
ゲートフェンス	1800×1800	121.0	m			代価表-10
仮設間仕切り	軽鉄下地 合板B種	96.7	m2			
交通誘導員		1.0	式			代価表-11
仮設鉄板敷	1524×6096×22	408.0	m2			代価表-12
環境測定(第三者機関依頼)	作業前 (敷地境界4点)	1.0	式			
環境測定(第三者機関依頼)	作業中 2回 (敷地境界4点+作業付近1点+プラント付近1点)	2.0	式			
環境測定(第三者機関依頼)	作業後 (敷地境界4点)	1.0	式			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
環境測定(第三者機関依頼)	放流水分析(作業中1回)					
	1リットルあたり50本以下 検出限界値	1.0	回			
環境測定(第三者機関依頼)						
	事前調査費、報告書作成費	1.0	回			
仮設トイレ						
	水洗 洋式 学校用	1.0	台			代価表-13
仮設トイレ給排水工事						
		1.0	式			代価表-14
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	建築工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	躯体工事		1.0	式			
3	木工事		1.0	式			
4	金属工事		1.0	式			
5	左官工事		1.0	式			
6	建具工事		1.0	式			
7	塗装工事		1.0	式			
8	内装工事		1.0	式			
9	雑工事		1.0	式			

(P. - - 1)

(_____)
(_____)

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
10	撤去工事		1.0	式			
11	処分費		1.0	式			
	小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設工事												
	養生費(外部改修)		建物ヨリ2.0m範囲	17.4		m2							
	整理清掃後片付け(外壁改修)		建物ヨリ2.0m範囲	17.4		m2							
	くさび緊結式足場		手摺先行方式 抜止め機能付型	82.2		m2							
	ネット状養生シート		防災Ⅰ類	104.0		m2						代価表-3	
	墨出し		複合改修	180.0		m2							
	養生費(内部改修)		複合改修	180.0		m2							
	整理清掃後片付け(内壁改修)		複合改修	180.0		m2							
	内部仕上足場(改修)		脚立足場	180.0		m2						代価表-4	

(P. - - 3)

(_____)
(_____)

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
養生費(内部改修)	搬出入路部分	150.0	m2			
整理清掃後片付け(内壁改修)	搬出入路部分	150.0	m2			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2 躯体工事						
生コンクリート	所沢					
	FC-24 スランプ ^o 18cm	0.4	m3			
軽量コンクリート						
	FC-24 スランプ ^o 18cm 比重1.85	3.2	m3			
コンクリート打設手間						
	人力	3.6	m3			代価表-5
コンクリート場内小運搬						
		1.0	式			
普通合板型枠						
	小型構造物用型枠	2.7	m2			
型枠運搬						
	4t車	2.7	m2			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	木工事						
	造作材	珩集成材	0.35	m3			
	大工手間	出入口枠 片開き戸程度	1.0	ヶ所			
	大工手間	開口見切り枠	34.90	m			
	大工手間	ガラススクリーン枠	11.20	m			
	計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 金属工事						
差筋アンカー	D13 横向き 金属拡張	120.0	ヶ所			
差筋アンカー部フレア溶接		1.0	式			
天井 あと施工アンカー	上向き ARケミカルセッター 全ネジ HP-10程度	351.0	ヶ所			
床 溶接金網敷	φ6×150×150	63.4	m2			
床点検口	一般型貼物用 ステンレス目地 600角	3.0	ヶ所			
ライニング 軽量鉄骨壁下地	W=100 捨張りあり	37.1	m2			
軽量鉄骨壁下地	W=65 捨張りあり	71.9	m2			
壁 軽量鉄骨壁下地	W=65 開口補強 SD-1 600×1200 四方	4.0	ヶ所			
壁 軽量鉄骨壁下地	W=65 開口補強 開口見切り部	61.0	m			

(P. - - 7)

(_____)
(_____)

富士見市 総務部 営繕課

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井下地	19形 @300 直張用	38.6	m2			
軽量鉄骨天井下地	19形 @225 直張用	96.8	m2			
天井点検口	アルミ製 450角 内外枠共額縁	12.0	ヶ所			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5 左官工事						
(内部)						
床 モルタル金ごて	厚28 貼物下	132.0	m2			
建具枠廻りモルタル詰め	内部建具	8.9	m			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6 建具工事						
SD-1 片開き点検口	W600×H1200	4.0	ヶ所			
SD-1 取付調整費	運搬費共	1.0	式			
AW-1 滑り出し窓	カバー工法 W720×H710	6.0	ヶ所			
AW-1 取付調整費	運搬費共	6.0	ヶ所			
AW-1 養生		6.0	ヶ所			
AW-1 清掃跡片付け		6.0	ヶ所			
AW-1 撤去費		6.0	ヶ所			
AW-1 撤去材場内集積費		6.0	ヶ所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW-1 撤去材場外搬出処分費		6.0	ヶ所			
AW-1 現場シーリング費		38.6	m			
AW-1 クリーニング費		3.1	m2			
AW-1' すべり出し窓	網戸取付 W720×H710	1.0	ヶ所			
AW-1' 内開き網戸(合成樹脂)	W720×H710	1.0	ヶ所			
AW-1' 取付調整費	運搬費共	1.0	ヶ所			
AW-1' クリーニング費		0.5	m2			
AW-2 すべり出し窓	網戸取付 W720×H710	1.0	ヶ所			
AW-2 内開き網戸(合成樹脂)	W360×H710	1.0	ヶ所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	AW-2						
	取付調整費	運搬費共	1.0	ヶ所			
	AW-2						
	クリーニング費		1.0	m2			
	LSD-1						
	片引きハンガードア	W1000×H1900	1.0	ヶ所			
	WD-1						
	片開きフラッシュ戸	額・ガラリ付 W610×H2000 タモ練付	1.0	ヶ所			
	型板強化ガラス	厚4.0 シーリングC種	5.1	m2			
	硝子クリーニング		10.2	m2			
	フロストガラス	1F 男子トイレ 厚12.0 W560×H625	1.0	ヶ所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7 塗装工事						
CL塗り	木建 枠共					
	木部 工程B種 下地調整RB種(新規面)	3.5	m2			
SOP塗り						
	鋼製建具 工程A種 錆止め別途	8.4	m2			
素地ごしらえ						
	鉄鋼面 C種	8.4	m2			
CL塗り	素地ごしらえ共 工程A種 素地B種					
	木部細幅物 開口見切り枠	34.9	m			
CL塗り	素地ごしらえ共 工程A種 素地B種					
	木部細幅物 ガラススクリーン枠	11.2	m			
EP-G塗り	天井					
	けい酸カルシウム板面 素地ごしらえ共	38.6	m2			代価表-6
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	内装工事						
	床						
	ビニル床シート	厚2.0 多湿部 突付け 無地	132.0	m2			
	床						
	見切り押え	への字形 アルミ	10.6	m			
	ソフト巾木	H=60	188.0	m			
	壁						
	ガラスウール	厚50 24kg/m3	71.9	m2			
	壁						
	化粧けい酸カルシウム板	厚6.0 不燃 アルミジョイナー共	445.0	m2			
	壁						
	耐水石膏ボード	厚12.5 突付け	93.1	m2			
	壁						
	耐水石膏ボード	厚12.5 GL工法 突付け	352.0	m2			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライニング 化粧けい酸カルシウム板	厚6.0 不燃 アルミジョイナー共	37.1	m2			
ライニング 耐水石膏ボード	厚12.5 突付け	37.1	m2			
天井 けい酸カルシウム板	厚6.0 突付	38.6	m2			
天井 化粧石膏ボード	厚9.5 突付け トラバーチン	96.8	m2			
天井 塩ビ廻り縁		193.0	m			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9 雑工事						
建具廻りシーリング	MS-2 20×10程度	57.2	m			
ライング甲板取合い シリコンシーリング	MS-2 10×10程度	55.0	m			
ライング甲板	W=150 ポストフォーム	32.1	m			代価表-8
ライング甲板	W=300 ポストフォーム	0.6	m			代価表-9
室名札(ピクトサイン)	男女トイレ スイング型 タモ練り付け t=18 クリア塗装	8.0	ヶ所			
室名札(ピクトサイン)	多目的トイレ スイング型 タモ練り付け t=18 クリア塗装	1.0	ヶ所			
洗面カウンター	2~4F 通路 W2200×D450 洗面器3か所	3.0	ヶ所			
洗面カウンター	1F 男子トイレ W1786×D450 洗面器2か所	1.0	ヶ所			
洗面カウンター	1F 女子トイレ W1500×D450 洗面器2か所	1.0	ヶ所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	洗面カウンター	2～4F 男子トイレ					
		W1500×D450 洗面器2か所	3.0	ヶ所			
	身障者用手摺	大便器用 L型	1.0	ヶ所			
	身障者用手摺	大便器用 跳ね上げ式	1.0	ヶ所			
	身障者用手摺	洗面器用	1.0	組			
	施工費	洗面カウンター・身障者用手摺	1.0	式			
	化粧鏡	W2200×H900	3.0	ヶ所			
	化粧鏡	W1790×H900	1.0	ヶ所			
	化粧鏡	W1500×H900	4.0	ヶ所			
	化粧鏡	W450×H900	1.0	ヶ所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トイレブース	1F 女子トイレ	1.0	ヶ所			
トイレブース	1F 女子トイレ SK	1.0	ヶ所			
トイレブース	1F 男子トイレ	1.0	ヶ所			
トイレブース	2～4F 女子トイレ	3.0	ヶ所			
トイレブース	2～4F 男子トイレ	3.0	ヶ所			
トイレブース	2～4F 男子トイレ 隔て板	3.0	ヶ所			
トイレブース	2～4F 通路 掃除具入	3.0	ヶ所			
掃除用具入れ	W2000×D450×H1900	1.0	台			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10 撤去工事						
(外部)						
シーリング撤去	建具廻り	31.2	m			
(内部)						
床 カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	5.6	m			
壁 カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	93.7	m			
床 コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカー	0.1	m3			
壁・人研ぎ流し コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカー	7.2	m3			
壁 CB撤去	コンクリートブレイカー	4.5	m3			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床 タイル撤去	下地モルタル共	135.0	m2			
床 沓摺り撤去	テラゾー W=50	41.5	m			
床 点検口撤去		3.0	ヶ所			
壁 モルタル撤去		124.0	m2			
壁 タイル撤去	下地モルタル共	278.0	m2			
天井 合板・ボード撤去	一重張り	31.9	m2			
天井 下地撤去		31.9	m2			
天井点検口撤去	450角	4.0	ヶ所			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガラス撤去		10.5	m2			
鋼製戸撤去	片開き 枠共	5.2	m2			
額縁撤去		19.2	m			
開口見切り枠撤去		41.3	m			
トイレブース撤去		113.0	m2			
掃除用具入れ撤去	W1500×D450×H1800	1.0	ヶ所			
石綿撤去工事		1.0	式			別紙明細-1
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11 処分費						
発生材 積込み	コンクリート類 人力	11.80	m3			
発生材 積込み	ボード・木材類 人力	24.0	m3			
発生材 運搬	2t車 DID無し 8.5km以下 コンクリート類 人力積込	11.80	m3			
発生材 運搬	2t車 DID無し 8.5km以下 木材類 人力積込	24.0	m3			
発生材 処分	コンクリート塊(有筋)	0.24	t			
発生材 処分	木くず(再生)	5.4	m3			
発生材 処分	解体系混合廃棄物	29.6	m3			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
スクラップ控除						
	H4	0.2	t			
アスベスト撤去工事						
本工事	廃石綿処分費(廃養生材含む)					
	特別管理産業廃棄物	4.0	m3			
本工事						
	廃石綿運搬費(4t車)	1.0	式			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
別紙明細-1	石綿撤去工事					
試験施工費		1.0	式			
本工事	便所B 1階					
	天井	22.72	m2			
本工事	便所B 1階					
	内壁立上	43.74	m2			
本工事	便所B 2階					
	天井	27.58	m2			
本工事	便所B 2階					
	内壁立上	46.68	m2			
本工事	便所B 3階					
	天井	27.58	m2			
本工事	便所B 3階					
	内壁立上	46.68	m2			
本工事	便所B 4階					
	天井	27.58	m2			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事	便所B 4階					
	内壁立上	46.68	m2			
本工事	土間養生					
	プラスチックシート 0.15mm 2重	105.46	m2			
本工事	機械損料					
	吸引装置含む	289.24	m2			
本工事	同時吸引廃材・排水分別費					
	排水はPH調整後現地処分とします	289.24	m2			
本工事	廃棄物袋詰め					
	プラスチックシート 0.15mm 2重	289.24	m2			
本工事	安全衛生設備機器					
	真空掃除機、フィルター	289.24	m2			
本工事	保護マスク・フィルター					
	保護メガネ・手袋等	289.24	m2			
本工事						
	石綿作業主任者	1.0	式			

ネット状養生シート			1 m2 当たり	円
	防災 I 類	代価表-3		円

1 m2 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	掛払い手間		1.0	m2			
	供用1日賃料	修理費含む					
			80.0	日			
	基本料	修理費含む					
			1.0	m2			
	仮設材運搬		1.0	m2			
	小計						

()

()

内部仕上足場(改修)			1 m2 当たり	円
	脚立足場	代価表-4		円

1 m2 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	内部仕上足場(改修)	脚立足場	1.0	m2			
	仮設材運搬費	脚立足場 4階建	1.0	m2			
	小計						

()
()
()

コンクリート打設手間			1 m3 当たり	円
	人力	代価表-5		円

1 m3 当たり							
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
	建設工事標準歩掛改訂47版 P-1012 土間コンクリート打設手間 人力打設 30						
特殊作業員		0.25	人				
その他	(労+雑)×12%	1.0	式				
小計							

()
()
()

EP-G塗り	天井		1 m2 当たり	円
	けい酸カルシウム板面 素地ごしらえ共	代価表-6		円

1 m2 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	EP-G塗り	けい酸カルシウム板面 A種	1.0	m			
	素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面 B種	1.0	m			
	小計						

()
()
()

ラインング甲板			1 m 当たり	円
	W=150 ホストフォーム	代価表-8		円

1 m 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ラインングカウンター	KPA-1DV W=150	1.15	m			
	上りがまち 取付手間		1.0	m			
	小計						

(_____)
(_____)
(_____)

ラインング甲板			1 m 当たり	円
	W=300 ホストフォーム	代価表-9		円

1 m 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ラインングカウンター	KPA-2DV W=300	1.15	m			
	上りがまち 取付手間		1.0	m			
	小計						

()
()
()

ガードフェンス			1 m 当たり	円
	1800×1800	代価表-10		円

1 m 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	基本料		1.0	m			
	掛払い手間		1.0	m			
	日額賃料		90.0	日			
	運搬費		1.0	m			
	小計						

()
()
()

交通誘導員			1ヶ所 当たり	円
	常駐	代価表-11		円

1ヶ所 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	交通誘導員B		80.0	人			
	小計						

(_____)
(_____)
(_____)

仮設鉄板敷			1 m2 当たり	円
	1524 × 6096 × 22	代価表-12		円

1 m2 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	設置費	6か月以内	1.0	m2			
	撤去費	6か月以内	1.0	m2			
	供用1日賃料	6か月以内	90.0	日			
	整備費		1.0	m2			
	運搬費		1.0	m2			
	小計						

()
()
()

仮設トイレ			1 台 当たり	円
	学校用	代価表-13		円

1 台 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	仮設便所	基本料金	1.0	台			
		月額賃料	3.0	月			
	小計						

(_____)
(_____)
(_____)

仮設トイレ給排水工事			1 式 当たり	円
		代価表-14		円

1 式 当たり							
	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	水道用ポリエチレン管改修	軟質管・金属製継手接合 屋外架空 13A	12.5	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	VU 屋外架空 75A	5.0	m			
	青銅仕切弁	5k × 15A	1.0	個			
	小計						

()
()
()

市立みずほ台小学校トイレ改修工事(第1期工事) (電気設備工事)

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	電灯コンセント設備工事			1.0		式							
2	情報通信設備工事			1.0		式							
3	誘導支援設備工事			1.0		式							
4	火報設備工事			1.0		式							
5	産業廃棄物処理費			1.0		式							
	小計												
6	有価物控除費			1.0		式							

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	電灯コンセント設備工事												
	EM-IE電線	1.6	管内	17.0		m							
	EM-EEFケーブル	1.6-2C	天井内	230.0		m							
	EM-EEFケーブル	1.6-2C	管内	11.0		m							
	EM-EEFケーブル	1.6-2C	PF内	8.0		m							
	EM-EEFケーブル	1.6-3C	天井内	65.0		m							
	EM-EEFケーブル	1.6-3C	PF内	69.0		m							
	EM-EEFケーブル	1.6-3C	MM1内	21.0		m							
	EM-EEFケーブル	2.0-2C	天井内	16.0		m							
	EM-EEFケーブル	2.0-2C	管内	10.0		m							
	EM-EEFケーブル	2.0-3C	天井内	49.0		m							

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
EM-EEFケーブル	2.0-3C PF内	8.0	m			
EM-EEFケーブル	2.0-3C MM1内	11.0	m			
電線管	PF(16) 隠蔽	16.0	m			
電線管	PF(22) 隠蔽	24.0	m			
一種金属線ぴ	A型(25.4mm)	21.0	m			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) ブッシング	6.0	個			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) コーナーボックス	4.0	個			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) スイッチボックス1個用	1.0	個			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) エルボ	8.0	個			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) コネクタ	1.0	個			
一種金属線ぴ	B型(40.4mm)	8.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一種金属線ぴ付属品	B型(40.4mm)					
	コーナーボックス	4.0	個			
一種金属線ぴ	B型(40.4mm)					
	スイッチボックス1個用	1.0	個			
一種金属線ぴ付属品	B型(40.4mm)					
	コネクタ	2.0	個			
アウトレットボックス						
	樹脂製 中深C付	103.0	個			
ハツリ工事	機械ハツリ					
	100～150mm Φ50mm	1.0	箇所			
埋込スイッチ						
	1P15Ax1	2.0	個			
埋込スイッチ						
	1P15Ax1+3W15Ax1	3.0	個			
埋込スイッチ						
	3W15Ax1	3.0	個			
埋込コンセント						
	2P15Ax1. ET	21.0	個			
埋込コンセント						
	2P15Ax2. ET	1.0	個			
熱線センサ付自動スイッチ						
	親機8A型	9.0	個			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
熱線センサ付自動スイッチ	子機	15.0	個			
熱線センサ付自動スイッチ	子機 換気扇連動	8.0	個			
操作ユニット	2回路用カートプレートキー付	9.0	個			
照明器具	(イ) 9251m 10W	46.0	個			
照明器具	(ロ) 1,7101m 17.8W	35.0	個			
照明器具	(ハ) 1,0101m 8.3W	1.0	個			
配線用遮断器	モジュールELB2P50/20	8.0	個			
撤去再取付 埋込コンセント	2P15Ax2	1.0	個			
撤去再取付 照明器具	(C) 壁直付IL60Wx1	1.0	個			
撤去再取付 照明器具	(D) 壁直付FL10Wx1	1.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(撤去工事)						
電線	IV1.6 管内	386.0	m			
電線	IV2.0 管内	48.0	m			
ケーブル	VVF1.6-2C MM1内	3.0	m			
電線管	φ(19)	23.0	m			
アウトレットボックス	中浅C付	12.0	個			
一種金属線ぴ	A型(25.4mm)	3.0	m			
埋込スイッチ	1P15Ax1	4.0	個			
埋込スイッチ	1P15Ax1+1PL15Ax1	7.0	個			
埋込スイッチ	1P15Ax2+1PL15Ax1	1.0	個			
埋込コンセント	2P15Ax1	8.0	個			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
照明器具	(A) 天井直付FL40Wx1	5.0	個			
照明器具	(B) 天井吊型FL40Wx2	16.0	個			
配線用遮断器	一般形MCB1P50/20	2.0	個			
配線用遮断器	一般形MCB2P50/20	1.0	個			
配線用遮断器	一般形ELB2P50/20	2.0	個			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	情報通信設備工事					
	撤去再通線 ケーブル	UTP-4P	管内	73.0	m	
	撤去再通線 ケーブル	UTP-4P	ラック内	94.0	m	
	撤去再通線 ケーブル	UTP-4P	PF内	94.0	m	
	電線管	PF (28)	隠蔽	28.0	m	
	電線管	E (31)	露出	13.0	m	
	プルボックス	200x200x100		2.0	個	
	防火区画貫通処理	短管 E (31)		3.0	箇所	
	(撤去工事)					
	Fケーブル	2号		23.0	m	
	一種金属線び	A型 (25.4mm)		11.0	m	

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	誘導支援設備工事						
	EM-AEケーブル	1. 2-2C 天井内	29.0	m			
	EM-AEケーブル	1. 2-2C PF内	4.0	m			
	EM-AEケーブル	1. 2-2C MM1内	11.0	m			
	EM-AEケーブル	1. 2-3C 天井内	3.0	m			
	EM-AEケーブル	1. 2-3C MM1内	3.0	m			
	一種金属線ぴ	A型(25.4mm)	14.0	m			
	一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) ブッシング	8.0	個			
	一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) コーナーボックス	4.0	個			
	一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) エルボ	2.0	個			
	一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) スイッチボックス1個用	4.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電線管	PF(16)	4.0	m			
ハツリ工事	機械ハツリ 100~150mm Φ50mm	2.0	箇所			
トイレ呼出	呼出ボタン プルスイッチ付	1.0	個			
トイレ呼出	復帰ボタン	1.0	個			
トイレ呼出	呼出表示灯 ブザー付	1.0	個			
トイレ呼出	表示器 壁掛3窓用	1.0	個			
	(撤去工事)					
ケーブル	AE1.2-2C 天井内	1.0	m			
ケーブル	AE1.2-2C MM1内	3.0	m			
ケーブル	AE1.2-3C 天井内	2.0	m			
ケーブル	AE1.2-3C MM1内	3.0	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	一種金属線ぴ	A型(25.4mm)	3.0	m			
	一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) スイッチボックス1個用	3.0	個			
	一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) コーナーボックス	3.0	個			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 火報設備工事						
EM-AEケーブル	1. 2-4C 天井内	51.0	m			
EM-AEケーブル	1. 2-4C 管内	4.0	m			
EM-AEケーブル	1. 2-4C MM1内	5.0	m			
一種金属線ぴ	A型(25.4mm)	5.0	m			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) ブッシング	3.0	個			
一種金属線ぴ付属品	A型(25.4mm) コーナーボックス	3.0	個			
アウトレットボックス	樹脂製 中浅C付	1.0	個			
ハツリ工事	機械ハツリ 100~150mm Φ50mm	1.0	箇所			
感知器	定温式1種 防水	1.0	個			
感知器	煙式2種	4.0	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
感知器煙式用	点検ボックス	4.0	個			
検査立会	P-1	1.0	工事			
(撤去工事)						
ケーブル	AE1.2-4C 管内	6.0	m			
電線管	(19)	3.0	m			
感知器	定温式1種 防水	1.0	個			
アウトレットボックス	中浅C付	1.0	個			
計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	産業廃棄物処理						
	混合廃棄物処分費		0.02	m ³			
	収集運搬費	建築工事に含む ダンプ2t車 片道25km					
	照明器具処分		1.0	式			
	収集運搬費	建築工事に含む ダンプ2t車 片道25km					
	蛍光管リサイクル処分費		1.0	式			
	収集運搬費	リサイクル施設まで	1.0	回			
	計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6 有価物控除						
銅くず	1号銅線	1.0	式			
鉄くず	へび-H1	1.0	式			
計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
I	市立みずほ台小学校トイレ改修工事(第1期工事)直接工事費												
A	機械設備工事			1.0		式						P-M-2	
B	スクラップ控除			1.0		式						P-M-14	
	計												

(P. M - 1 -) (—————)

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
A	機械設備工事												
	1.換気設備工事			1		式						P-M-4	
	2.衛生器具設備工事			1		式						P-M-6	
	3.給水設備工事			1		式						P-M-8	
	4.排水設備工事			1		式						P-M-11	
	5.撤去工事			1		式						P-M-13	
	6.撤去材運搬・処分費			1		式						P-M-14	
	計												

(P . M - 2 -) (—————)

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	1換気設備工事												
	VF-1 天井扇	低騒音タイプ											
		150φ×350m ³ /h×40Pa×44.0w		8		台							
	VF-2 天井扇	低騒音タイプ											
		100φ×120m ³ /h×40Pa×14.0w		1		台							
	スパイラルダクト	低圧 100φ											
				7		m							
	スパイラルダクト	低圧 150φ											
				6		m							
	ウエザーカバー	SUS製 防虫網付 250φ用											
				8		個							
	パイプフード	SUS製 ギャラリー付 100φ											
				1		個							
	ダクト接続鉄板	1.6t 0.12m ²											
				8		箇所							
	はつり補修	機械はつり(ダイヤモンドカッター)											
		125φ×150L		1		箇所							
	はつり補修	手はつり(配管貫通口)											
		ブロック 125φ		1		箇所							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.衛生器具設備工事						
洋風便器	節水FV(床給水)、SUS2連紙巻器					
	ソフト閉止普通便座	14	組			
洋風便器	低圧FV(床給水)、SUS2連紙巻器					
	ソフト閉止普通便座	5	組			
車椅子対応便器	自動FV(床給水)、SUS2連紙巻器					
	洗浄便座 タッチスイッチユニット	1	組			
和風便器						
	節水FV、SUS2連紙巻器	6	組			
和風便器						
	低圧FV、SUS2連紙巻器	2	組			
和風便器耐火カバー						
	床上給水	6	組			
自動洗浄小便器						
	低リップ	15	組			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	カウンター洗面器		自動単水栓	19			組						
	車椅子対応洗面器		自動単水栓	1			組						
	掃除用流し		給水ホース 付属品共	5			組						
	コンパクトオストメイトパック		側板 付属品共	1			組						
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3.給水設備工事						
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-20VB	38	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-25VB	59	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 3SGP-32VB	5	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-40VB	20	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-50VB	18	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-65VB	4	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-80VB	4	m			
給水・塩ビライニング鋼管	便所内、ねじ接合 SGP-100VB	2	m			
仕切弁(管端防食コア)	ネジ 10k×50A	4	個			
保温工事		1	式			別紙明細1 P・M別-1

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
はつり補修工事	スキャン式調査込み					
	鉄筋コンクリート 50φ×200L	39	箇所			
既存管接続費						
	鋼管 保温無 100A	1	箇所			
小計						

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4.排水設備工事						
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 40A	13	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 50A	9	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 65A	4	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 75A	28	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 100A	12	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 125A	1	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・便所 150A	1	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・地中埋設 75A	4	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・地中埋設 100A	8	m			
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・地中埋設 125A	4	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水・硬質塩化ビニル管	VP 機械室・地中埋設 150A	4	m			
排水・耐火VP	機械室・便所 40A	29	m			
排水・耐火VP	機械室・便所 50A	20	m			
排水・耐火VP	機械室・便所 65A	14	m			
排水・耐火VP	機械室・便所 75A	73	m			
排水・耐火VP	機械室・便所 100A	74	m			
通気・リサイクル 硬質ポリ塩化ビニル三層管	RF-VP 機械室・便所 50A	6	m			
通気・リサイクル 硬質ポリ塩化ビニル三層管	RF-VP 機械室・便所 65A	4	m			
通気・耐火VP	機械室・便所 50A	21	m			
通気・耐火VP	機械室・便所 65A	19	m			
通気・耐火VP	機械室・便所 75A	14	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通気・耐火VP	VP 機械室・便所 100A	2	m			
床上掃除口	非防水形 COA50	1	個			
床上掃除口	非防水形 COA65	3	個			
床上掃除口	非防水形 COA80	13	個			
床上掃除口	非防水形 COA100	14	個			
通気口金物	アルミ製露出型 100A	1	個			
排水ゴム継ぎ手	洋風便器 ソケット	21	個			
排水ゴム継ぎ手	洗面器 32φ	20	個			
排水ゴム継ぎ手	掃除流し	5	個			
満水継手	100A	6	個			
はつり補修費		1	式			別紙明細2 P・M別-2

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設 計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水補修費	内外共	5	箇所			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	5.撤去工事												
	1)換気設備撤去工事			1			式						別紙明細3 P・M別-3
	2)衛生器具撤去工事			1			式						別紙明細4 P・M別-4
	3)給水設備撤去工事			1			式						別紙明細5 P・M別-8
	4)排水設備撤去工事			1			式						別紙明細6 P・M別-11
	5)排水設備撤去土工事			1			式						別紙明細7 P・M別-12
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6.撤去材運搬・処分費						
コンクリート塊	無筋30cm以下	0.75	t			
アスファルト塊	40cm超	1.92	t			
廃プラスチック	塩ビ管	1.45	m			
がれき類その他	陶器	4.20	m3			
解体系混合廃棄物	保温材	0.80	m3			
収集運搬	2tコンテナ車4.0m3 片道25km	2.00	台			
小計						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
B	スクラップ控除												
	鉄くず	へビーH2		1,135		kg							
	鉄くず	故鉄A		459		kg							
	黄銅くず	並黄銅		40		kg							
	青銅くず	青銅鋳物		9		kg							
	ステンレスくず	Cr18		9		kg							
	小計												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	別紙明細書1												
	給水設備保温工事												
	グラスウール+アルミガラスクロス化粧筒	屋内隠蔽	20A	23		m							
	グラスウール+アルミガラスクロス化粧筒	屋内隠蔽	25A	47		m							
	グラスウール+アルミガラスクロス化粧筒	屋内隠蔽	32A	2		m							
	グラスウール+アルミガラスクロス化粧筒	屋内隠蔽	40A	12		m							
	グラスウール+アルミガラスクロス化粧筒	屋内隠蔽	50A	5		m							
	計												
	改め												

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細書2						
排水設備はつり補修工事		1	式			
機械はつり	ダイヤモンドカッターによる配管貫通口					
	鉄筋コンクリート 75φ×200L	20	箇所			
機械はつり	ダイヤモンドカッターによる配管貫通口					
	鉄筋コンクリート 100φ×200L	22	箇所			
機械はつり	ダイヤモンドカッターによる配管貫通口					
	鉄筋コンクリート 125φ×200L	32	箇所			
機械はつり	ダイヤモンドカッターによる配管貫通口					
	鉄筋コンクリート 150φ×200L	7	箇所			
手はつり	ダクト貫通					
	鉄筋コンクリート 150L-0.12m2	2.0	箇所			
手はつり						
	鉄筋コンクリート 200L-0.16m2	3.0	箇所			
手はつり						
	鉄筋コンクリート 200L-0.23m2	3.0	箇所			
計						
改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	別紙明細書3												
	換気設備撤去工事			1			式						
	換気扇	250 φ		8			台						
	ウエザーカバー	250 φ		8			個						
	計												
	改め												

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細書4						
衛生器具設備撤去工事		1	式			
洋風便器	洗浄弁式	15	組			
和風便器	洗浄弁式	12	組			
車椅子便器	洗浄弁式	1	組			
耐火カバー	洗浄弁式	9	組			
ストール小便器	洗浄弁式	19	組			
車椅子洗面器	水栓1	1	組			
化粧鏡		12	組			
水栓		21	個			
紙巻器		18	個			

積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細書5						
給水設備撤去工事		1	式			
ライニング鋼管	機械室・便所 15A	5	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 20A	27	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 25A	52	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 32A	48	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 40A	12	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 50A	17	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 65A	4	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 80A	4	m			
ライニング鋼管	機械室・便所 100A	2	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	保温	グラスウール	ピット 20A	4		m							
	保温	グラスウール	ピット 25A	12		m							
	保温	グラスウール	ピット 32A	2		m							
	保温	グラスウール	ピット 40A	5		m							
	保温	グラスウール	ピット 50A	1		m							
	保温	グラスウール	露出 15A	5		m							
	保温	グラスウール	露出 20A	23		m							
	保温	グラスウール	露出 25A	40		m							
	保温	グラスウール	露出 32A	36		m							
	保温	グラスウール	露出 40A	7		m							
	保温	グラスウール	露出 50A	5		m							

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
保温	グラスウール 隠蔽 32A	10	m			
保温	グラスウール 隠蔽 50A	12	m			
保温	グラスウール 隠蔽 65A	4	m			
保温	グラスウール 隠蔽 80A	4	m			
保温	グラスウール 隠蔽 100A	2	m			
既存管切断	鋼管 保温なし 100A	1	箇所			
計						
改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細書6						
排水設備撤去工事		1	式			
鋼管(通気)	機械室・便所 65A	8	m			
鋼管(通気)	機械室・便所 80A	14	m			
鋼管(排水)	機械室・便所 100A	18	m			
鋼管(排水)	地中埋設 80A	4	m			
鋼管(排水)	地中埋設 100A	4	m			
鋼管(排水)	地中埋設 125A	5	m			
塩ビ管(排水)(通気)	機械室・便所 50A	25	m			
塩ビ管(排水)(通気)	機械室・便所 65A	5	m			
塩ビ管(排水)	機械室・便所 75A	28	m			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塩ビ管(排水)	機械室・便所 100A	12	m			
耐火被覆塩ビ管(排水)(通気)	機械室・便所 50A	56	m			
耐火被覆塩ビ管(排水)(通気)	機械室・便所 65A	28	m			
耐火被覆塩ビ管(排水)	機械室・便所 75A	56	m			
耐火被覆塩ビ管(排水)	機械室・便所 100A	41	m			
排水用鋳鉄管	メカニカル形 100A	12	m			
排水用鋳鉄管	メカニカル形 150A	5	m			
床上掃除口	防水形 COB65	3	個			
床上掃除口	防水形 COB80	13	個			
床上掃除口	防水形 COB100	14	個			
床排水トラップ	防水形 T5B50	16	個			

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流しトラップ	T14B50	5	個			
通気口	埋め込み形 100A	1	個			
保温	グラスウール 隠蔽 100A	24	m			
計						
改め						

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細書7						
排水設備撤去土工事						
舗装切断	カッター入れ	12	m			
舗装取り壊し		0.8	m3			
機械掘削	バックホウ0.13m3	12.8	m3			
機械埋め戻し	掘削土	11.2	m3			
碎石埋め戻し	切り込み碎石	1.6	m3			
舗装補修	特に狭いところ 県南 密粒 構内A-5-10	16.0	m2			
残土処分	場内敷き均し	1.6	m3			
土工機械運搬費	バックホウ0.13m3	1	台			

市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)

図面リスト

建築工事			建築工事			機械設備工事		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	no scale	A-21	便所(B)1階天井伏図 [現況] ⇒ 【改修後】	1/50	M-01	特記仕様書1	no scale
A-02	特記仕様書(改修その1)	no scale	A-22	便所(B)2・3・4階天井伏図 [現況] ⇒ 【改修後】	1/50	M-02	特記仕様書2	no scale
A-03	特記仕様書(改修その2)	no scale	A-23	建具表 [現況] ⇒ 【改修後】	1/50	M-03	案内図・配置図	1/500
A-04	特記仕様書(改修その3)	no scale	A-24	家具詳細図	1/20	M-04	撤去器具・機器表【改修前】	no scale
A-05	特記仕様書(改修その4)	no scale	A-25	雑詳細図(室名札、便器撤去跡穴埋め)	1/3, 10	M-05	系統図【改修前】	no scale
A-06	特記仕様書(改修その5)	no scale	電気設備工事			M-06	1階平面図【改修前】	1/200
A-07	特記仕様書(改修その6)	no scale	図面番号	図面名称	縮尺	M-07	2階平面図【改修前】	1/200
A-08	アスベスト含有仕上塗材除去工事特記仕様書	no scale	E-01	電気設備工事特記仕様書	no scale	M-08	3階平面図【改修前】	1/200
A-09	案内図・配置図・仮設計画図(参考)	1/500	E-02	2階平面図【改修前・改修後】電気設備	1/200	M-09	4階平面図【改修前】	1/200
A-10	内部仕上表 [現況] ⇒ 【改修後】	no scale	E-03	便所(B)1階平面詳細図【改修前・後】電灯設備	1/50	M-10	器具・機器表【改修後】	no scale
A-11	1階平面図・仮設計画図(参考)	1/200	E-04	便所(B)2・3・4階平面詳細図【改修前・後】電灯設備	1/50	M-11	系統図【改修後】	no scale
A-12	2階平面図・仮設計画図(参考)	1/200	E-05	便所(B)1階平面詳細図【改修前・後】コネク・LAN・誘導支援・火報設備	1/50	M-12	1階平面図【改修後】	1/200
A-13	3階平面図・仮設計画図(参考)	1/200	E-06	便所(B)2階平面詳細図【改修前・後】コネク・LAN・火報設備	1/50	M-13	2階平面図【改修後】	1/200
A-14	4階平面図・仮設計画図(参考)	1/200	E-07	便所(B)3階平面詳細図【改修前・後】コネク・LAN・火報設備	1/50	M-14	3階平面図【改修後】	1/200
A-15	便所(B)1階平面詳細図 [現況] ⇒ 【改修後】	1/30	E-08	便所(B)4階平面詳細図【改修前・後】コネク・LAN・火報設備	1/50	M-15	4階平面図【改修後】	1/200
A-16	便所(B)2・3・4階平面詳細図 [現況] ⇒ 【改修後】	1/30				M-16	便所(B)1階平面詳細図【改修前・後】	1/50
A-17	便所(B)1階展開図 [現況]	1/50				M-17	便所(B)2・3・4階平面詳細図【改修前・後】	1/50
A-18	便所(B)1階展開図【改修後】	1/50				M-18	便所(B)1-4階床はつり参考図【改修後】	1/50
A-19	便所(B)2・3・4階展開図 [現況]	1/50						
A-20	便所(B)2・3・4階展開図【改修後】	1/50						

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事) 図面名称 表紙・図面リスト	施工年度 令和3年度	図面番号 A-01 縮尺 no scale
	工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内											

7 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類	[3.5.2~4][表3.5.1~3]	11 アルミニウム製空木	種類	・オープン形式(・押出250形・押出300形・押出350形) [3.9.2, 3] ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式) 本体幅:()mm, 板厚(※2.0mm) (mm)	4 浮き部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.4, 10~15]				5 目地改修工法	・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.5.16] ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法・図示		
	工法	種類		施工箇所	断熱材		仕上塗料	備考	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m)		注入口の箇所数(箇所/m)	注入量(ml/箇所)	6 タイルの形状、寸法等
8 塗膜防水	工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	アンカーピンニング部分	※16	※25	※25	4-1 塗り仕上げ外壁等	4-1 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整 [4.6.3] ・サンダー工法 ※図示 処理範囲 下地面の補修 ・高圧水洗浄工法 ※図示 既存塗膜の除去範囲(処理面積の30%とする) ・ひび割れ部改修工法 ・可とう形外装塗料E工法 ※図示 既存仕上げ面全体 ・浮き部改修工法 ・塗膜はく離工法 ※図示 既存仕上げ面全体 ・欠損部改修工法 ・水洗い工法 ※図示 上記以外の既存仕上げ面全体		
	工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	アンカーピンニング全面	※13	※20	※12			※20	※25
9 シーリング	工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	アンカーピンニング全面	※13	※20	※12	※20	※50	4-2 下塗り塗料仕上げ	2 仕上塗料仕上げ [4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]
	工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	アンカーピンニング全面	※13	※20	※12	※20	※50		
10 とい	工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	アンカーピンニング全面	※13	※20	※12	※20	※50	4-3 タイル張り仕上げ外壁	3 マスチック塗料塗り [4.7.2][表4.7.1]
	工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	備考	アンカーピンニング全面	※13	※20	※12	※20	※50		

5 アルミニウム製建具
性能値等
耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 [5.2.2~5][表5.2.1、2]
外部に面する建具の種類
A種 B種 C種 (適用する建具 ※建具表による)

11 建具用金物
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※[表5.7.1]及び適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.7.2]による 建具表による

6 樹脂製建具
性能値等
耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法
外部に面する建具の種類
A種 B種 C種 (適用する建具 ※建具表による)

7 鋼製建具
性能値等
簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級
適用する(※建具表による) ○適用しない
外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級

課長 副課長 主査 監督員 主幹
富士見市総務部営繕課

(有) 梶 芳晴 建築設計研究所
一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号
一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴

JOB MANAGER JOB CAPTAIN DRAFTING BY
工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)
特記仕様書 (改修その3)

施工年度 令和3年度
工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内
図面番号 A-O 4
no scale

9 接合具等	「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G]	施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 化粧板に使用する 化粧板の種類 防虫処理の適用 間伐材等の適用	・1類・2類				
	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]	施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 化粧板の種類 化粧板の種類 防虫処理の適用 間伐材等の適用	・1類・2類				
	パーティクルボード [G]	施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm)	※13タイプ	※P又はM	※15		
	構造用パネル	施工箇所 厚さ(mm) 等級	・1級・2級・3級・4級				
	MDF [G]	施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 厚さ(mm) 間伐材等の適用					
	9 接合具等	諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、[6.5.3](2)(7)による	[6.5.3.4]				
	10 防蟻・防蟻・防虫処理	接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外	[6.5.5]				
	11 内部間仕切、窓、床等の木材	防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位：()	[6.5.6~9]				
	12 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁部の端からの間隔 野縁の間隔 既存の埋込みインサート 既存の埋込みインサート及びあと施工アウターの確認試験 行う(試験箇所数：) 確認強度：) 〇行わない	[6.6.2~4]				
	13 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ※[表6.7.1]によりスタッドの高さによる区分)に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)(7)(4)による	[6.7.3.4]				
14 ニル床シート [G]	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合()	[6.8.2]					
15 ニル床タイル [G]	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合()	[6.8.2]					
16 特殊機能床材	目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法	[6.8.2]					
17 ニル床木	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合()	[6.8.2]					
18 ゴム床タイル	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合()	[6.8.2]					

19 カーペット敷き	・織じゅうたん 品質 織り方及びバイル形状 () 色柄、バイル糸の種類 () 種類 ・A類 ・B類 ・帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ・下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm	[6.9.2.3]				
20 合成樹脂塗床	・タフテッドカーペット バイル形状 A・B長さ(mm) 工法 帯電性 備考 ・カットバイル ・ ※全面接着工法 ・適用する() ・ループバイル ・ グリッパ工法 ・適用しない ・カット、ループ併用	[6.10.2.3]				
21 フローリング張り	下敷き材(グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm	[6.11.2~6]				
22 畳敷き	・厚膜型塗床材(弾性ウレタン樹脂系塗床) ・厚膜型塗床材(1kウレタン樹脂系塗床) ・薄膜型塗床材(1kウレタン樹脂系塗床) ・774樹脂塗床(JIS K 5970) (防塵塗料塗り)	[6.12.2]				
23 せっこうボード	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床：KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [G])	[6.13.2.3]				
24 壁紙張り	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床：KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [G])	[6.14.2.3]				
25 モルタル塗り	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床：KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [G])	[6.15.3.5.6]				
26 タイル張り	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床：KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [G])	[6.16.2~4]				
27 セルフレベリング材	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床：KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム [G])	[6.17.2.3]				

28 フリーアクセスフロア	パーティクルボード ・単板張りパーティクルボード [G] ・化粧パーティクルボード [G]	[20.2.2]				
29 可動間仕切	吸音材料 ・ロックウール化粧吸音板 ・ロックウール吸音ボード1号 ・グラスウール吸音ボード32K ・せっこうボード ・不燃積層せっこうボード	[20.2.3]				
30 移動間仕切	せっこうボード等の下地 ※図示 遮音シール材 ※適用する(・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド) 合板類の張付け ・A種 ・B種 せっこうボードの目地工法 ※仕上による	[20.2.4]				
31 トイレブース	パーティクルボード ・単板張りパーティクルボード [G] ・化粧パーティクルボード [G]	[20.2.5]				
32 階段滑り止め	モルタル・プラスター面の下地調整 ※RB種 ・コンクリート面の下地調整 ※RB種 ・せっこうボード面の下地調整 ※RB種	[20.2.6]				
33 手すり	モルタル ○現場調合材料 ・既調合材料() [6.15.3.5.6] ・既製目地材 施工箇所() 形状(※図示) ・壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 ・床目地 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度) 種類 ※押し目地	[20.2.7]				
34 黒板及びホワイトボード [G]	伸縮調整目地の位置 ・床目地 (※縦、横とも4m以内ごと ・図示) 床目地以外 (・図示)	[20.2.8]				
35 表示	セメントモルタルによるタイル張り タイルの形状・寸法等	[20.2.10]				
36 ブラインド	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない モルタル塗りのコンクリート素地の処理 ・MCR工法 ・目視し工法(高圧水洗処理)	[20.2.12]				
37 ロールスクリーン	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ・MCR工法 ・目視し工法(高圧水洗処理)	[20.2.13]				
38 カーテン	目地のシーリング材 打掃者目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ひび割れ発生目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材	[20.2.14]				
39 カーテンレール	種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準塗厚(mm)	[20.2.14]				

フリーアクセスフロア及び表面仕上材	フリーアクセスフロアの試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(d)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(a)~(c)による	[20.2.2]				
パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	構造形式 構成基材の種類 総厚さ(mm) 表面仕上材 耐火性能 遮音性 (db/500Hz) 防火性能	[20.2.3]				
パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし	構造形式 操作方法 圧接装置の操作方法 総厚さ(mm) パネル表面材 遮音性 (db/500Hz)	[20.2.4]				
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	表面材の種類 断面形状 ドアエッジの材質	[20.2.5]				
階段滑り止め	材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	[20.2.6]				
手すり	材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	[20.2.7]				
黒板及びホワイトボード [G]	材質 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリウレタン樹脂系化粧板	[20.2.8]				
表示	形状(※丸形 ・図示) 寸法(※300) 材質(・ステンレス製)	[20.2.10]				
ブラインド	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない モルタル塗りのコンクリート素地の処理 ・MCR工法 ・目視し工法(高圧水洗処理)	[20.2.12]				
ロールスクリーン	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ・MCR工法 ・目視し工法(高圧水洗処理)	[20.2.13]				
カーテン	目地のシーリング材 打掃者目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ひび割れ発生目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材	[20.2.14]				
カーテンレール	種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準塗厚(mm)	[20.2.14]				

11 コンクリート工事	① コンクリートの種類等	類別 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18 ○18</td> <td>床下点検口・和便器開口蓋ぎ</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S=3 (3月3日~7月10日、9月11日~11月18日) S=6 (7月11日~9月10日、11月19日~3月2日)	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所	○24	2.3程度	15又は18 ○18	床下点検口・和便器開口蓋ぎ	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	14 無筋コンクリート	コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による () 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を越え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-β法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランブ	適用箇所																				
	○24	2.3程度	15又は18 ○18	床下点検口・和便器開口蓋ぎ																				
	・	・	・	・																				
	・	・	・	・																				
	・	・	・	・																				
	② セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 適用箇所(1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所()	⑬ コンクリートの単位水量測定																					
	③ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)																						
	4 混和材料	混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による																						
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による () ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) 図示による ()																						
6 湿潤養生	湿潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日																							
7 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table>	種別	適用箇所	・ A種	※図示による ()	・ B種	※図示による ()	・ C種	※図示による ()	種別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	・ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()							
種別	適用箇所																							
・ A種	※図示による ()																							
・ B種	※図示による ()																							
・ C種	※図示による ()																							
種別	適用箇所																							
・ a種	※図示による ()																							
・ b種	※図示による ()																							
・ c種	※図示による ()																							
8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 図示による ()																							
⑨ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板(※12mm) ② コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による () ・MOC工法用シートの使用 適用箇所 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材種・規格等 図示による () 在庫期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による ())																							
⑩ 軽量コンクリート	適用箇所 (6.10.1、2) ○図示による(男女トイレ) 種類 ○1種 2種 気乾単位容積質量 ○標準仕様書 表6.10.1による スランブ ※21cm ○18cm																							
11 寒中コンクリート	適用期間(月 日~月 日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 図示による ()、S=()																							
12 暑中コンクリート	適用期間(月 日~月 日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² 図示による ()、S=()																							
13 マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1、2) 図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ② ・フライアッシュセメントB種 ② ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による 標準仕様書6.13.2(4)による) スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書 表6.13.1による																							

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 A-O-7	
	特記仕様書(改修その6)										工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 no scale	

特記事項

【アスベスト含有仕上塗材除去工事】

- 国立研究開発法人建築研究所及び日本建築仕上材工業会作成「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」（平成28年4月28日）により、下記工法の併用工法とする。
 [一般部] (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式（ウォータークリーンSG工法：(株)マルホウ同等以上）
 [狭あい部] 集塵装置併用手工具ケレン工法
- 本施工前に試験施工（隔離養生（負圧は不要）の作業場を設置する）を行い、(1)の工法の気中濃度測定結果が10f/L以下を満たすことを確認すること。
 ※1…令和3年4月の法改正により電動工具を使用する除去作業は隔離（負圧は不要）となります。
 現段階の暫定措置として下記「試験施工」を行い、飛散が認められない場合は簡易養生で本施工を行います（環境省・東京労基署確認済）。
 <本施工>においても作業場の隔離を求められた場合は隔離（負圧は不要）を別途御見積します。
- 吸引機は吸引圧力-60~-90kpa・風量30~40m3/分を使用する。
- 除去作業付近にて気中濃度測定を行い、10 f/L以下を満たさない場合は、隔離養生（負圧は不要）を行い、飛散対策とする。

【廃材処理】

- 強力吸引車を使用した同時吸引式工法により除去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする。
- 濁水はpH調整（pH5を超え9未満）の後凝集沈殿し、上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ、SS600未満を簡易透視度計で確認し、現地放流する。
- 排水は第三者機関による分析を行い、条件を満たしたことを確認する。
- 分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちビニール袋で2重梱包し特別管理産業廃棄物として一時保管した後管理型最終処理場にて処分する。
- 吸引時の排気ろ過はジェットスクラバ方式を採用し大気へ開放する。

水処理（濁水処理内容）	
アスベスト含有量	50本/1L以下
pH	pH5を超え9未満
浮遊物質質量（SS）	600mg/L未満

吸引装置の圧力と風量	
吸引圧力/真空圧	-60~-90kpa
風量	30~40m3/分

吸引時の排気濾過	
ジェットスクラバ方式採用又は同等工法	

【アスベスト粉じん濃度測定】

- 行う。測定時期および箇所は以下に準ずる。
- 試験施工の場合

(イ) 本施工の場合

測定時期	測定箇所	測定回数	合計
作業中	作業場内付近	1点	合計2点
	プラント付近	1点	

測定時期	測定箇所	測定回数	合計
1 作業前	敷地境界4方向各1点	4点	合計4点
	敷地境界4方向各1点	4点	
2 作業中	プラント設置付近	1点	合計6点
	除去作業付近	1点	
3 作業後	敷地境界4方向各1点	4点	合計4点
	敷地境界4方向各1点	4点	

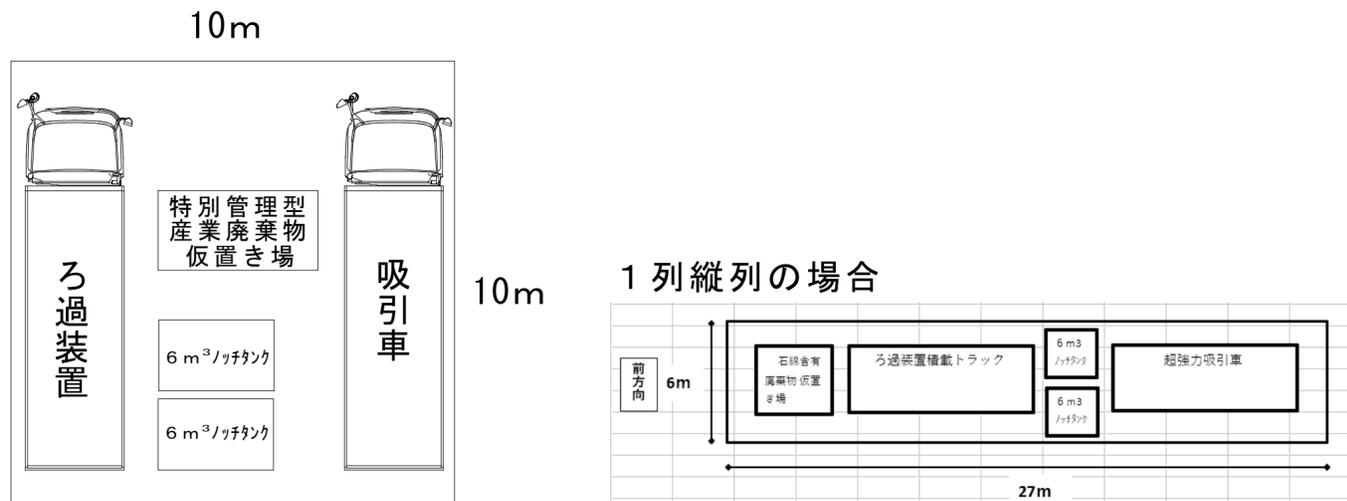
- 速報値で管理値（10 f/L以下）を満たしていることを確認する。

【工事計画】

- 工事計画には「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。

【同時吸引式プラント設置図（平面図）】

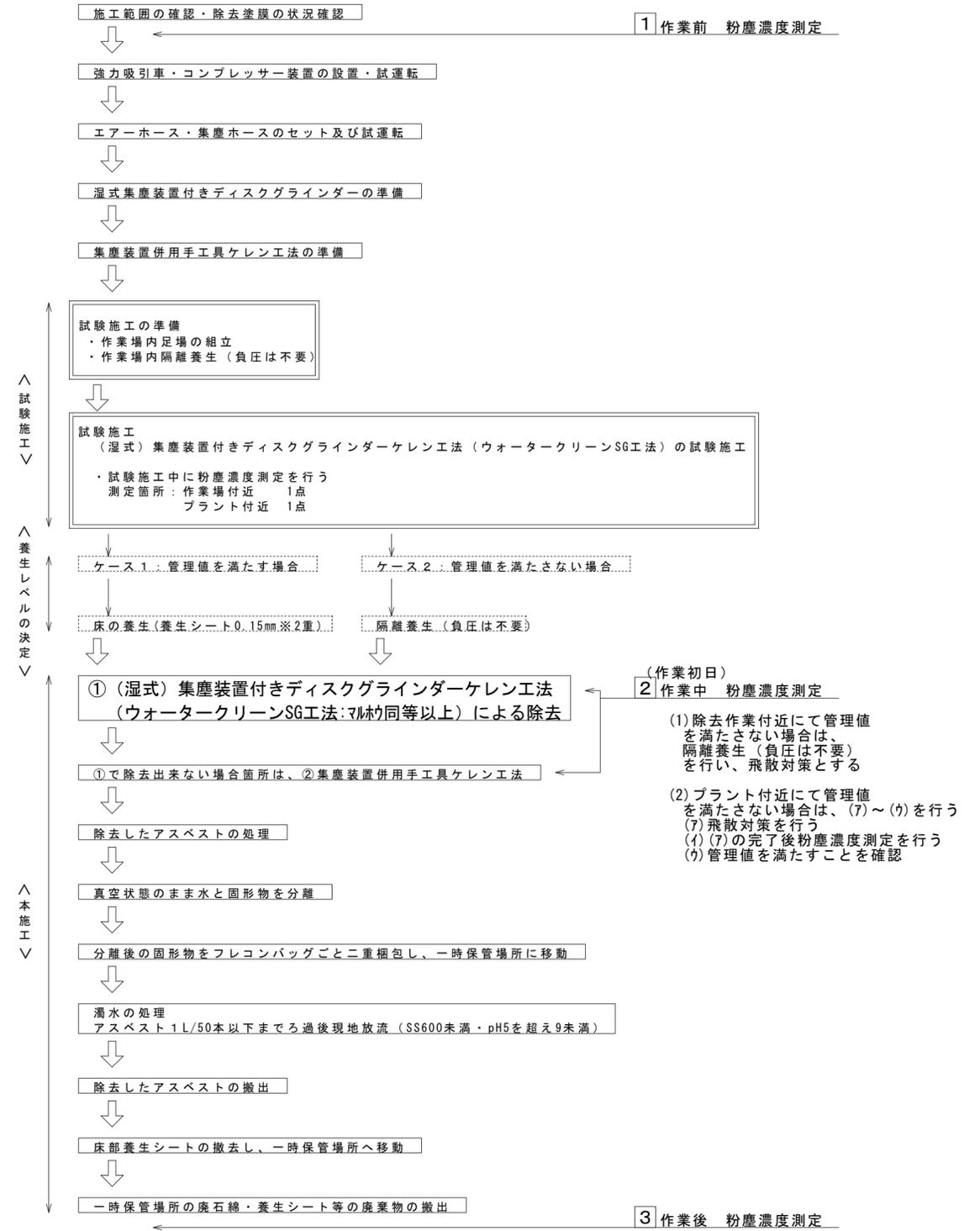
- 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
- 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。



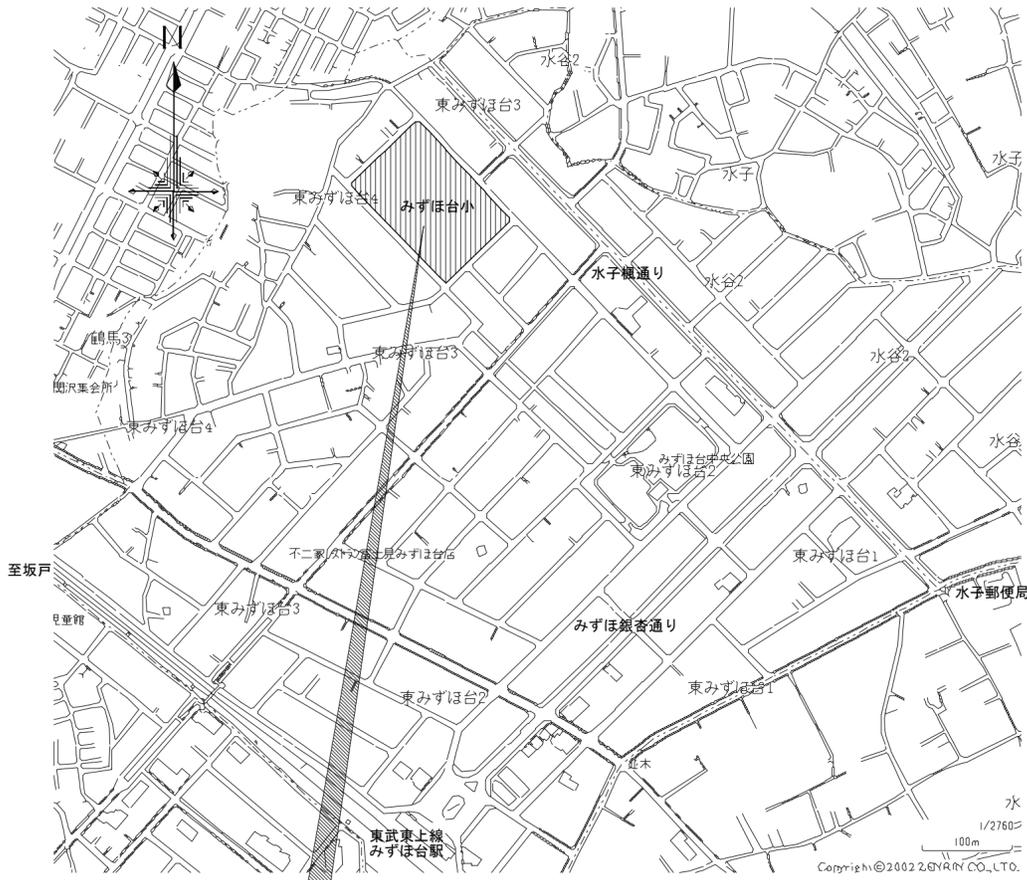
【除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等】

- 除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、廃石綿等（特別管理型産業廃棄物）として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。
- 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。
- アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。
- 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。
- 除去したアスベスト含有材の処分は廃石綿等（特別管理産業廃棄物）として、管理型最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】

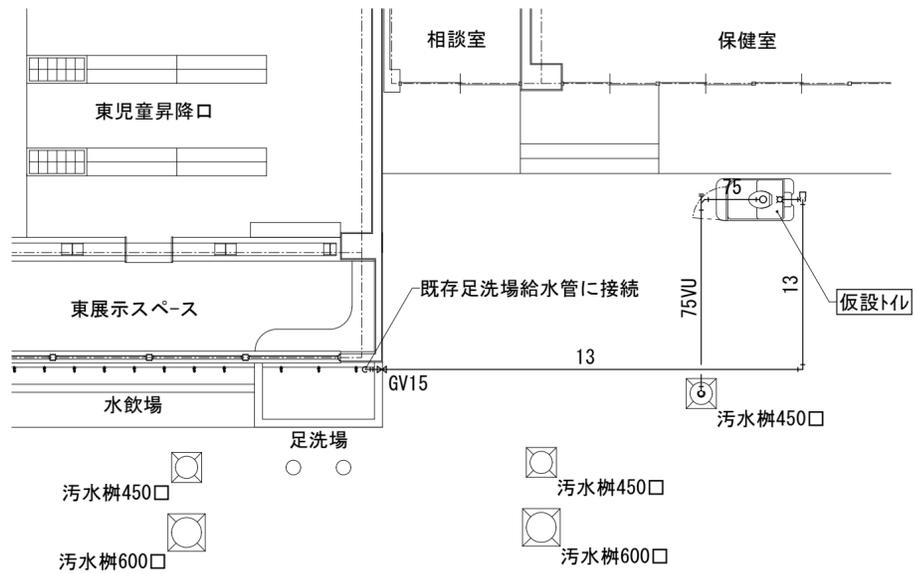


富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 A-08
	図面名称 アスベスト含有仕上塗材除去工事特記仕様書	工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 no scale									

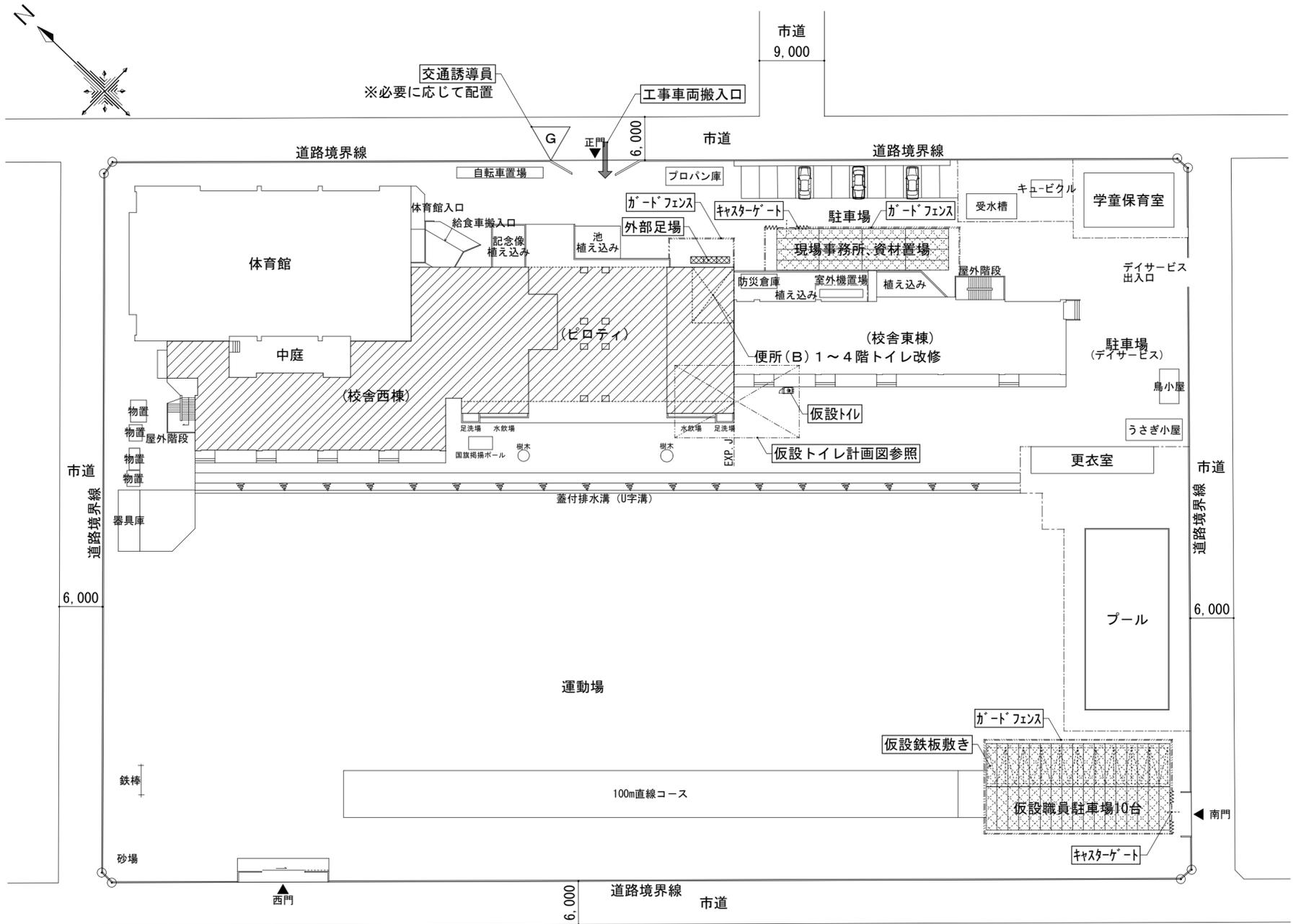


工事場所：埼玉県富士見市東みずほ台3丁目2番地

案内図



仮設トイレ計画図 S=1/100



配置図 S=1/500

- 凡例
- 斜線表示：工事対象建物を示す
 - 白表示：既設建物を示す
 - 点線表示：第1期工事対象部分を示す
 - 矢印表示：工事車両搬入口を示す
 - 破線表示：キャスターゲート W=6.00m H=2.00m
 - 点線表示：ガードフェンス L=180.00m H=1.800m
 - 点線表示：仮設鉄板敷き 1524x6096x22mm ※撤去後、構内整地
 - 点線表示：外部足場 W=0.90m (枠組本足場手摺先行方式) ※養生シート張り
 - G表示：交通誘導員 (80人・日)

※大型のレッカーを使用する場合は、必要な養生を行なうこと。
 ※資材の搬入等、工事車両の進入時には状況に応じ適宜、ガードマンを配置する。
 ※仮設計画は、建物管理者、監督員と協議の上、施工を行なう。
 ※仮設範囲内及び搬入路で、工事にて損傷した部分はすべて復旧を行う。
 ※ガードフェンス下は通り抜けの出来ないよう隙間を設けないこと。
 ※道路の通行はスクールゾーンの為、時間帯については学校と十分調整をとること。
 ※側溝は塞がないように考慮し、鉄板をひくこと。

富士見市総務部営繕課

課長	副課長	主査	監督員	主幹

(有) 梶 芳晴建築設計研究所

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号
 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴

JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY

工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)

図面名称 案内図・配置図・仮設計画図(参考)

施工年度 令和3年度

工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内

図面番号

A-09

縮尺 S=1/100, 500
 A2: 1/500, A3: 1/704

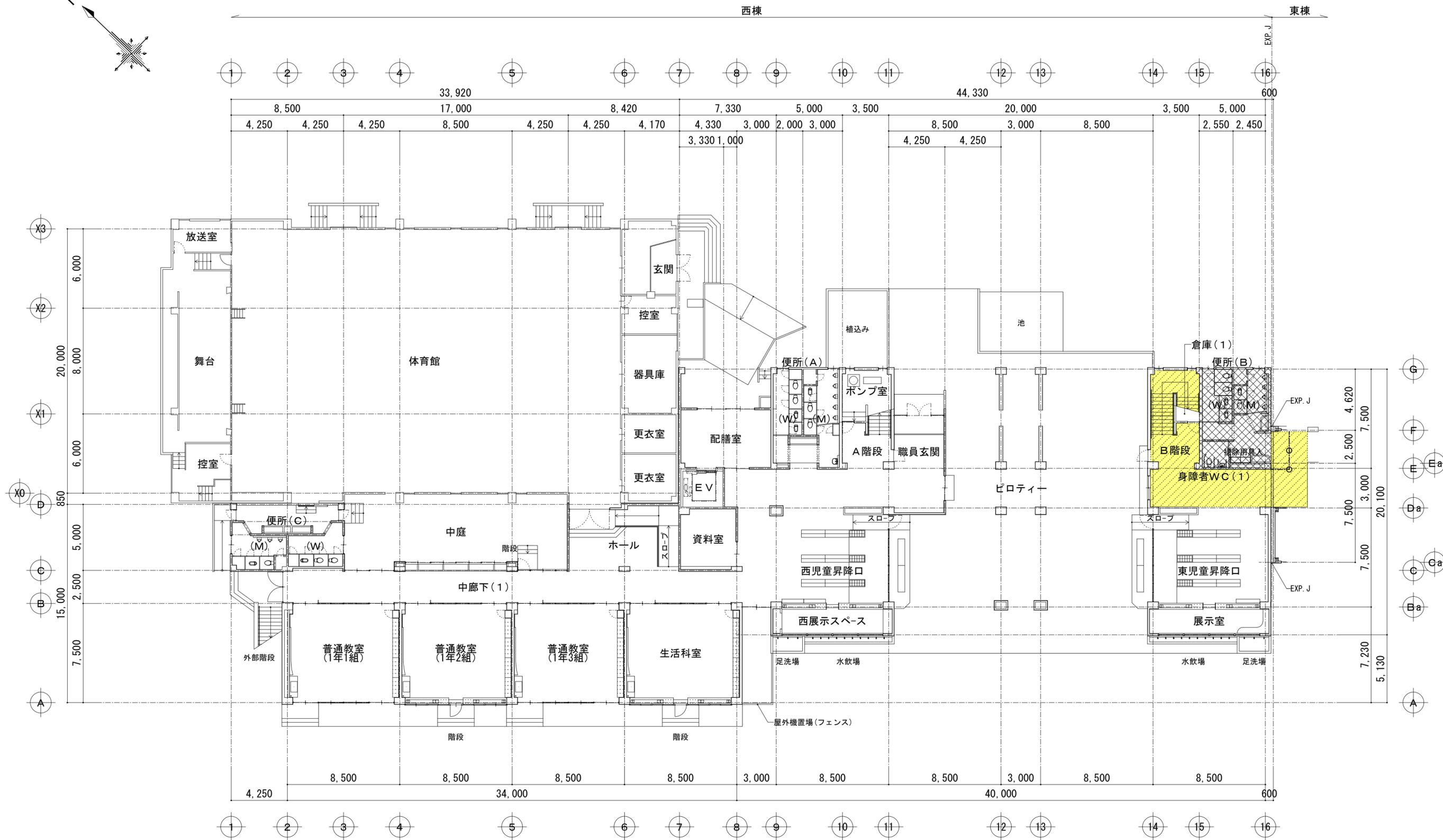
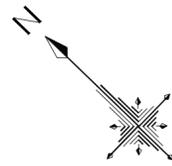
内部仕上表

階	室名	【現況】 ↓ 【改修後】	床	巾木	壁	壁(2)	天井	廻縁	天井高	備考
便所(B) 1階	男子	【現況】 ↓ 【改修後】	押えコンクリート(7)70mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	—	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去 PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 撤去	ラインク:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 ラインク 甲板:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去	コンクリート打放し補修の上 アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去	—	3.430	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去、人研ぎ製洗面撤去 トイレ:ス:アスベスト製特殊UV硬質セメント板撤去 トイレ:ス沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、化粧鏡撤去、大小便器撤去(設備工事) 床下点検口450角撤去
		【改修後】	下地調整(シタ)コンクリート(7)40~50mm (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 洗面壁:PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	ラインク:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ラインク 甲板:メラミン化粧合板*ストフォーム 140x20 新設	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設	塩ビ 新設	2.400	木製三方枠新設、洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 床下点検口600角新設 トイレ:ス:アスベスト製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 化粧鏡新設 大小便器・洗面器新設(設備工事)
	女子	【現況】 ↓ 【改修後】	押えコンクリート(7)70mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	—	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去 PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 撤去	—	コンクリート打放し補修の上 アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去	—	3.430	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 トイレ:ス:アスベスト製特殊UV硬質セメント板撤去 トイレ:ス沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、大便器撤去(設備工事) 床下点検口600角撤去
		【改修後】	下地調整(シタ)コンクリート(7)40~50mm (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	ラインク:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ラインク 甲板:メラミン化粧合板*ストフォーム 140x20 新設	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設	塩ビ 新設	2.400	木製三方枠新設、洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 床下点検口600角新設 トイレ:ス:アスベスト製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 化粧鏡新設 大便器・洗面器・SK新設(設備工事)
	多目的(1)	【現況】 ↓ 【改修後】	押えコンクリート(7)120mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	—	モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去	—	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り OP 撤去	塩ビ 撤去	2.500	大便器・洗面器用手摺撤去 大便器・洗面器撤去(設備工事) 非常用*タ撤去(電気工事)
【改修後】		モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	ラインク:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ラインク 甲板:メラミン化粧合板*ストフォーム 140x20 新設	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設	塩ビ 新設	2.500	L型手摺(TOTO:T112CL10同等品)・跪上手摺(TOTO:T112HK7R同等品) 洗面器用手摺(TOTO:T112CP23同等品)新設 化粧鏡新設 大便器・洗面器・オストイト(コンハク)新設(設備工事) 非常用*タ新設(電気工事)	
通路	【現況】 ↓ 【改修後】	押えコンクリート(7)120mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	ビニル巾木 h=75 撤去	モルタル金ゴテ VP 下地・仕上撤去	—	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り OP 撤去	塩ビ 撤去	2.750	人研ぎ製洗面撤去 掃除具入撤去	
	【改修後】	モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 PS:一部壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	—	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り EP-G 新設	塩ビ 新設	2.750	掃除具入新設 室名札:スینگ(型)男子・女子・多目的(1)新設 SK新設(設備工事)	
便所(B) 2・3・4階	男子	【現況】 ↓ 【改修後】	均しモルタル(7)20mm+7スフト防水層 +押えコンクリート(7)40mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	—	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去 PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 撤去	ラインク:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 ラインク 甲板:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去	コンクリート打放し補修の上 アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去	—	3.430	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 トイレ:ス:アスベスト製特殊UV硬質セメント板撤去 トイレ:ス沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、大小便器撤去(設備工事) 掃除具入撤去
		【改修後】	下地調整(シタ)コンクリート(7)40~50mm (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 洗面壁:PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	ラインク:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ラインク 甲板:メラミン化粧合板*ストフォーム 140x20 新設	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設	塩ビ 新設	2.400	木製三方枠新設、洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 トイレ:ス:アスベスト製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 化粧鏡新設 大小便器・洗面器・SK新設(設備工事)
	女子	【現況】 ↓ 【改修後】	均しモルタル(7)20mm+7スフト防水層 +押えコンクリート(7)40mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	—	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去 PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシン吹付(アスベスト含有) 撤去	—	コンクリート打放し補修の上 アクリルシン吹付(アスベスト含有) 下地調整材・仕上塗材撤去	—	3.430	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 トイレ:ス:アスベスト製特殊UV硬質セメント板撤去 トイレ:ス沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、大便器撤去(設備工事)
		【改修後】	下地調整(シタ)コンクリート(7)40~50mm (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	—	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設	塩ビ 新設	2.400	木製三方枠新設 トイレ:ス:アスベスト製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 大便器・洗面器・SK新設(設備工事)
通路	【現況】 ↓ 【改修後】	均しモルタル(7)20mm+7スフト防水層 +押えコンクリート(7)90mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り 撤去	ビニル巾木 h=75 撤去	モルタル金ゴテ VP 下地・仕上撤去	—	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り OP 撤去	塩ビ 撤去	2.750	人研ぎ製洗面撤去 化粧鏡撤去 SK撤去(設備工事)	
	【改修後】	モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設	ビニル巾木 h=60 新設	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:LGS(W100)の上 耐水石膏ボード(7)12.5mm下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設	ラインク:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ラインク 甲板:メラミン化粧合板*ストフォーム 140x20 新設	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り EP-G 新設	塩ビ 新設	2.750	洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 SK内:フック新設 化粧鏡新設 室名札:スینگ(型)男子・女子新設 洗面器・SK新設(設備工事)	
各階共通	P S	【現況】 ↓ 【改修後】	コンクリート金ゴテ直押え	—	コンクリート打放し素地 一部壁:CB積素地 撤去	—	コンクリート打放し素地	—	—	—
		【改修後】	既存のまま	—	既存のまま 一部壁:LGS(W100)下地 新設	—	既存のまま	—	—	—

※アスベスト撤去工法は、(湿式)集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式(ウォータークリーンSG工法:(株)マルホウ同等以上)とする。

[現況] ⇒ 【改修後】

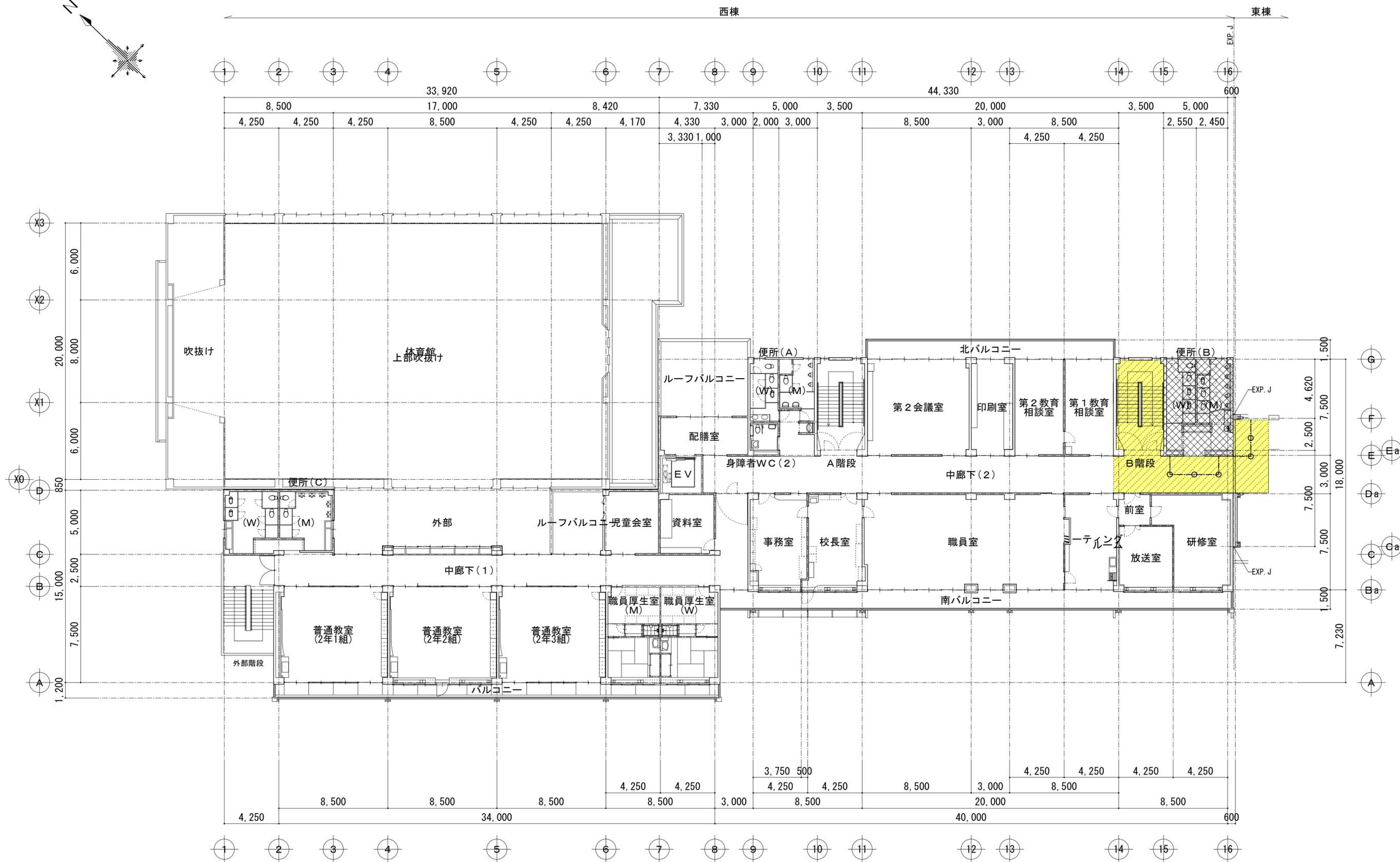
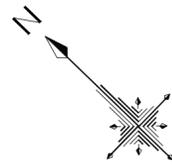
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有)梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(5)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事) 図面名称 内部仕上表 [現況] ⇒ 【改修後】	施工年度 令和3年度	図面番号 A-10		
											工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内		縮尺 no scale	



1階平面図・仮設計画図(参考) S=1/200

- 凡例
- 第1期工事対象部分を示す
 - 床養生部分：建築工用シート(JIS 2類)
 - 仮設間仕切りB種：LGS下地 合板(7)9.0mm張り
※工事仮設計画及び工程計画については、居ながら工事の為施設管理者と調整の上決定すること。尚、施設利用者に支障を来さないように計画すること。

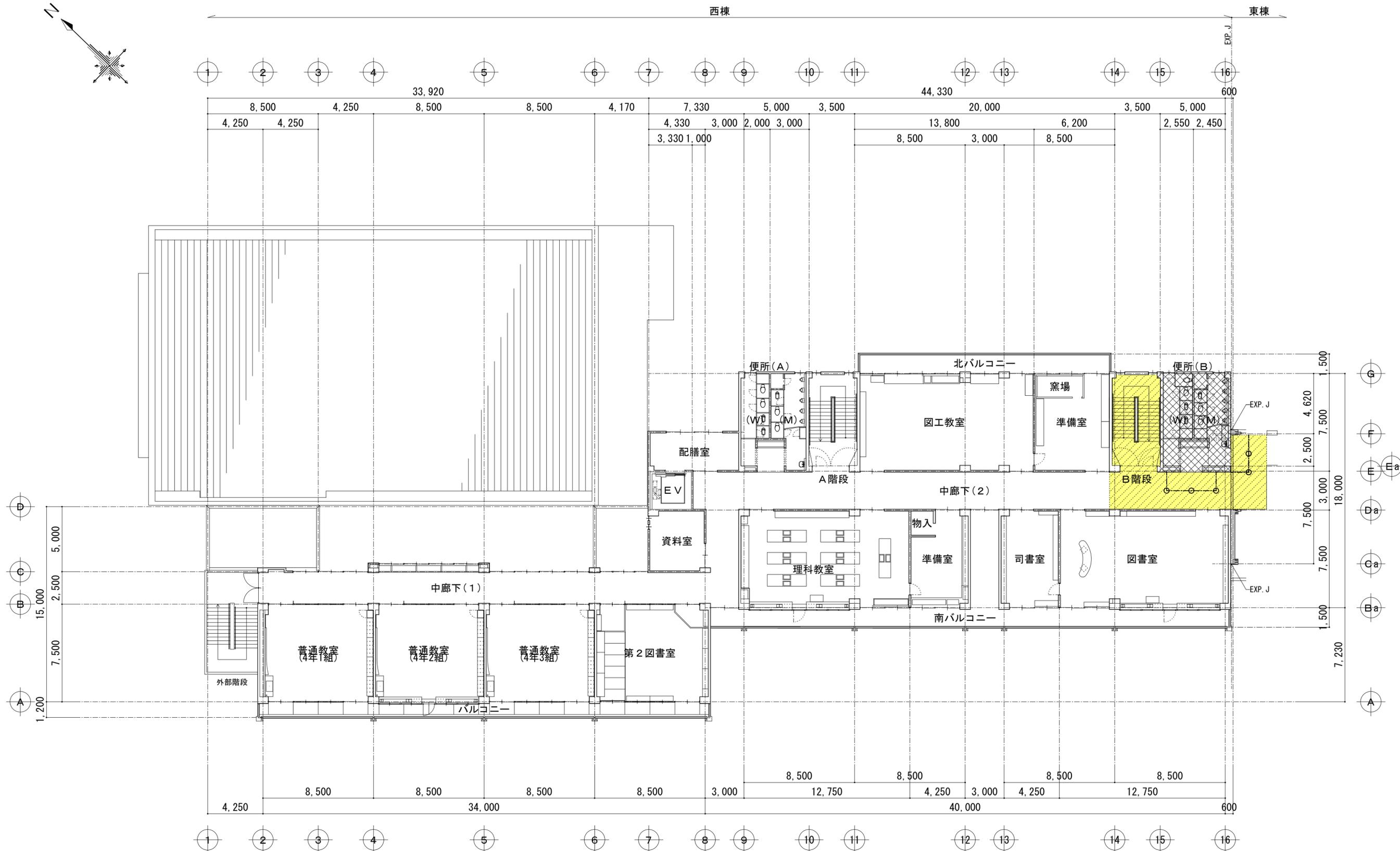
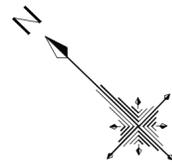
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事) 図面名称 1階平面図・仮設計画図(参考)	施工年度	令和3年度	図面番号 A-11 縮尺 S=1/200 <small>A2: 1/200, A3: 1/282</small>	
	工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内													
	図面番号 A-11													



2階平面図・仮設計画図(参考) S=1/200

- 凡例
- 第1期工事対象部分を示す
 - 床養生部分：建築工事用シート(JIS 2類)
 - 仮設間仕切りB種：LGS下地 合板(7)9.0mm張り
- ※工事仮設計画及び工程計画については、居ながら工事の為施設管理者と調整の上決定すること。尚、施設利用者に支障を来さないように計画すること。

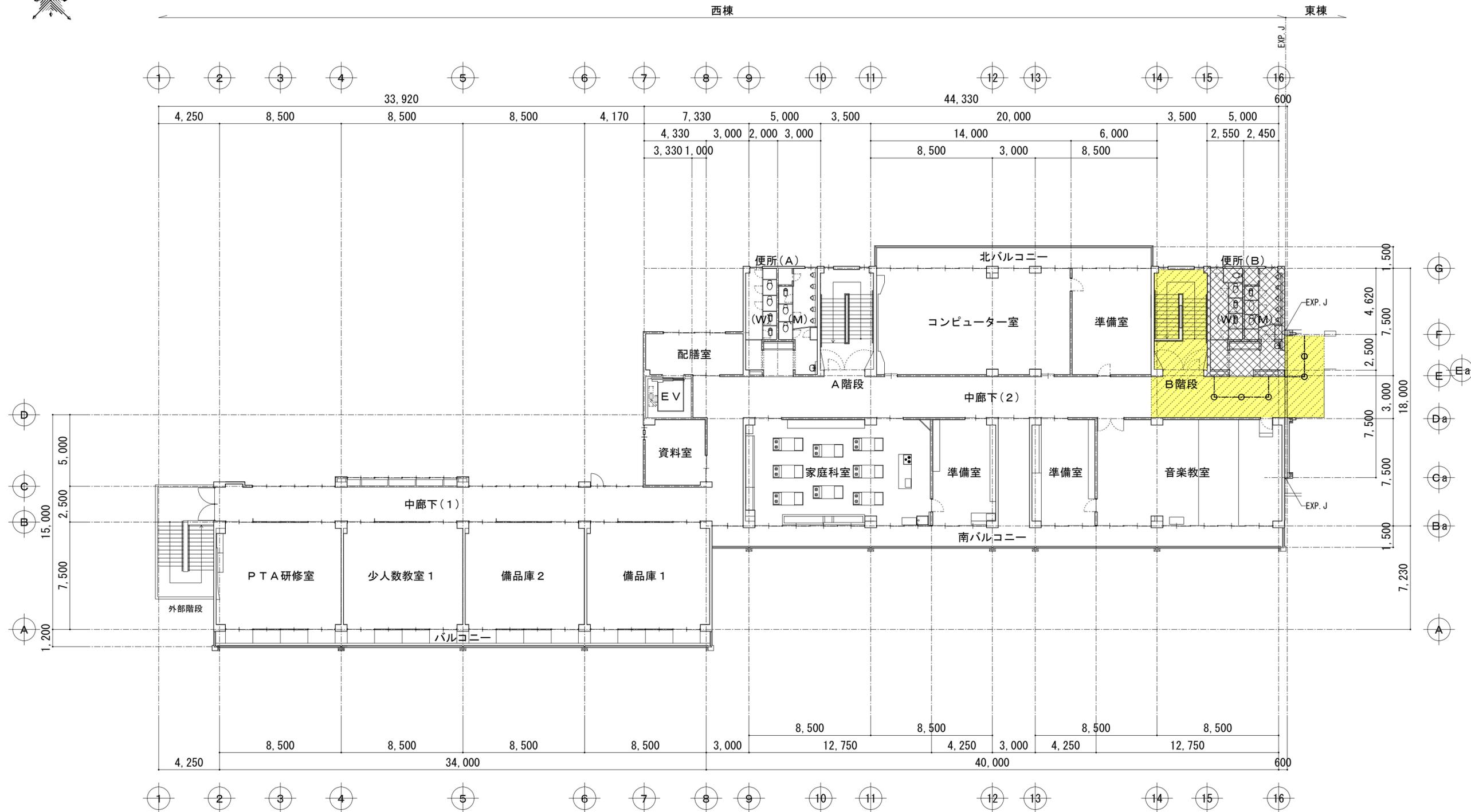
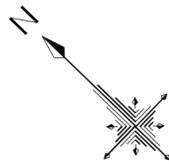
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	A-12
										図面名称	2階平面図・仮設計画図(参考)	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282



3階平面図・仮設計画図(参考) S=1/200

- 凡例
- 第1期工事対象部分を示す
 - 床養生部分：建築工事用シート(JIS 2類)
 - 仮設間仕切りB種：LGS下地 合板(7)9.0mm張り
※工事仮設計画及び工程計画については、居ながら工事の為施設管理者と調整の上決定すること。尚、施設利用者に支障を来さないように計画すること。

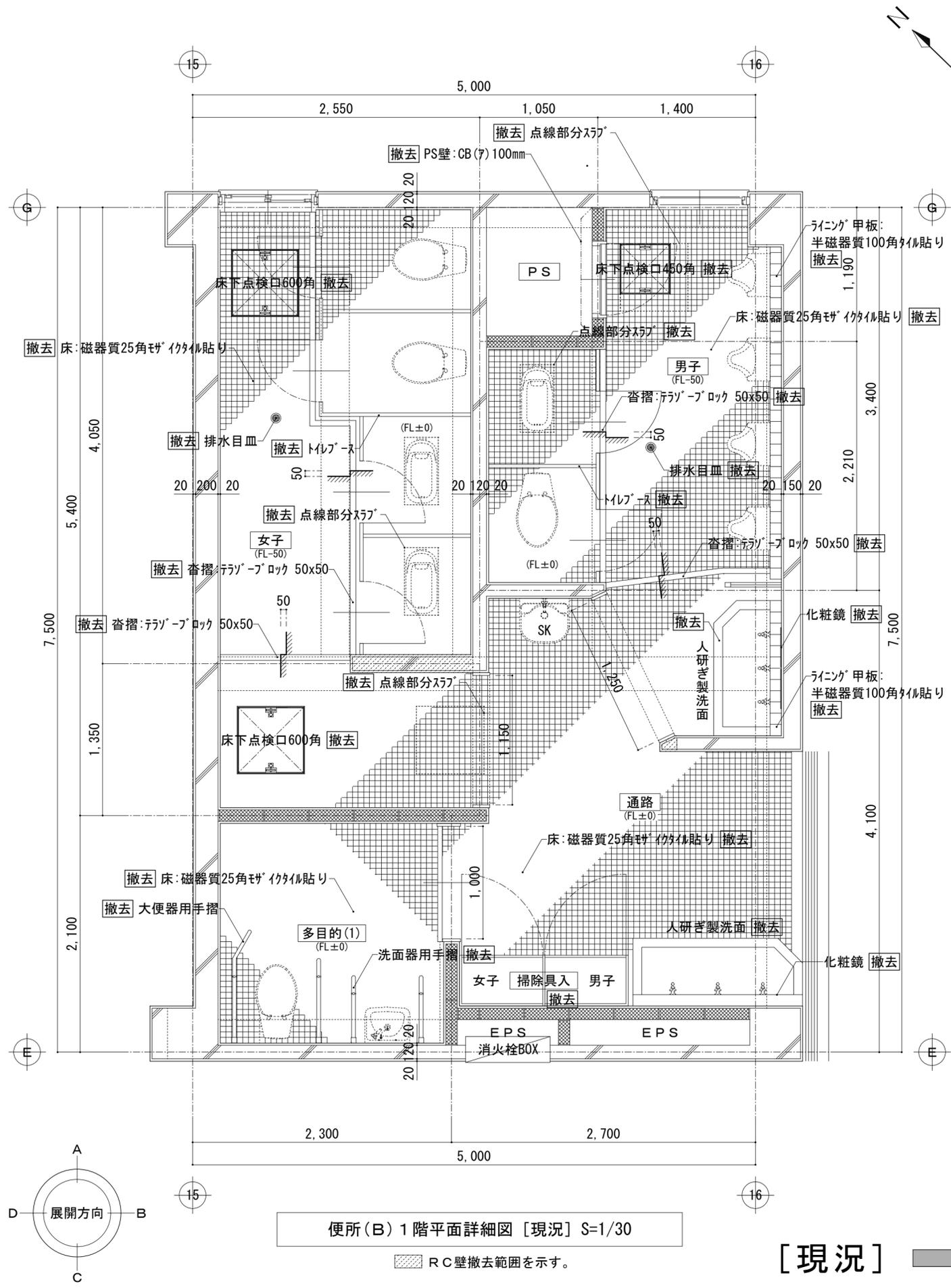
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 <small>一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴</small>	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事) 図面名称 3階平面図・仮設計画図(参考)	施工年度 令和3年度 工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	図面番号 A-13 縮尺 S=1/200 <small>A2: 1/200, A3: 1/282</small>



4階平面図・仮設計画図(参考) S=1/200

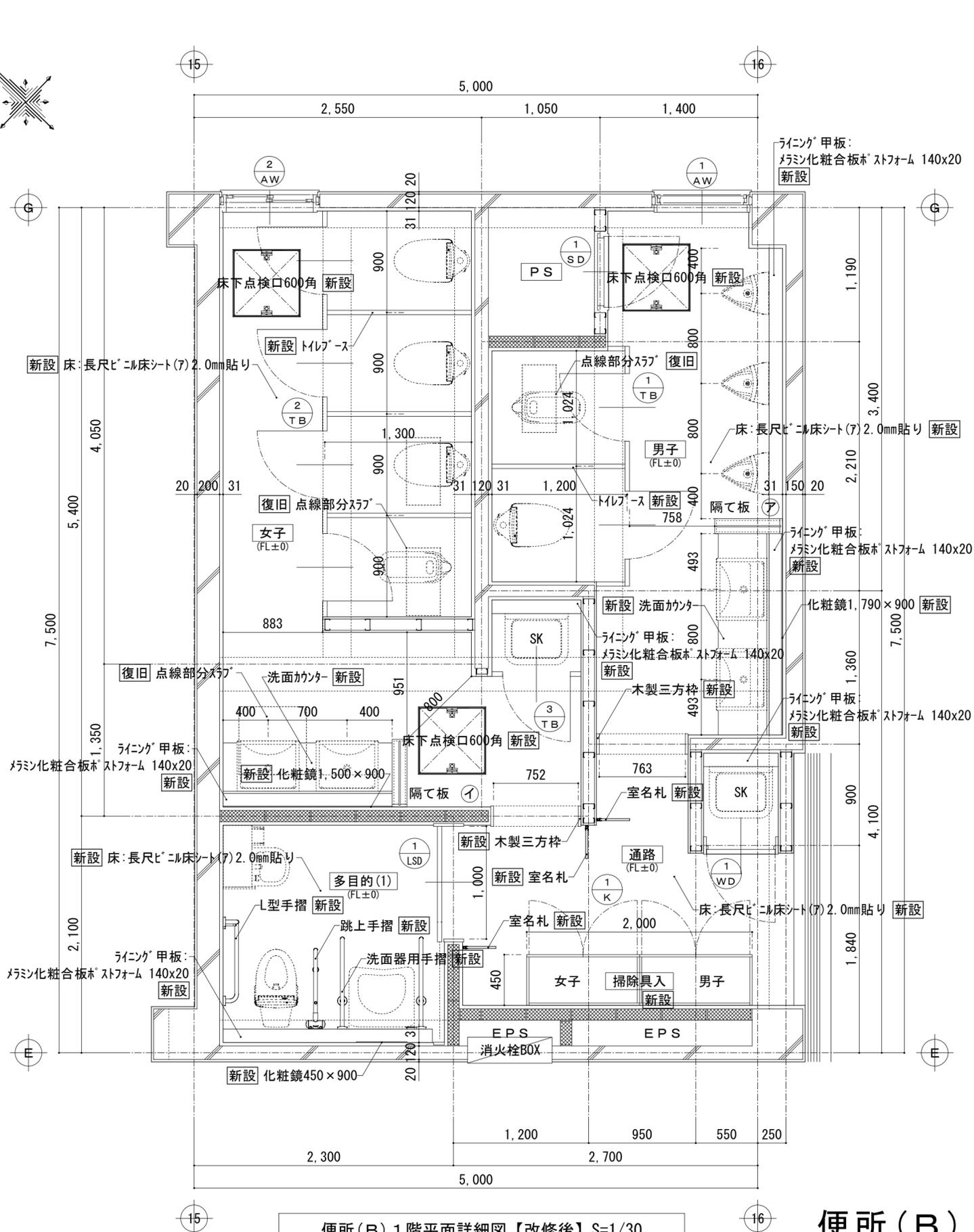
- 凡例
- 第1期工事対象部分を示す
 - 床養生部分：建築工用シート(JIS 2類)
 - 仮設間仕切りB種：LGS下地 合板(7)9.0mm張り
- ※工事仮設計画及び工程計画については、居ながら工事の為施設管理者と調整の上決定すること。尚、施設利用者に支障を来さないように計画すること。

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 <small>一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴</small>	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事) 図面名称 4階平面図・仮設計画図(参考)	施工年度 令和3年度 工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	図面番号 A-14 縮尺 S=1/200 <small>A2: 1/200, A3: 1/282</small>



便所(B) 1階平面詳細図 [現況] S=1/30
 ■ R/C壁撤去範囲を示す。

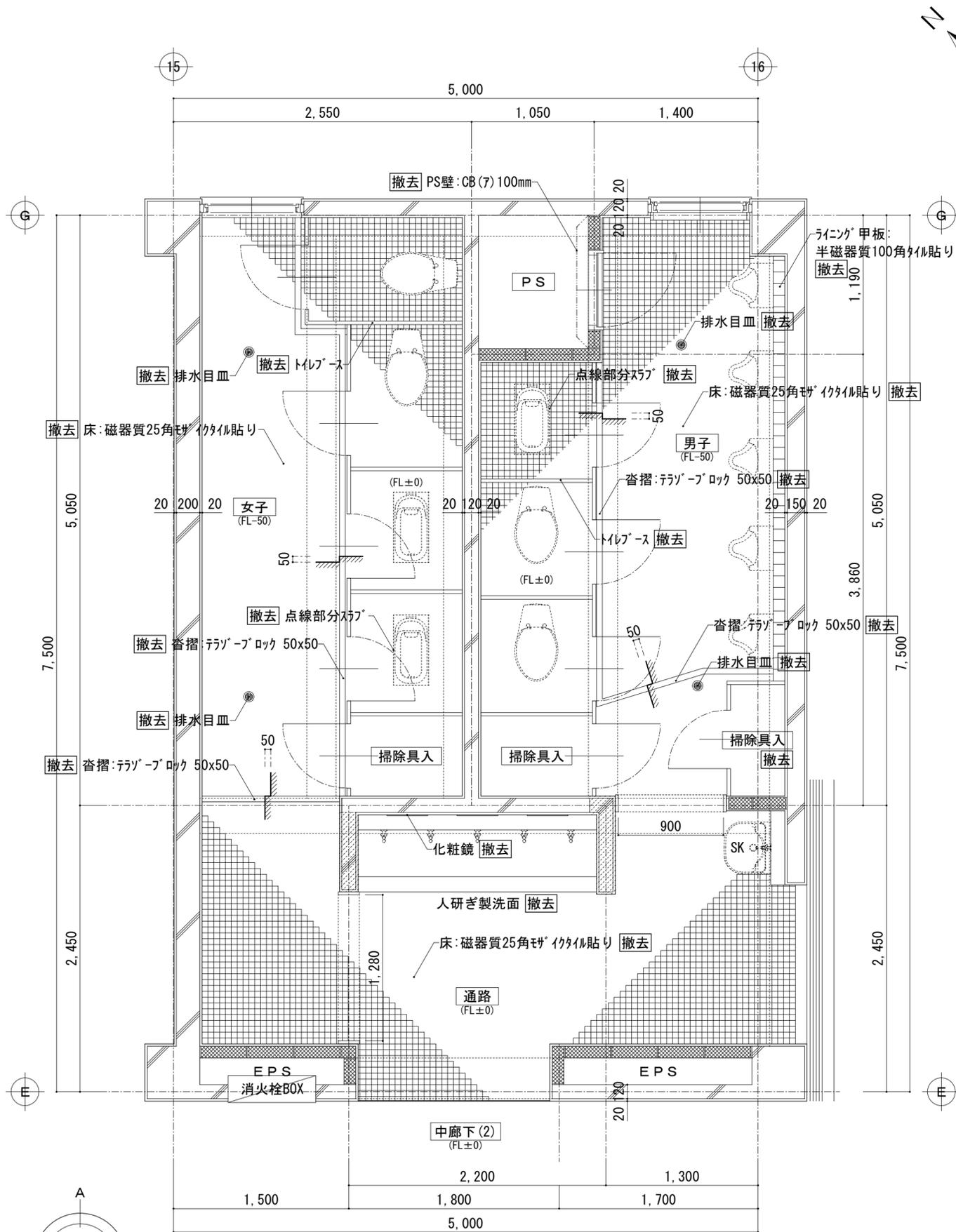
[現況] → 【改修後】



便所(B) 1階平面詳細図【改修後】 S=1/30

便所(B) 1階

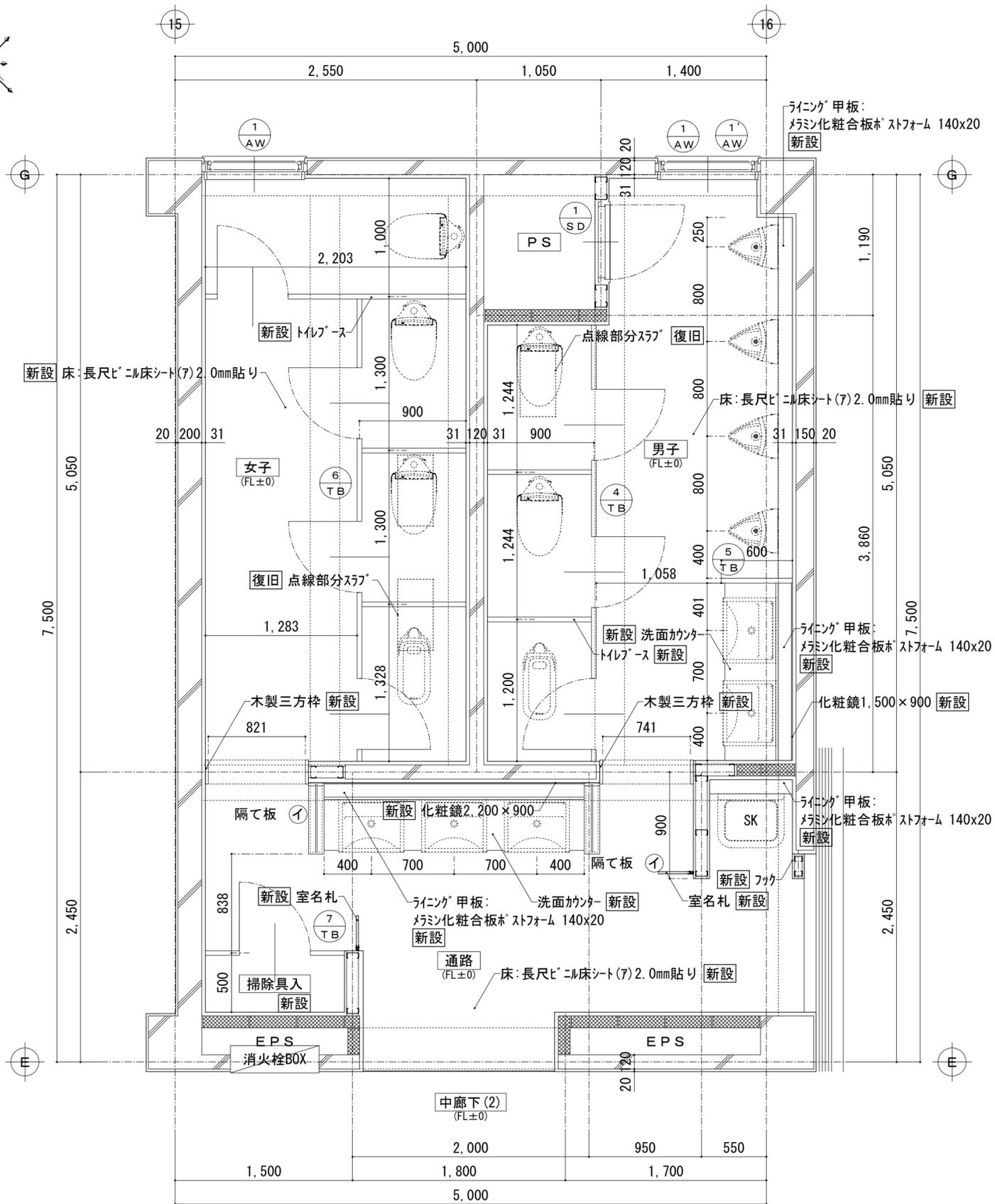
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	A-15
	図面名称	便所(B) 1階平面詳細図 [現況] ⇒ 【改修後】	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺		S=1/30 A2: 1/30, A3: 1/43								



便所(B) 2・3・4階平面詳細図【現況】 S=1/30

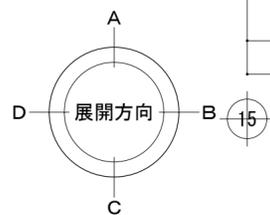
RC壁撤去範囲を示す。

【現況】 → 【改修後】



便所(B) 2・3・4階平面詳細図【改修後】 S=1/30

便所(B)
2・3・4階



富士見市総務部営繕課

課長	副課長	主査	監督員	主幹

(有) 梶 芳晴建築設計研究所

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号
一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴

JOB MANAGER JOB CAPTAIN DRAFTING BY

工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事
(第1期工事)

図面名称 便所(B) 2・3・4階平面詳細図
【現況】 ⇒ 【改修後】

施工年度 令和3年度
工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内

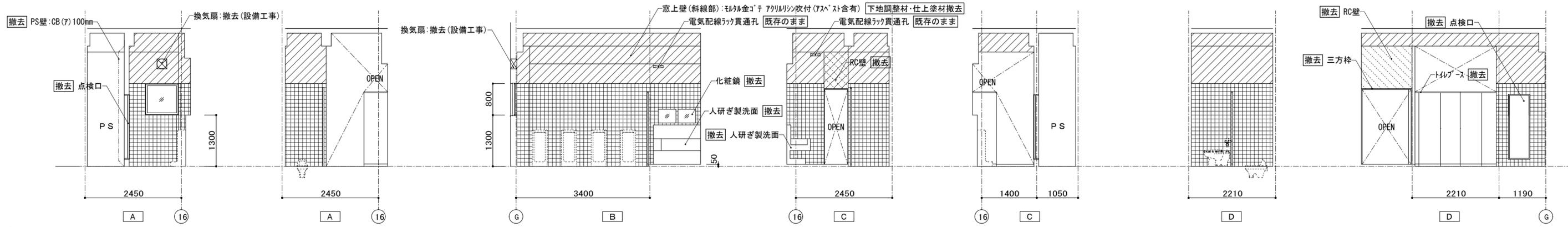
図面番号

A-16

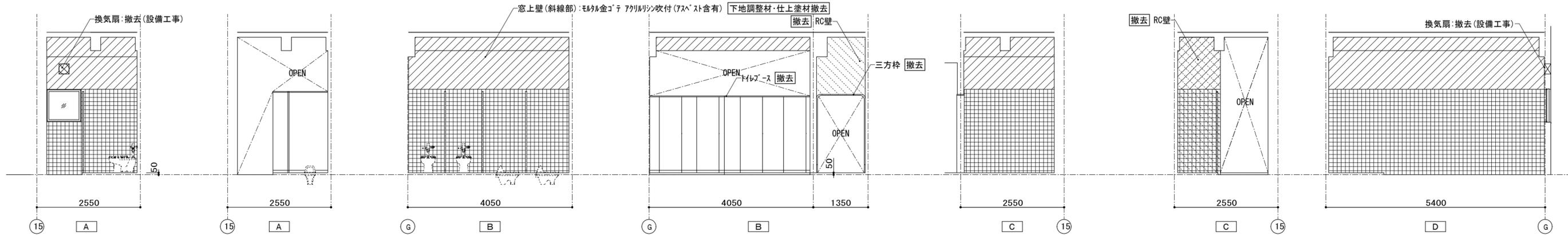
縮尺

S=1/30

A2: 1/30, A3: 1/43



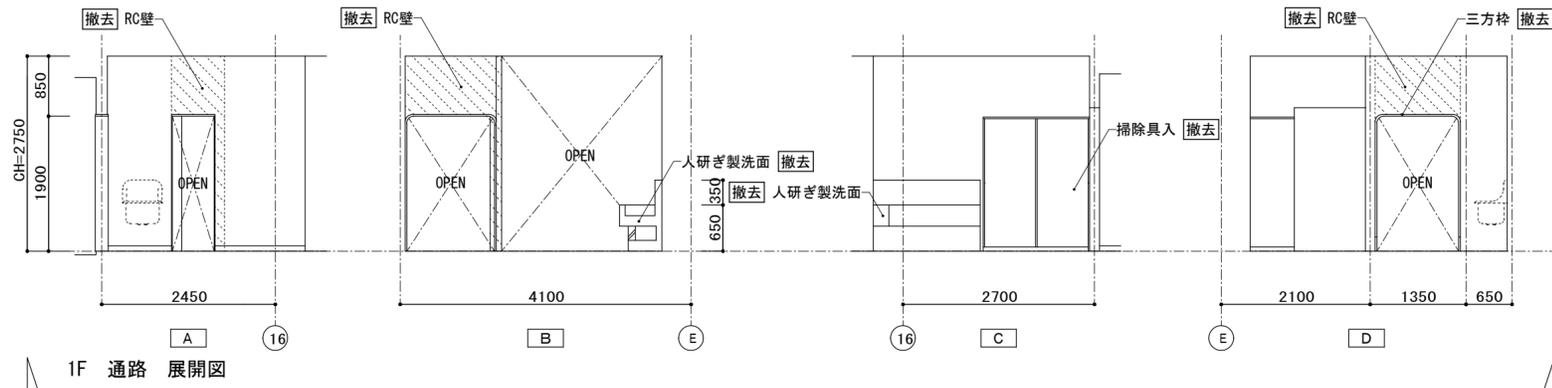
1F 男子トイレ 展開図



1F 女子トイレ 展開図

便所(B) 1階男子トイレ [現況]	
床	押えコンクリート(7)70mm [既存のまま] モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り [撤去]
巾木	—
壁	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去] 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシ吹付 (アスベスト含有) [下地調整材・仕上塗材撤去] PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去] PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシ吹付 (アスベスト含有) [撤去]
壁(2)	ライニング:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去] ライニング 甲板:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去]
天井	コンクリート打放し補修の上 アクリルシ吹付 (アスベスト含有) [下地調整材・仕上塗材撤去]
廻縁	—
備考	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去、人研ぎ製洗面撤去 トイレース:7mm枠製特殊UV硬質セメント板撤去 トイレース沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、化粧鏡撤去、大小便器撤去(設備工事) 床下点検口450角撤去

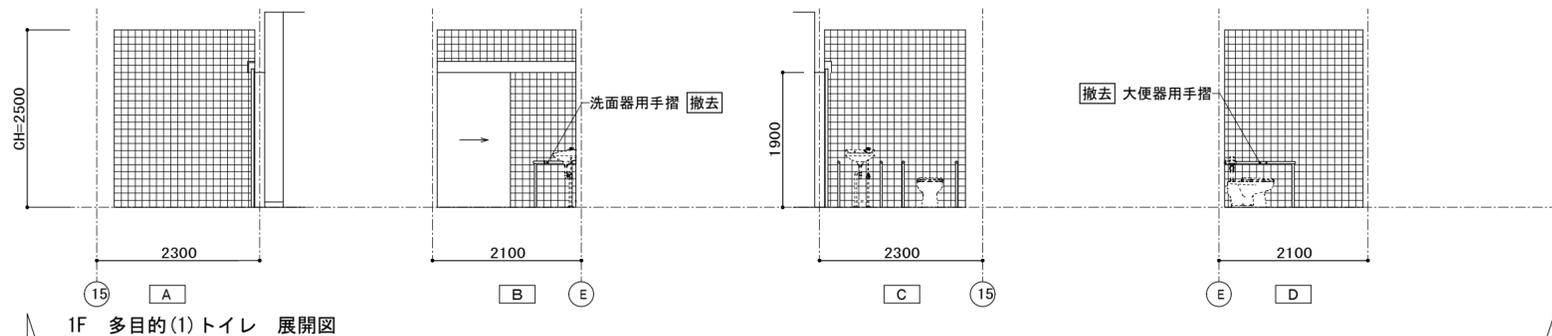
便所(B) 1階女子トイレ [現況]	
床	押えコンクリート(7)70mm [既存のまま] モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り [撤去]
巾木	—
壁	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去] 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシ吹付 (アスベスト含有) [下地調整材・仕上塗材撤去] PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去] PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシ吹付 (アスベスト含有) [撤去]
壁(2)	—
天井	コンクリート打放し補修の上 アクリルシ吹付 (アスベスト含有) [下地調整材・仕上塗材撤去]
廻縁	—
備考	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 トイレース:7mm枠製特殊UV硬質セメント板撤去 トイレース沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、大便器撤去(設備工事) 床下点検口600角撤去



1F 通路 展開図

便所(B) 多目的(1)トイレ [現況]	
床	押えコンクリート(7)120mm [既存のまま] モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り [撤去]
巾木	—
壁	モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り [撤去]
壁(2)	—
天井	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り OP [撤去]
廻縁	塩ビ [撤去]
備考	大便器・洗面器用手摺撤去 大便器・洗面器撤去(設備工事) 非常用ボタン撤去(電気工事)

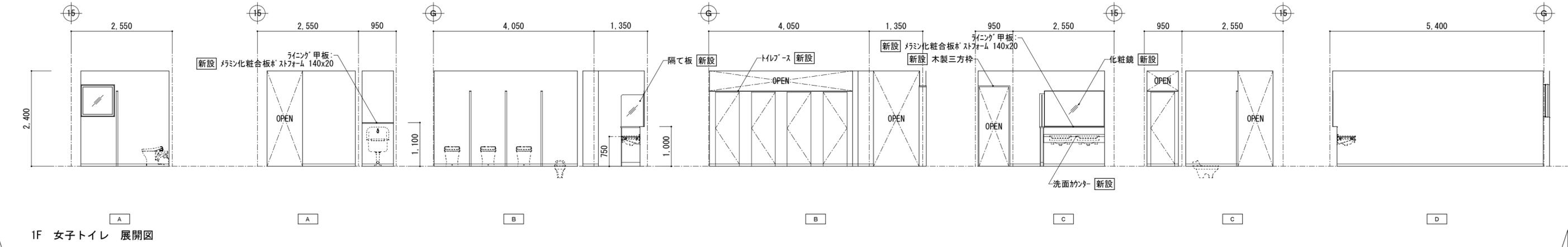
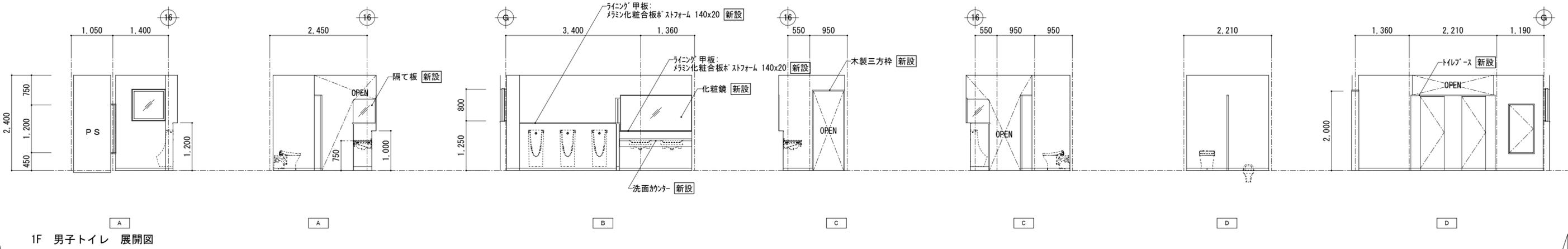
便所(B) 1階通路 [現況]	
床	押えコンクリート(7)120mm [既存のまま] モルタル下地 磁器質25角モザイクタイル貼り [撤去]
巾木	ビニル巾木 h=75 [撤去]
壁	モルタル金ゴテ VP [下地・仕上撤去]
壁(2)	—
天井	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り OP [撤去]
廻縁	塩ビ [撤去]
備考	人研ぎ製洗面撤去 掃除具入撤去 SK撤去(設備工事)



1F 多目的(1)トイレ 展開図

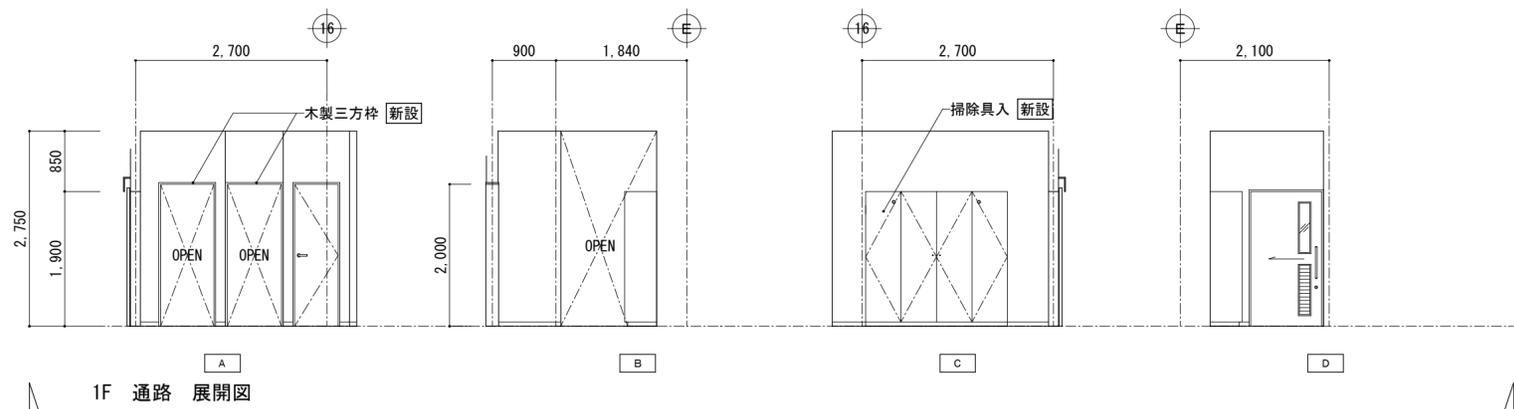
[現況]
便所(B) 1階

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	A-17
	図面名称	便所(B) 1階展開図 [現況]	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺		S=1/50 A2: 1/50, A3: 1/71								



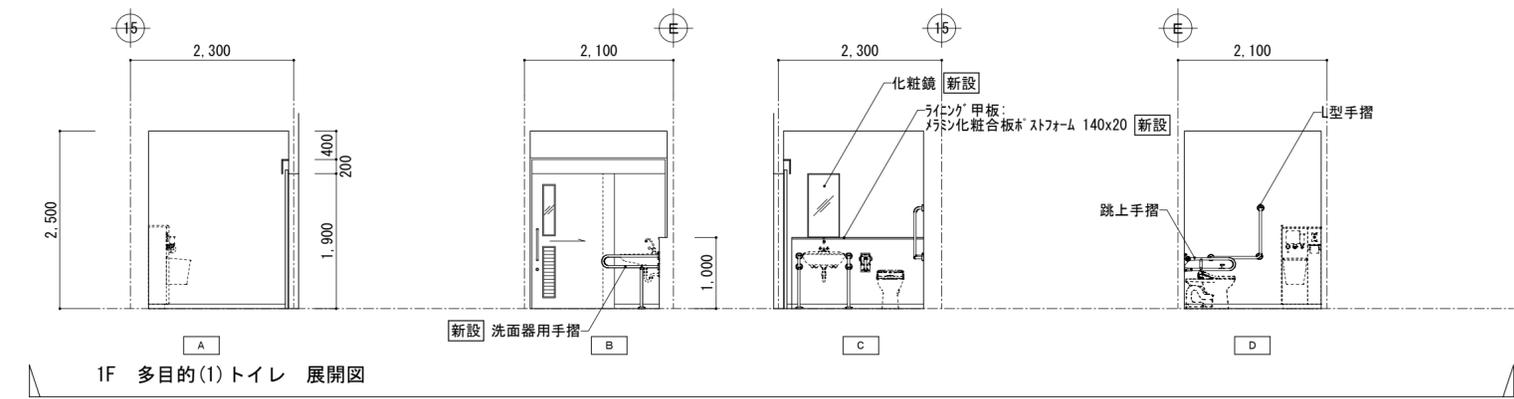
便所(B) 1階男子トイレ [現況]	
床	下地調整(ソック-コンクリート)7)40~50mm) (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 洗面壁:PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	ライニング:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ライニング 甲板:マリン化粧合板* ストフォーム 140x20 新設
天井	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	木製三方枠新設、洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 床下点検口600角新設 トイレ・ス:7)ミ枠製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 化粧鏡新設 大小便器・洗面器新設(設備工事)

便所(B) 1階女子トイレ [現況]	
床	下地調整(ソック-コンクリート)7)40~50mm) (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	ライニング:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ライニング 甲板:マリン化粧合板* ストフォーム 140x20 新設
天井	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	木製三方枠新設、洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 床下点検口600角新設 トイレ・ス:7)ミ枠製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 化粧鏡新設 大便器・洗面器・SK新設(設備工事)

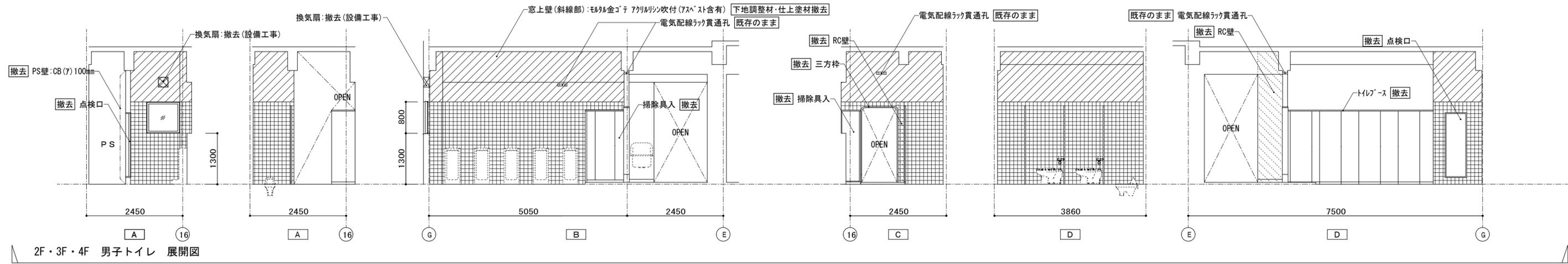


便所(B) 多目的(1)トイレ [現況]	
床	モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	ライニング:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ライニング 甲板:マリン化粧合板* ストフォーム 140x20 新設
天井	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	L型手摺(TOTO:T112CL10同等品)・跳上手摺(TOTO:T112HK7R同等品) 洗面器用手摺(TOTO:T112CP23同等品)新設、化粧鏡新設 大便器・洗面器・オストマト(コンパクト)新設(設備工事)、非常用ボタン新設(電気工事)

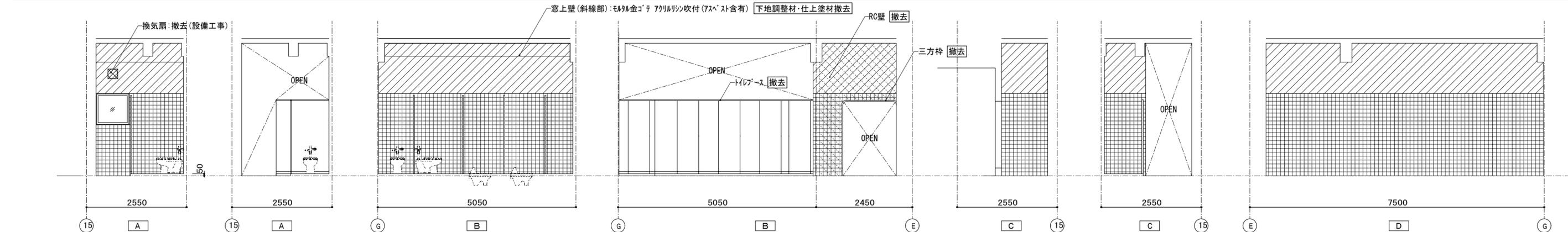
便所(B) 1階通路 [現況]	
床	モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 PS-一部壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm張り (GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	—
天井	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り EP-G 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	掃除具入新設 室名札:スイング型(男子・女子・多目的(1))新設 SK新設(設備工事)



【改修後】 便所(B) 1階



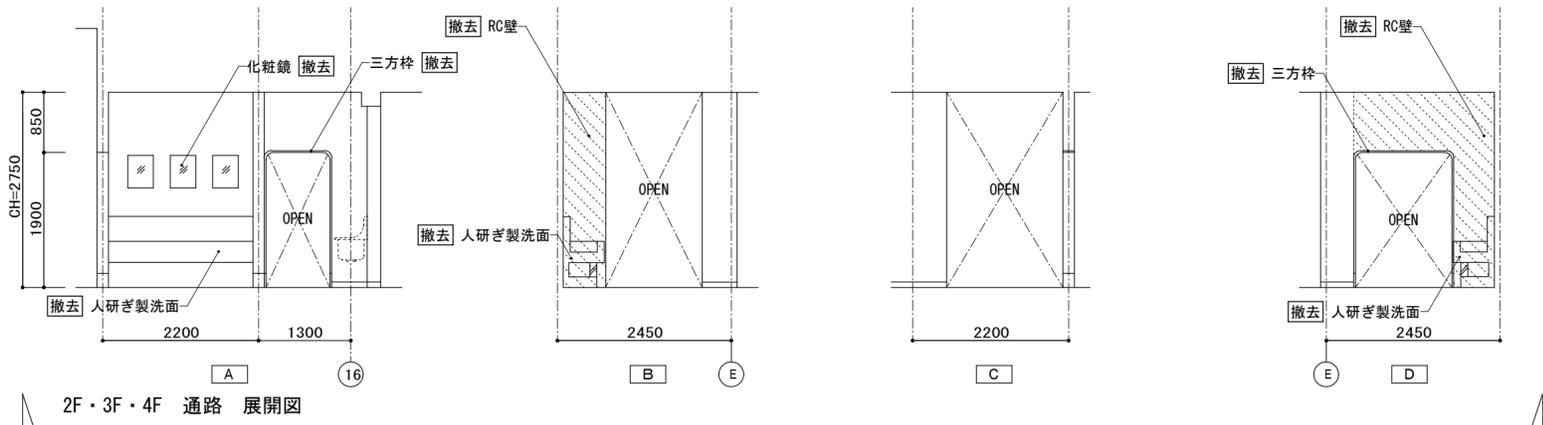
2F・3F・4F 男子トイレ 展開図



2F・3F・4F 女子トイレ 展開図

便所(B) 2・3・4階男子トイレ [現況]	
床	均しモルタル(7)20mm+アスファルト防水層 +押えコンクリート(7)40mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角セライクタイル貼り 撤去
巾木	—
壁	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシリコン吹付(7スベ)ス含有 下地調整材・仕上塗材撤去 PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシリコン吹付(7スベ)ス含有 撤去
壁(2)	ライニング:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 ライニング 甲板:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去
天井	コンクリート打放し補修の上 アクリルシリコン吹付(7スベ)ス含有 下地調整材・仕上塗材撤去
廻縁	—
備考	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 トイレノース:アルミ枠製特殊UV硬化セメント板撤去 トイレノース沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、大小便器撤去(設備工事) 掃除具入撤去

便所(B) 2・3・4階女子トイレ [現況]	
床	均しモルタル(7)20mm+アスファルト防水層 +押えコンクリート(7)40mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角セライクタイル貼り 撤去
巾木	—
壁	一般部:モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 窓上壁:モルタル金ゴテ アクリルシリコン吹付(7スベ)ス含有 下地調整材・仕上塗材撤去 PS壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル下地 半磁器質100角タイル貼り 撤去 PS上壁:コンクリートブロック(7)100mmの上 モルタル金ゴテ アクリルシリコン吹付(7スベ)ス含有 撤去
壁(2)	—
天井	コンクリート打放し補修の上 アクリルシリコン吹付(7スベ)ス含有 下地調整材・仕上塗材撤去
廻縁	—
備考	沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 トイレノース:アルミ枠製特殊UV硬化セメント板撤去 トイレノース沓摺:テラゾーブロック 50x50撤去 排水目皿撤去、大便器撤去(設備工事)

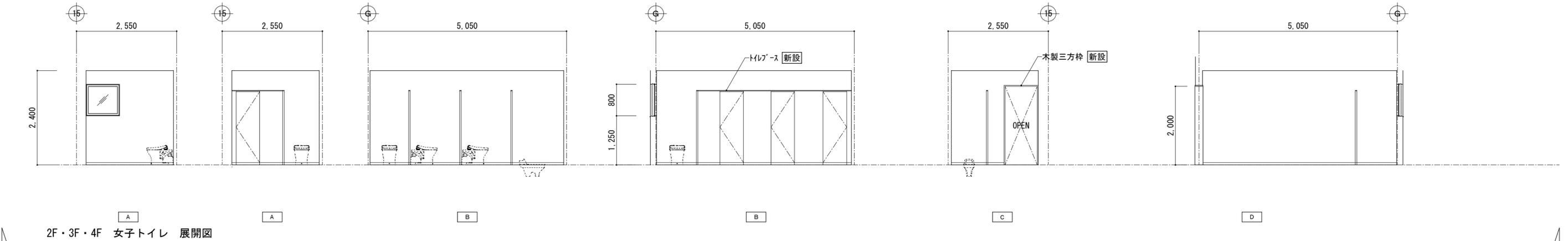
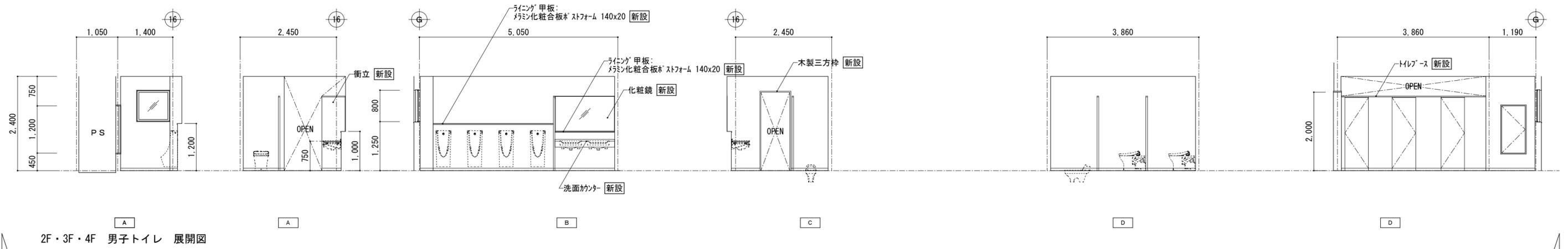


2F・3F・4F 通路 展開図

便所(B) 2・3・4階通路 [現況]	
床	均しモルタル(7)20mm+アスファルト防水層 +押えコンクリート(7)90mm 既存のまま モルタル下地 磁器質25角セライクタイル貼り 撤去
巾木	ビニル巾木 h=75 撤去
壁	モルタル金ゴテ VP 下地・仕上撤去
壁(2)	—
天井	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り OP 撤去
廻縁	塩ビ 撤去
備考	人研ぎ製洗面撤去 化粧鏡撤去 SK撤去(設備工事)

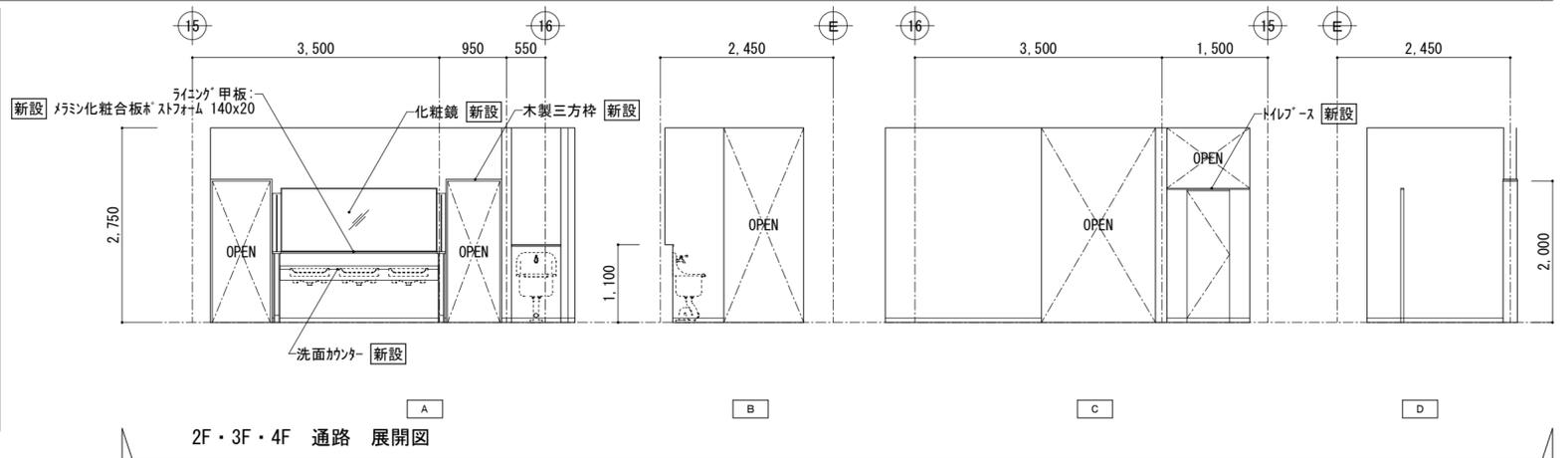
[現況]
便所(B) 2・3・4階

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	A-19
	図面名称	便所(B) 2・3・4階展開図 [現況]	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺		S=1/50 A2: 1/50, A3: 1/71								



便所(B) 2・3・4階男子トイレ [現況]	
床	下地調整(シタ)-コンクリート(7)40~50mm) (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 洗面壁・PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	ライニング:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ライニング 甲板:マシン化粧合板* ストフォーム 140x20 新設
天井	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	木製三方枠新設、洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設 トイレ・スリット枠製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 化粧鏡新設 大小便器・洗面器・SK新設(設備工事)

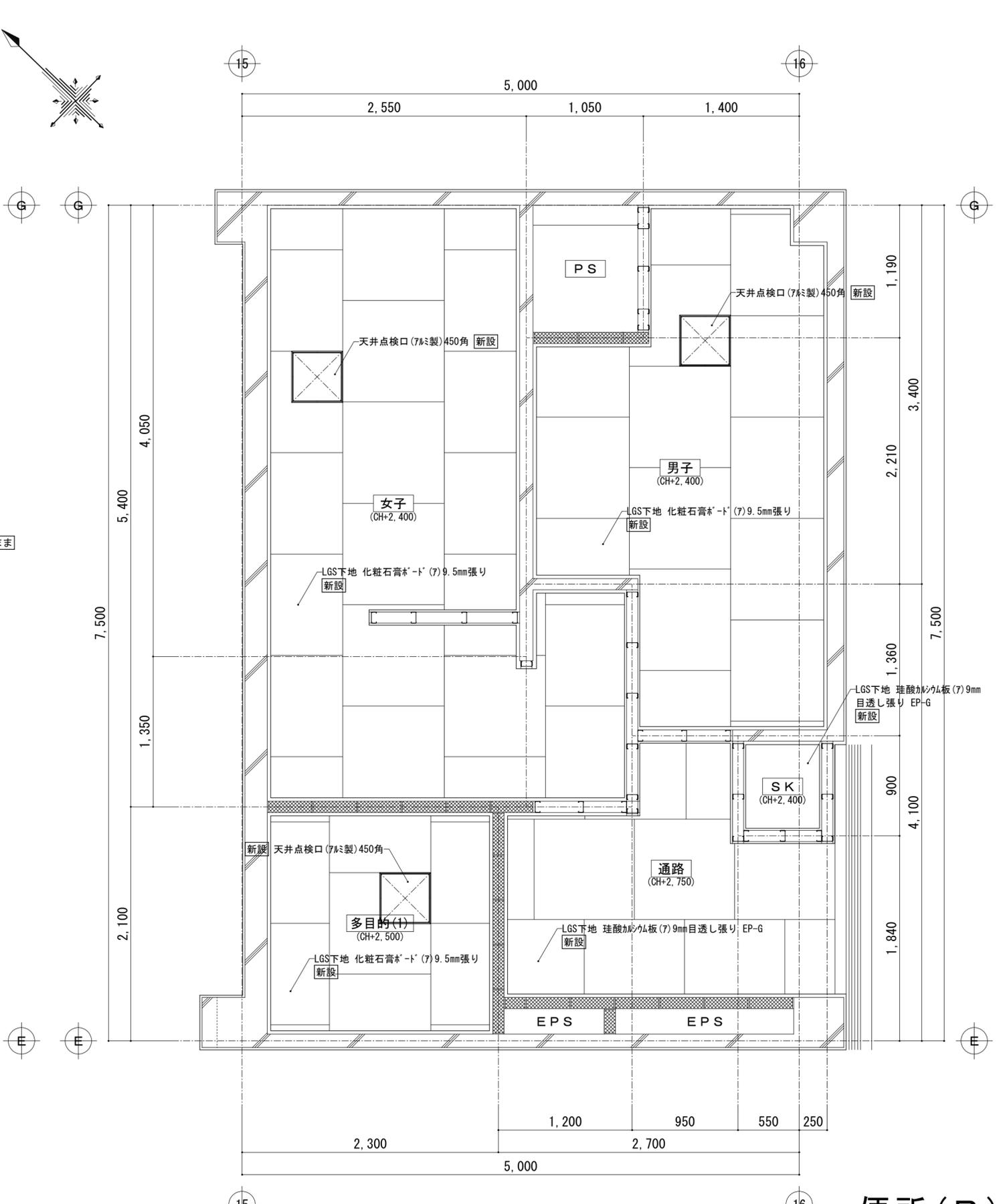
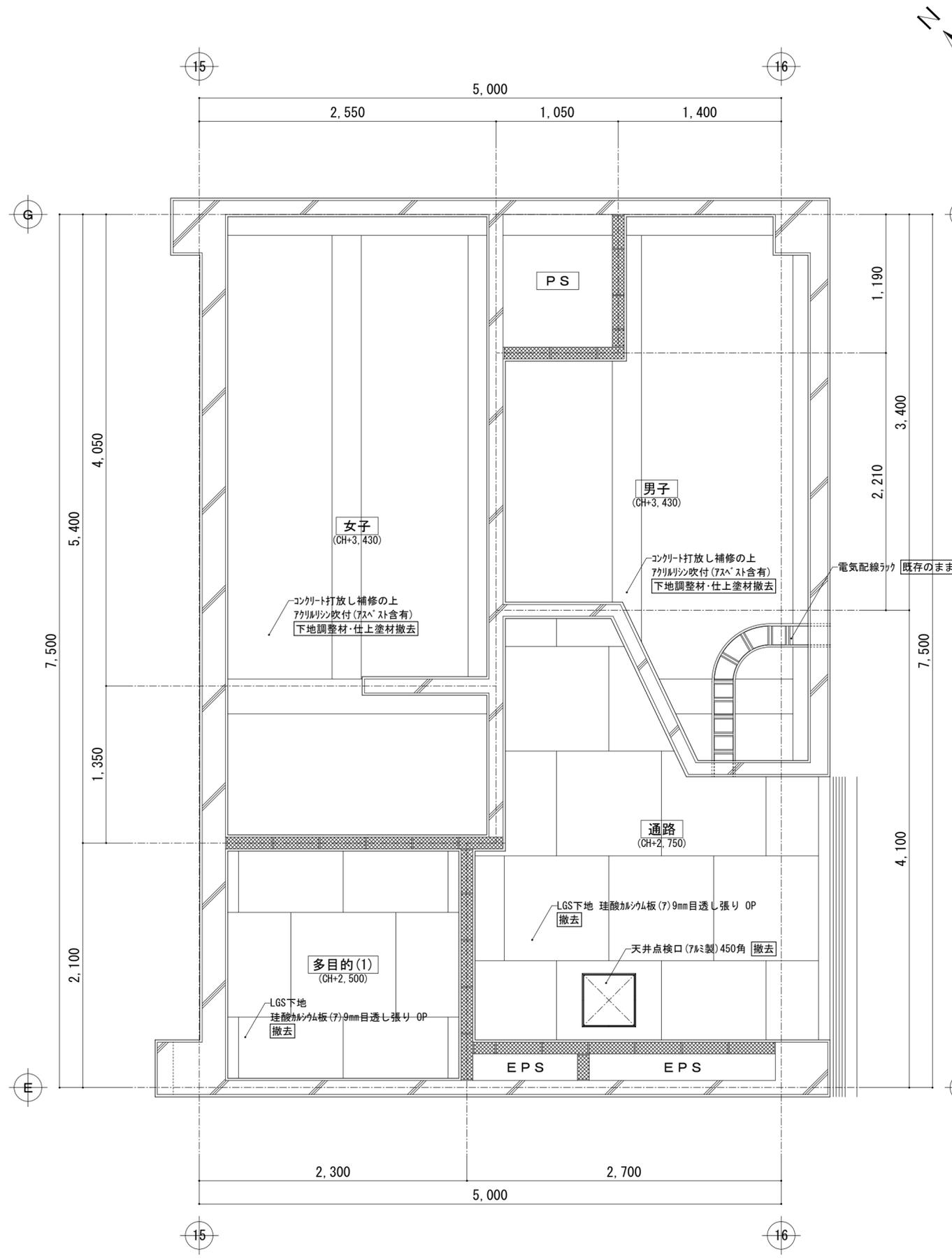
便所(B) 2・3・4階女子トイレ [現況]	
床	下地調整(シタ)-コンクリート(7)40~50mm) (溶接金網φ6-150x150敷設) 新設 モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁・PS壁:LGS(W100)、コンクリートブロック(7)100mmの上 耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	—
天井	LGS下地 化粧石膏ボード(7)9.5mm張り 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	木製三方枠新設 トイレ・スリット枠製*リ化粧合板新設、天井点検口450角新設 大便器・洗面器・SK新設(設備工事)



便所(B) 2・3・4階通路 [現況]	
床	モルタル金ゴテ下地 長尺ビニル床シート(7)2.0mm貼り 新設
巾木	ビニル巾木 h=60 新設
壁	耐水石膏ボード(7)12.5mm貼り(GL工法)下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 一部壁:LGS(W100)の上 耐水石膏ボード(7)12.5mm下地 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設
壁(2)	ライニング:LGS(W100)下地 耐水石膏ボード(7)12.5mmの上 化粧珪酸カルシウム板(7)6mm張り 新設 ライニング 甲板:マシン化粧合板* ストフォーム 140x20 新設
天井	LGS下地 珪酸カルシウム板(7)9mm目透し張り EP-G 新設
廻縁	塩ビ 新設
備考	洗面カウンター(TOTO:ML45同等品)新設、SK内:フック新設、化粧鏡新設 室名札:スリット型(男子・女子)新設、 洗面器・SK新設(設備工事)

【改修後】 便所(B) 2・3・4階

富士見市総務部営繕課	課長 副課長 主査 監督員 主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 A-20
			図面名称 便所(B) 2・3・4階展開図【改修後】			工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 S=1/50 A2: 1/50, A3: 1/71	



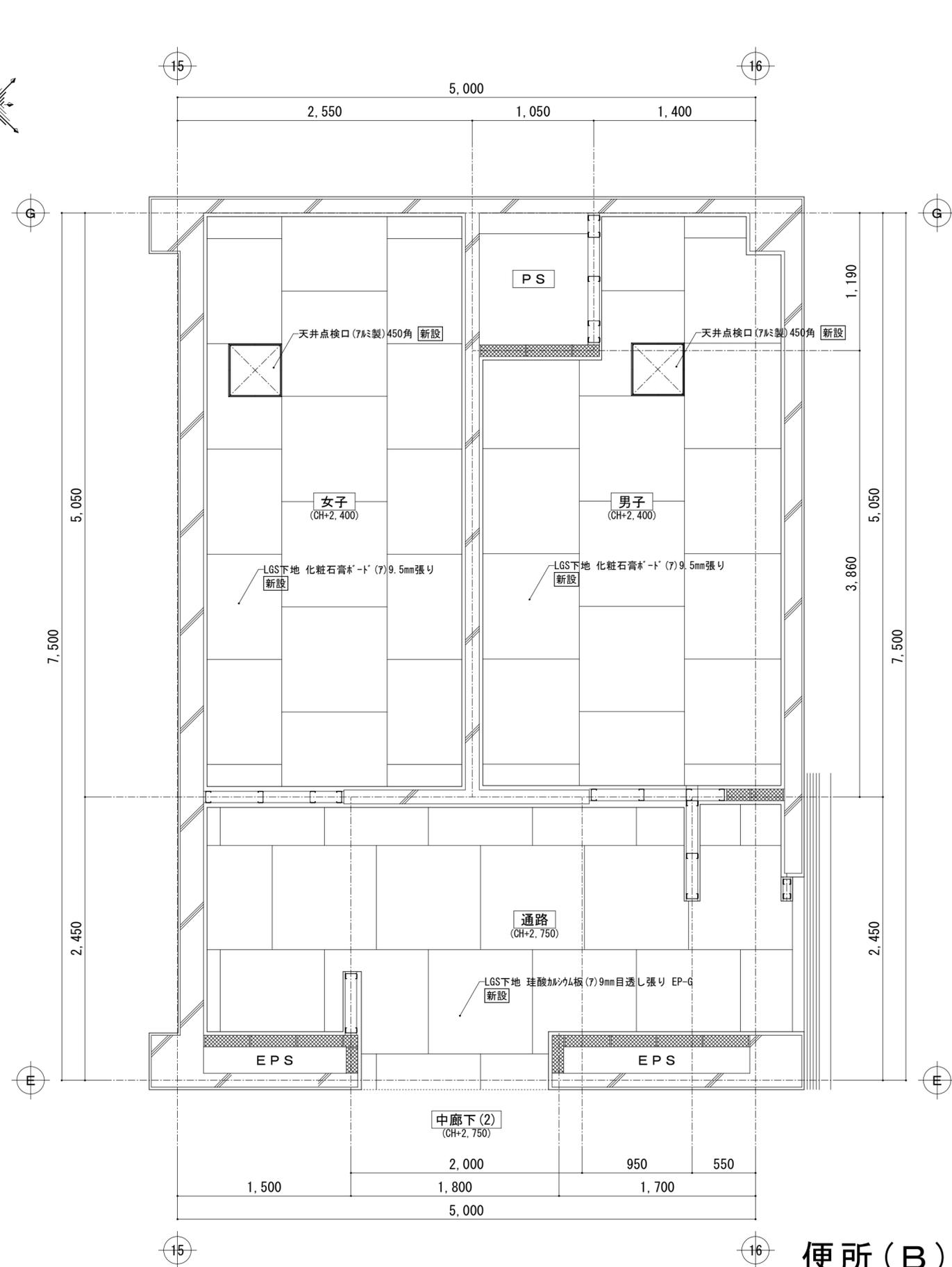
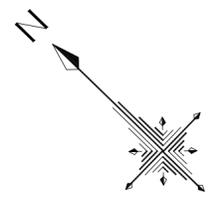
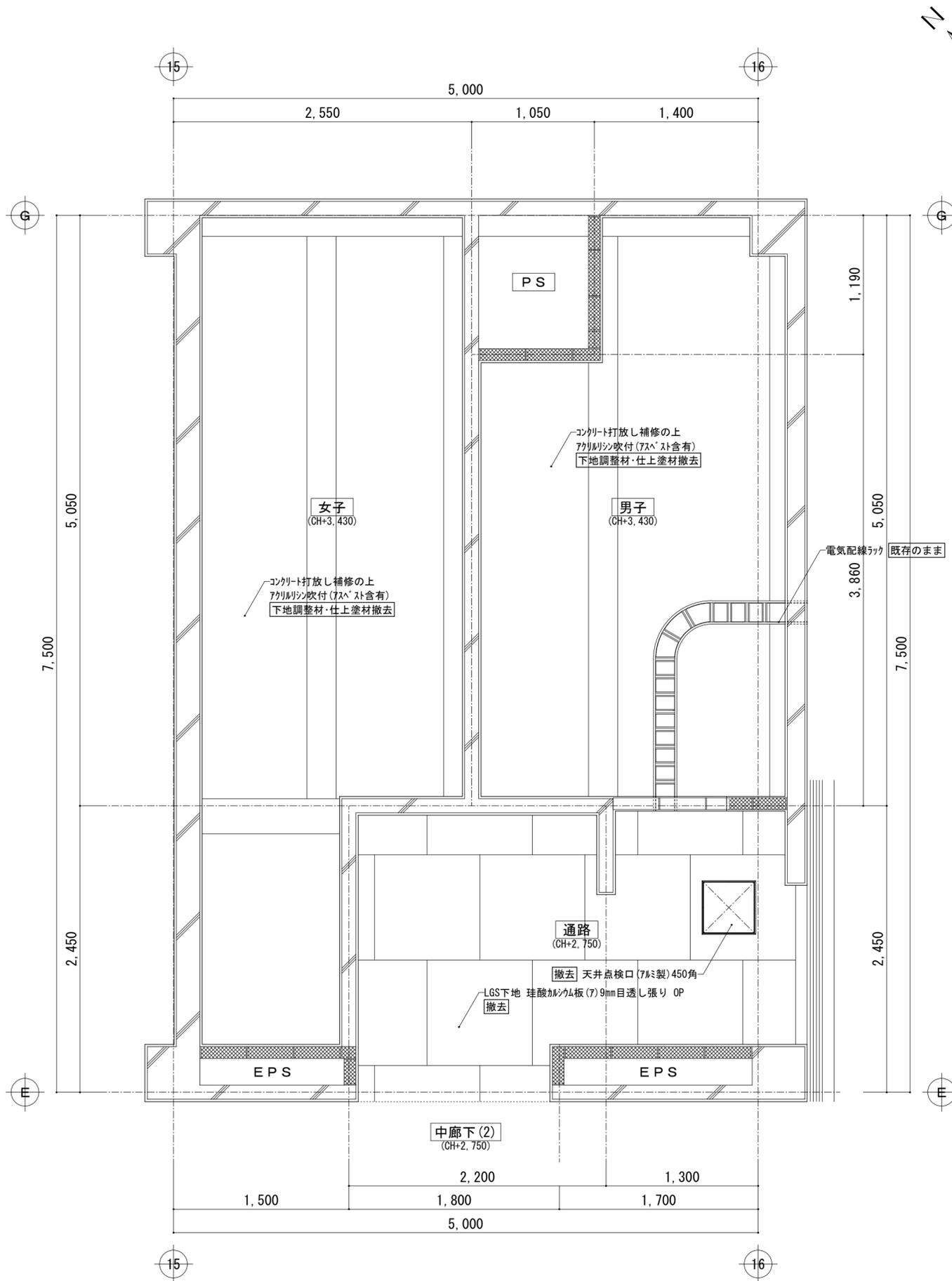
便所(B) 1階天井伏図 [現況] S=1/30

【現況】 → 【改修後】

便所(B) 1階天井伏図 【改修後】 S=1/30

便所(B) 1階

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER JOB CAPTAIN DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 A-21
	富士見市東みずほ台3丁目地内									
							図面名称 便所(B) 1階天井伏図 [現況] ⇒ 【改修後】		工事場所	



便所(B) 2・3・4階天井伏図 [現況] S=1/30

【現況】 → 【改修後】

便所(B) 2・3・4階天井伏図【改修後】 S=1/30

便所(B)
2・3・4階

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 A-22
										図面名称 便所(B) 2・3・4階天井伏図 [現況] ⇒ 【改修後】	工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 S=1/30 A2: 1/30, A3: 1/43

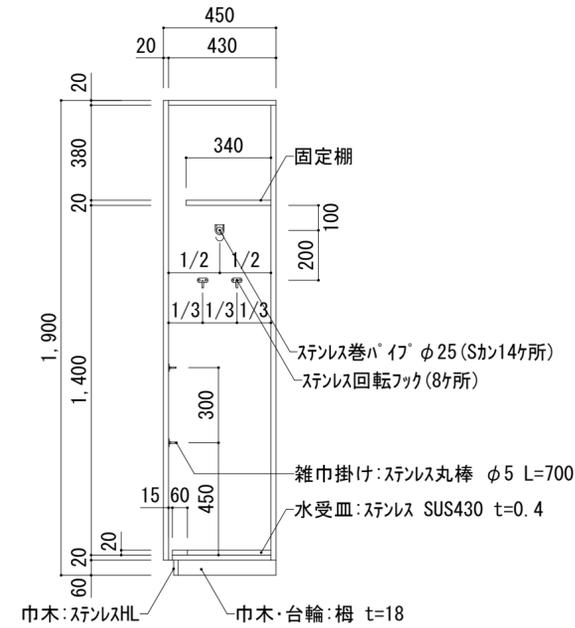
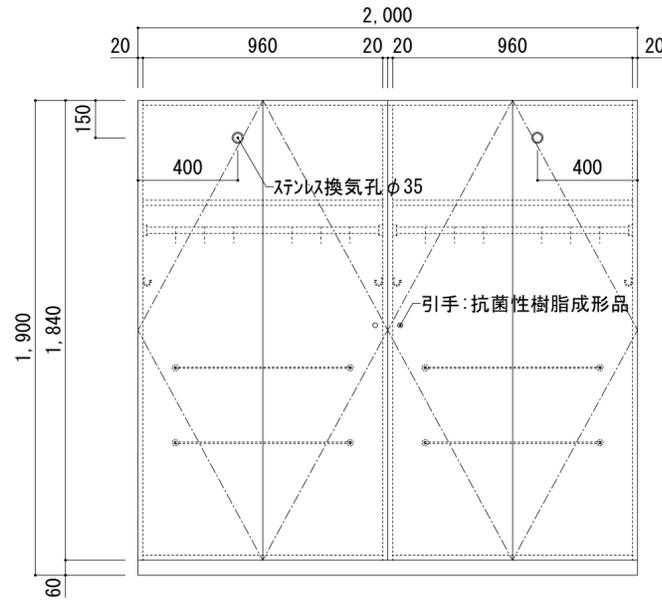
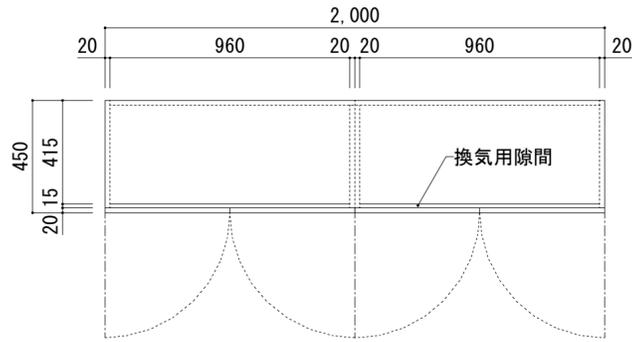
記号・室名・個数	① AW 便所(B) 1~4階男子、女子 6		① AW 便所(B) 4階男子 1		② AW 便所(B) 1階女子 1			
形状 寸法	[現況]	撤去	【改修後】	新設	[現況]	一部撤去	【改修後】	一部新設
型式	すべり出し窓		すべり出し窓(かゝ-工法)		すべり出し窓(かゝ-工法済み)		すべり出し窓(かゝ-工法済み)	
見込	70mm		70mm		70mm		70mm	
材質	アルミカー		アルミカー		アルミカー		アルミカー	
ガラス	型板ガラス(7)4mm		型板強化ガラス(7)4mm		型板強化ガラス(7)4mm		型板強化ガラス(7)4mm	
仕上	—		—		—		—	
金物	附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		クレント、他附属金物一式	
備考			網戸付		網戸付		網戸付	

記号・室名・個数	① SD 便所(B) 1~4階男子 4		① LSD 便所(B) 1階多目的(1) 1		① WD 便所(B) 1階男子SK 1			
形状 寸法	[現況]	撤去	【改修後】	新設	[現況]	撤去	【改修後】	新設
型式	片開きフラッシュドア		片開きフラッシュドア		片引きフラッシュ戸(ハンガートドア)		片引きフラッシュ戸(ハンガートドア)	
見込	枠見込60mm		枠見込100mm		40mm		40mm	
材質	スチール		スチール		ハ-ハ-コア		溶融亜鉛めっき鋼板(7)0.6mm	
ガラス	—		—		—		型板ガラス(7)4mm	
仕上	SOP塗装		SOP塗装		ポリエステル化粧合板		焼付塗装	
金物	丁番、鍵付平面ハンドル		丁番、ケースハンドル錠		引き棒、サムターン、他附属金物一式		引き棒、サムターン、他附属金物一式	
備考							ガラリ付	

記号・室名・個数	トイレブース	隔て板 ㉞ 便所(B) 1階男子 1枚	隔て板 ㉟ 便所(B) 1階女子、便所(B) 2~4階通路 7枚
形状 寸法	【改修後】 	▲CL 	▲CL
	※現況・改修後は、平面詳細図、展開図を参照のこと。	▼FL 	▼FL
型式	片開きトイレブース、衝立	小口姿図	小口姿図
見込	40mm	側面姿図	側面姿図
材質	ハ-ハ-コア	平面図	平面図
ガラス	—	名称	名称
仕上	ポリエステル化粧合板	隔て板 ㉞	隔て板 ㉟
金物	アルミ等木、アルミ等樹脂、SUS脚巾木金物、中心吊型クレセント錠、表示錠、内開き錠、SR取手(掃除具入:SK)、帽子掛戸当り、外開き戸当り、他附属金物一式	W1寸法	W1寸法
備考	扉W=600mm、300mm(便所(C)男子掃除具入)	W寸法	W寸法

【現況】 ⇒ 【改修後】

材質 : 本体 : 両面ホ[®] リエステル化粧板貼り (7) 20mm
 仕切板 : 両面ホ[®] リエステル化粧板貼り (7) 20mm
 固定棚 : 両面ホ[®] リエステル化粧板貼り (7) 20mm
 巾木 : ステンシル
 裏板 : ホ[®] リエステル化粧板 (7) 4mm 片面フラッシュ

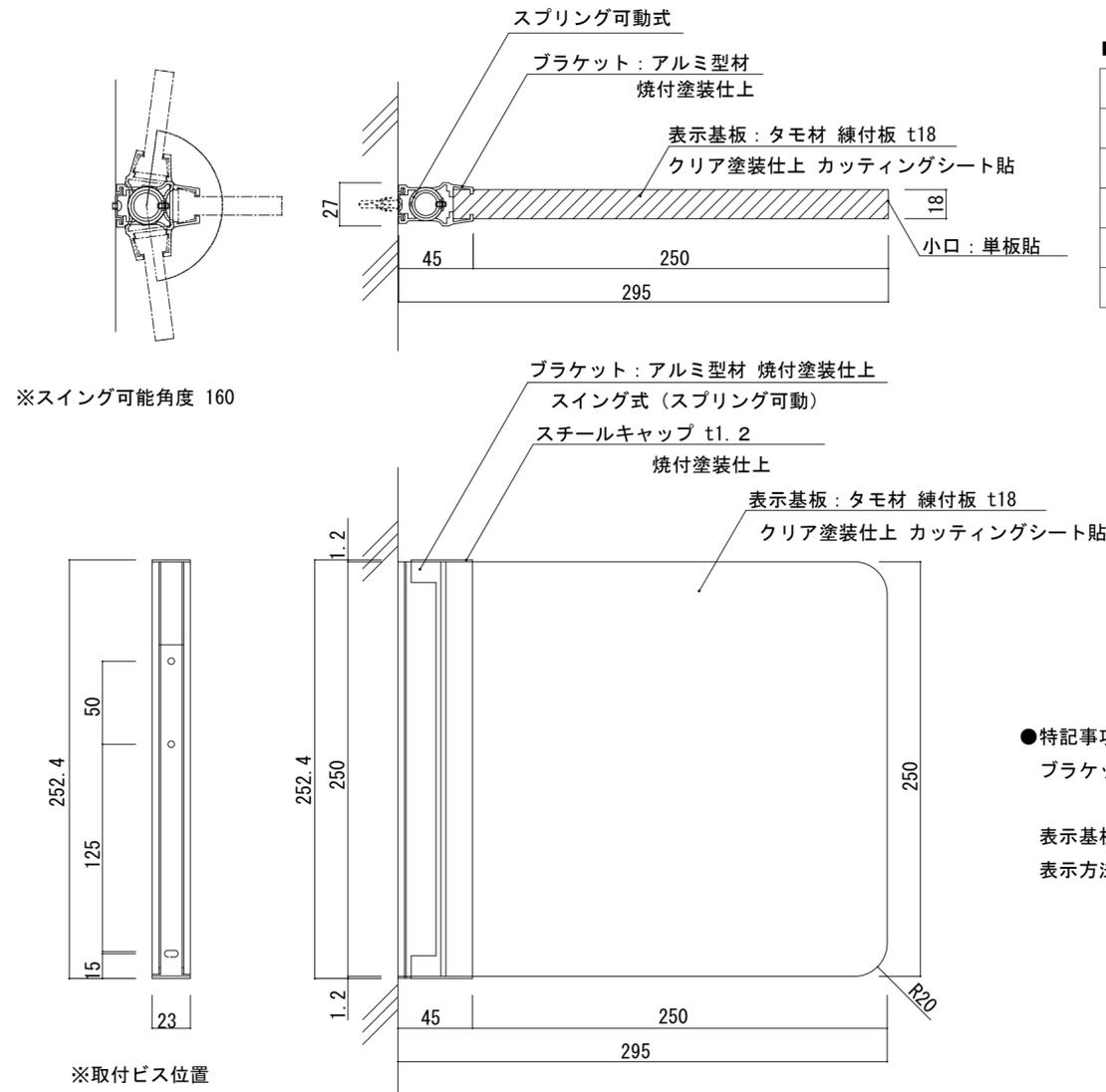


便所(B)
1階

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 A-24
											図面名称 便所(B)家具詳細図 [現況] ⇒ 【改修後】	工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内

室名札

※各階共通



■サイン台数

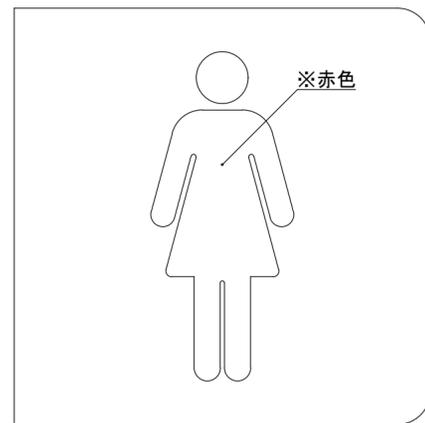
	男子	女子	多目的
1階	1	1	1
2階	1	1	
3階	1	1	
4階	1	1	
合計	4	4	1

●特記事項

ブラケット: アルミ型材 焼付塗装仕上
 スプリングスイング160°可動式
 表示基板: タモ材 練付板 t18 クリア塗装仕上
 表示方法: カuttingシート貼



男子トイレ室名板



女子トイレ室名板

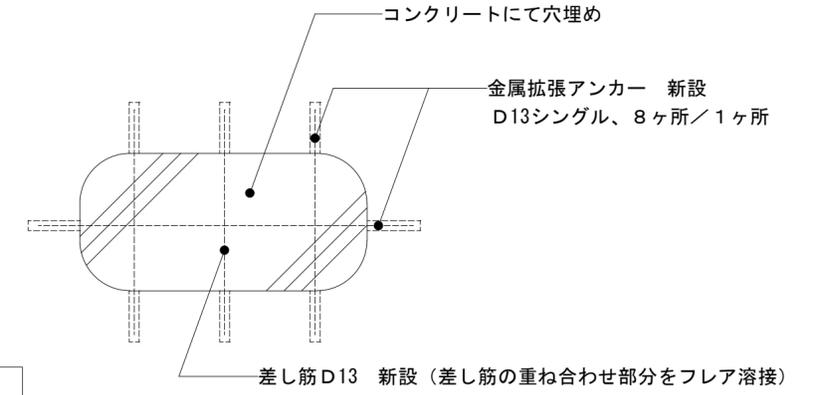


多目的トイレ室名板

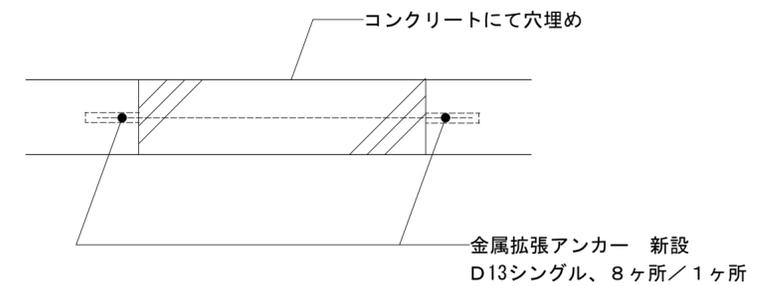
便器撤去跡穴埋め詳細図

1:10

※各階共通



平面図



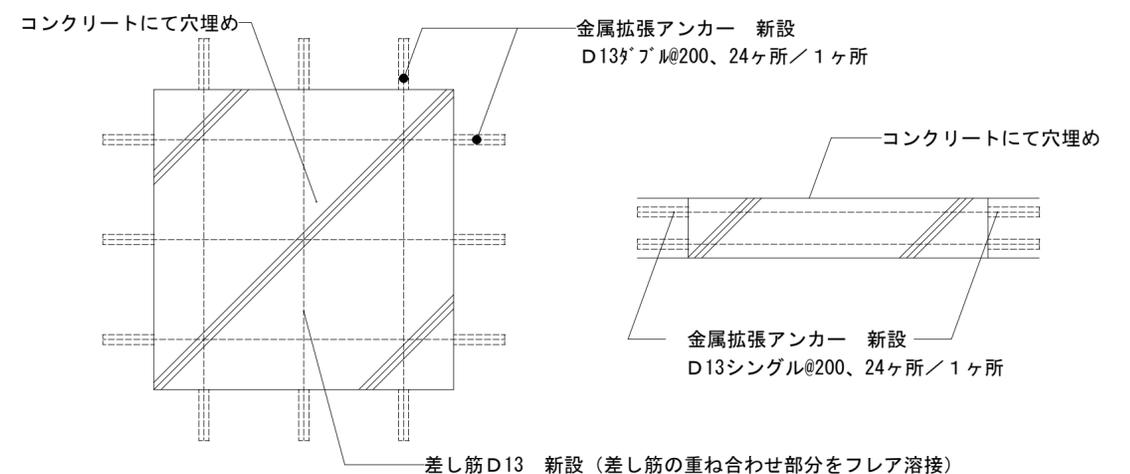
断面図

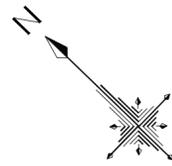
■和便器撤去穴埋め数

	男子	女子	計
1階	1	2	3
2階	1	2	3
3階	1	2	3
4階	1	2	3
合計			12

床下点検口穴埋め詳細図

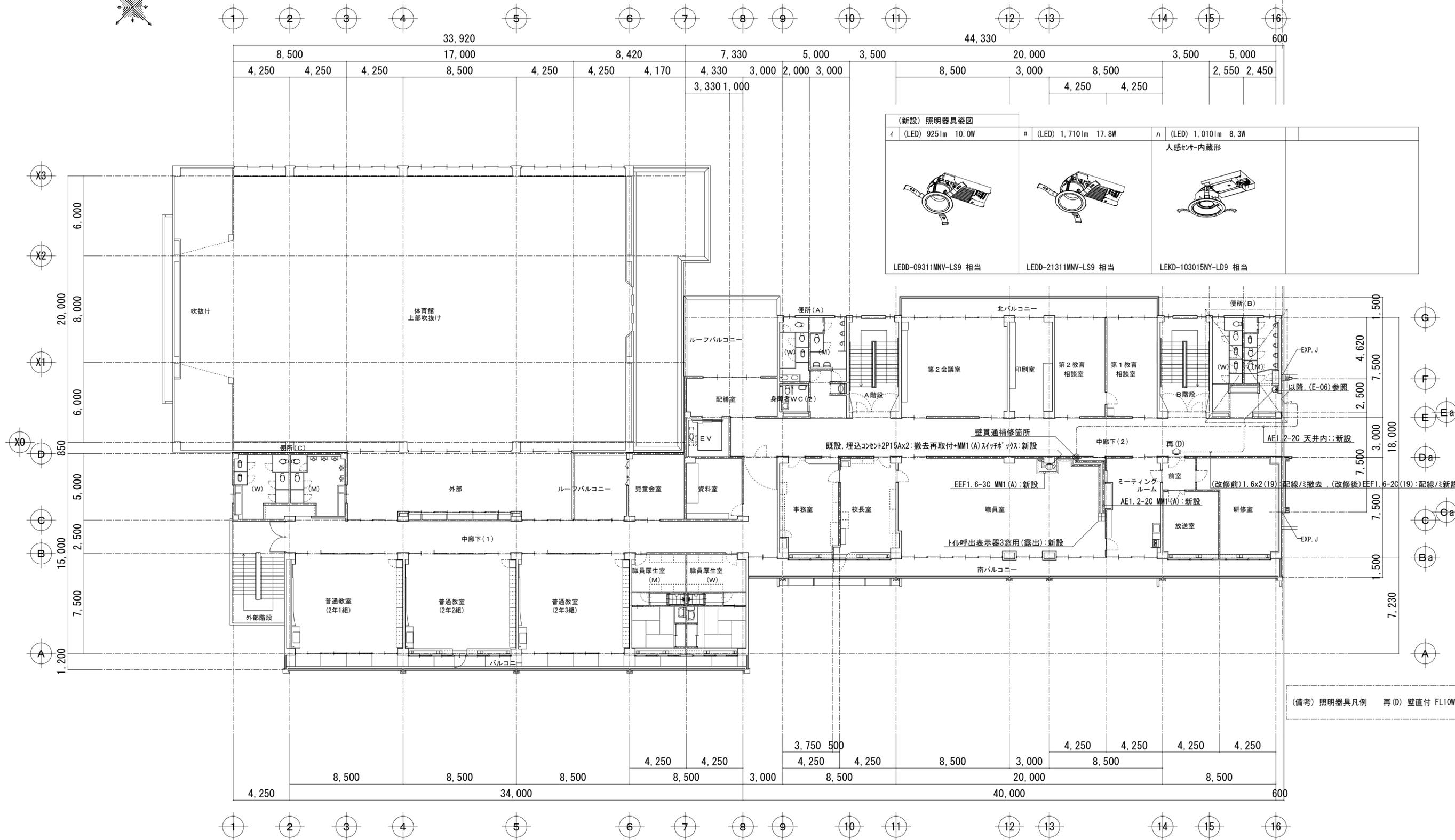
1:10





西棟

東棟



(新設) 照明器具姿図

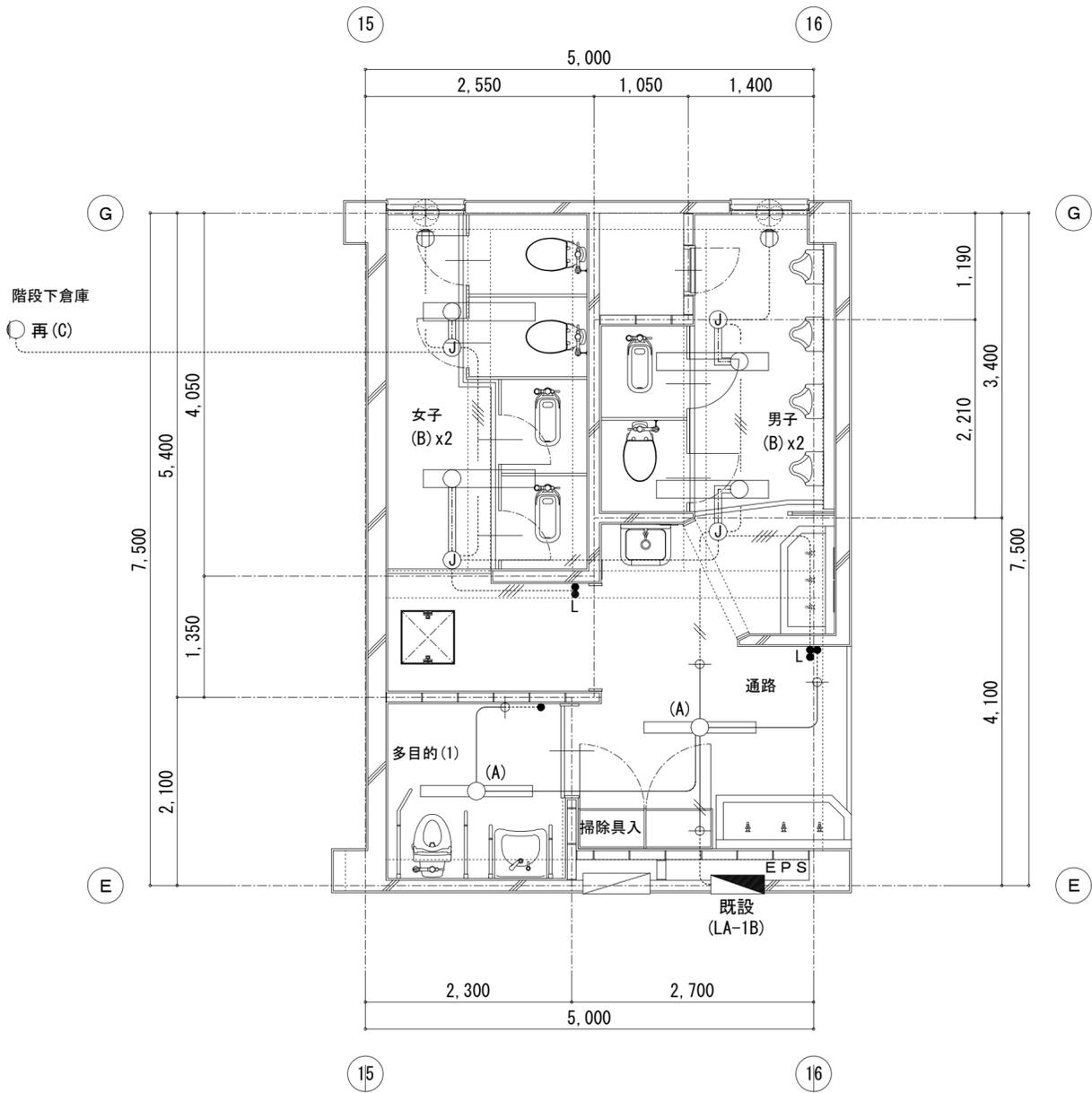
イ (LED) 925lm 10.0W	ロ (LED) 1,710lm 17.8W	ハ (LED) 1,010lm 8.3W
LEDD-09311MNV-LS9 相当	LEDD-21311MNV-LS9 相当	LEKD-103015NY-LD9 相当

(備考) 照明器具凡例 再(D) 壁直付 FL10Wx1 撤去再取付

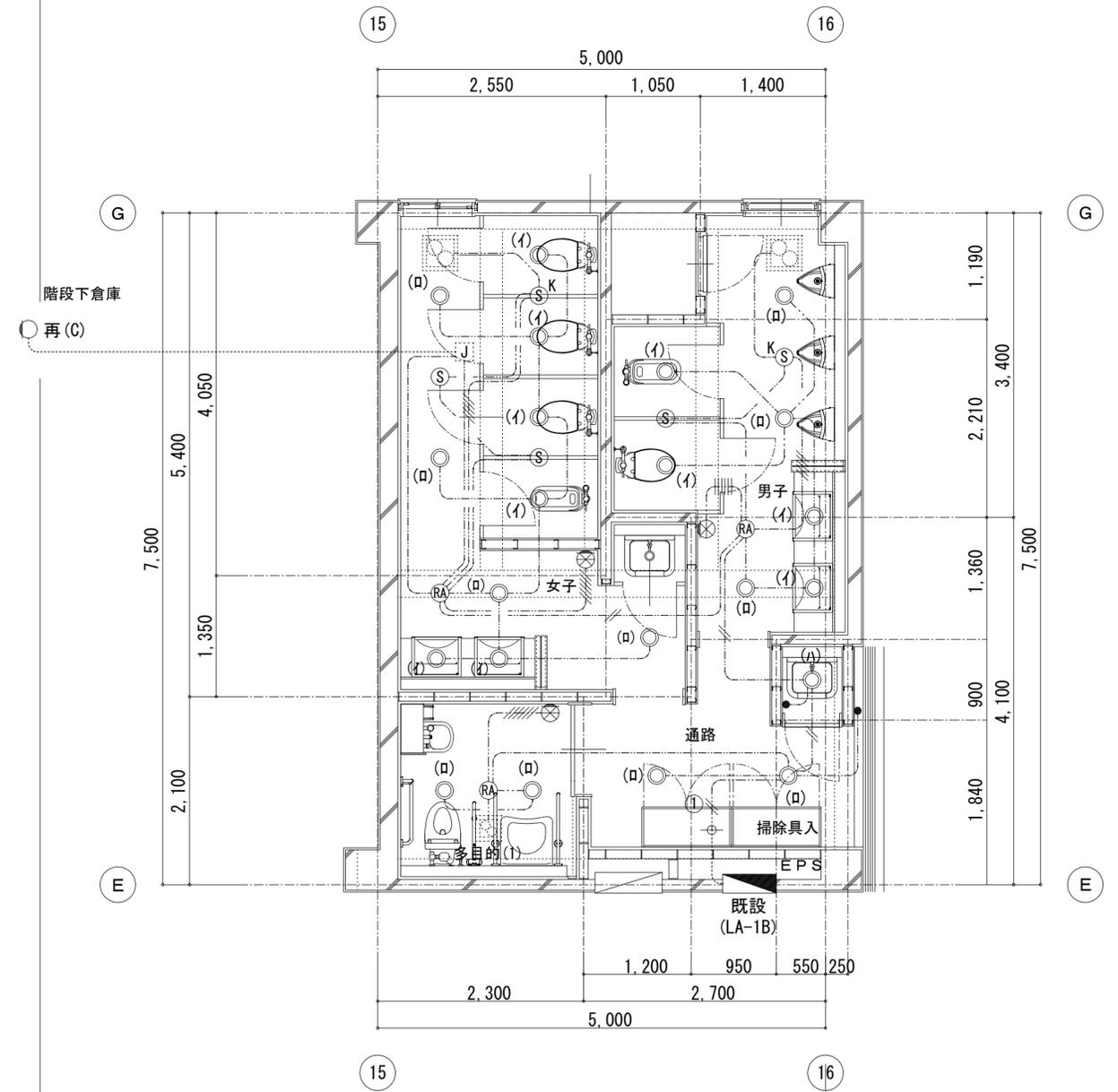
2階平面図 S=1/200

凡例 第1期工事対象部分を示す

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 E-02
	図面名称 2階平面図【改修前・改修後】電気設備										工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282



1階平面詳細図 [改修前] S=1/50



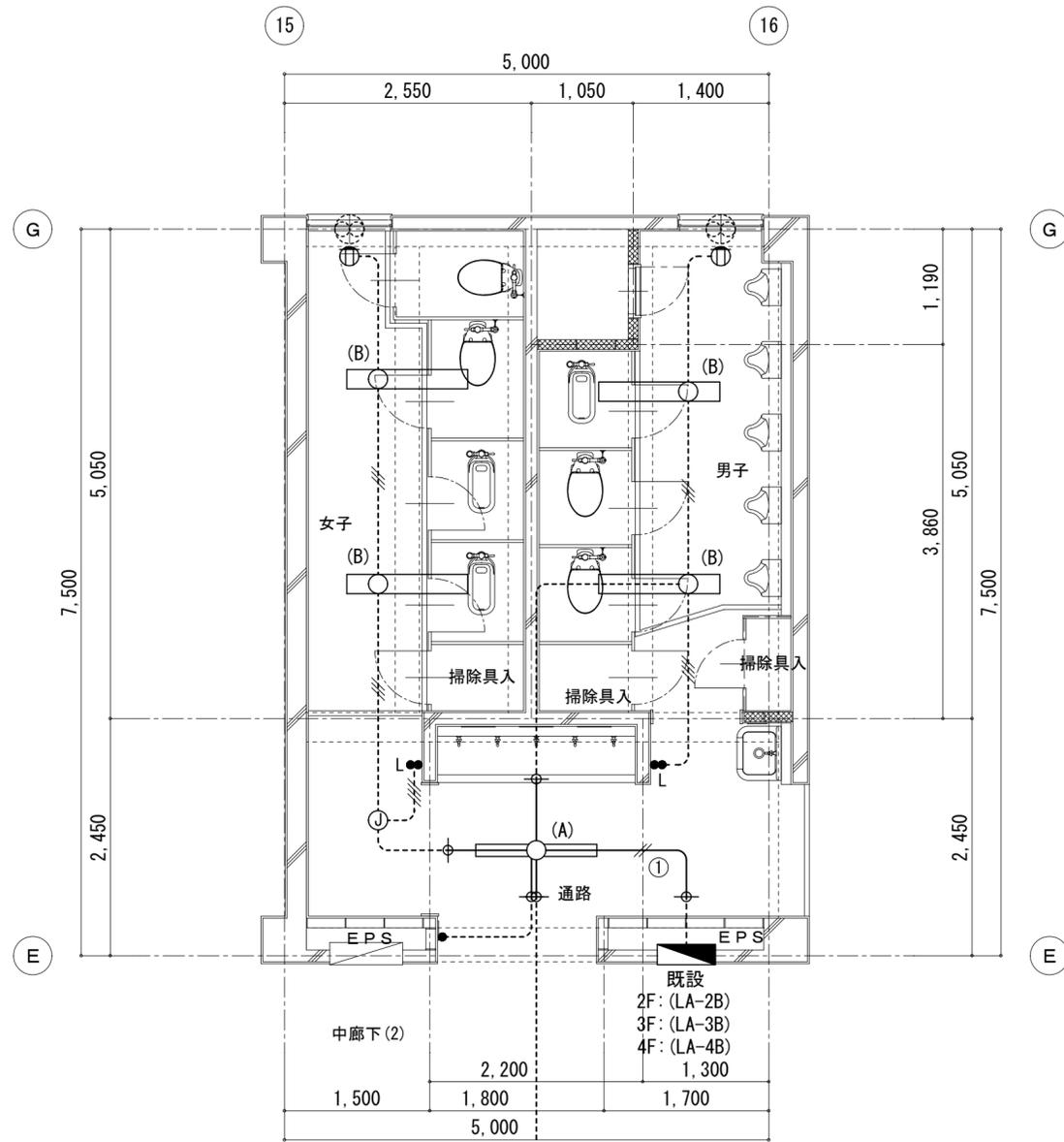
1階平面詳細図 [改修後] S=1/50

(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。	IV1. 6x4 (25) : 配線のみ撤去	3. 照明器具凡例
配管配線共: 撤去	VVF1. 6-2C MM1 (A) : 撤去	(A) 天井直付 FL40Wx1: 撤去
配管: 現状のまま, 配線のみ撤去	MM1 (A) 用スイッチボックス: 撤去	(B) 天井吊型 FL40Wx2: 撤去
ケーブル・一種金属線び共: 撤去		再(C) 壁直付型 IL60W: 撤去再使用
IV2. 0x2 (19) : 撤去	2. 器具凡例	
IV1. 6x2 (19) : 撤去	● 埋込スイッチ 1P15Ax1: 撤去	
IV2. 0x2 (19) : 配線のみ撤去	L● 埋込スイッチ 1P15Ax1+1PL15Ax1: 撤去	
IV1. 6x2 (19) : 配線のみ撤去	L● 埋込スイッチ 1P15Ax2+1PL15Ax1: 撤去	
IV1. 6x3 (19) : 配線のみ撤去	Ⓛ 埋込コンセント 2P15Ax1: 撤去	

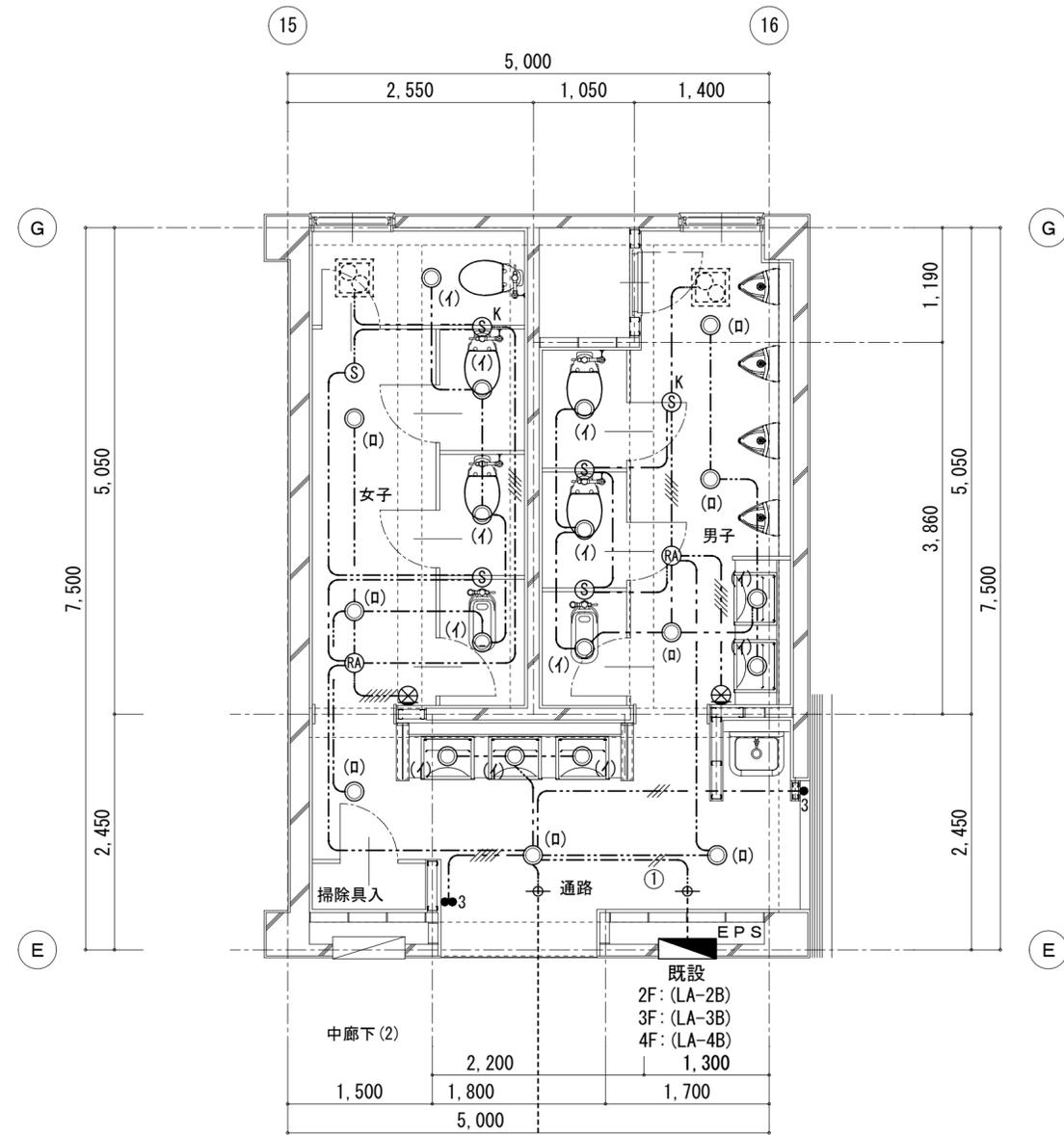
(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。	EEF2. 0-2C (19) : 配線のみ新設	KⓈ 熱センサ付自動スイッチ子機
(特記なきは、全て新設とする)	IE1. 6x2 (19) : 配線のみ新設	換気扇連動端子: 新設
ケーブル天井内配線, 壁内電線管保護	J 既設, 位置ボックス	⊗ 熱センサ付自動スイッチ用操作ユニット
配管: 既設利用, 配線のみ新設		2回路用, 金属ガードプレート: 新設
EEF2. 0-2C, 壁内PF (16)	2. 器具凡例	
EEF1. 6-2C, 壁内PF (16)	● 埋込スイッチ 1P15Ax1: 新設	3. 照明器具凡例
EEF1. 6-3C, 壁内PF (16)	H● 埋込スイッチ 1HP15Ax1: 新設	再(C) 壁直付型 IL60W: 撤去品取付
EEF1. 6-2C+EEF1. 6-3C, 壁内PF (22)	ⓇA 熱センサ付自動スイッチ親機8A型: 新設	
EEF1. 6-3Cx2, 壁内PF (22)	Ⓢ 熱センサ付自動スイッチ子機: 新設	



(2F)ノミ
前室ト7-上部
再(D)

2・3・4階平面詳細図 [改修前] S=1/50



前室ト7-上部
再(D)

2・3・4階平面詳細図 [改修後] S=1/50

(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。	-----//----- IV1. 6x4 (25) : 配線のみ撤去	3. 照明器具凡例
----- 配管配線共: 撤去	----- VVF1. 6-2C MM1 (A) : 撤去	(A) 天井直付 FL40Wx1: 撤去
----- 配管: 現状のまま, 配線ノミ撤去	① MM1 (A) 用スイッチボックス: 撤去	(B) 天井吊型 FL40Wx2: 撤去
----- ケーブル・一種金属線び共: 撤去		再(D) 壁直付型 FL10Wx1: 撤去再使用
----- IV2. 0x2 (19) : 撤去	2. 器具凡例	
----- IV1. 6x2 (19) : 撤去	● 埋込スイッチ 1P15Ax1: 撤去	
----- IV2. 0x2 (19) : 配線のみ撤去	L● 埋込スイッチ 1P15Ax1+1PL15Ax1: 撤去	
----- IV1. 6x2 (19) : 配線のみ撤去	L● 埋込スイッチ 1P15Ax2+1PL15Ax1: 撤去	
----- IV1. 6x3 (19) : 配線のみ撤去	① 埋込コンセント 2P15Ax1: 撤去	

(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。	-----//----- EEF2. 0-2C (19) : 配線ノミ新設	KⓈ 熱センサ付自動スイッチ機
(特記なきは、全て新設とする)	----- IE1. 6x2 (19) : 配線ノミ新設	換気扇連動端子: 新設
----- ケーブル天井内配線, 壁内電線管保護	[J] 既設, 位置ボックス	⊗ 熱センサ付自動スイッチ用操作ユニット
----- 配管: 既設利用, 配線ノミ新設		2回路用, 金属ガードプレート: 新設
----- EEF2. 0-2C, 壁内PF (16)	2. 器具凡例	
----- EEF1. 6-2C, 壁内PF (16)	3● 埋込スイッチ 3W15Ax1: 新設	3. 照明器具凡例
----- EEF1. 6-3C, 壁内PF (16)	3● 埋込スイッチ 1P15Ax1+3W15Ax1: 新設	再(D) 壁直付型 FL10Wx1: 撤去品取付
----- EEF1. 6-2C+EEF1. 6-3C, 壁内PF (22)	ⓇA 熱センサ付自動スイッチ親機8A型: 新設	
----- EEF1. 6-3Cx2, 壁内PF (22)	Ⓢ 熱センサ付自動スイッチ機: 新設	

富士見市総務部営繕課

課長	副課長	主査	監督員	主幹

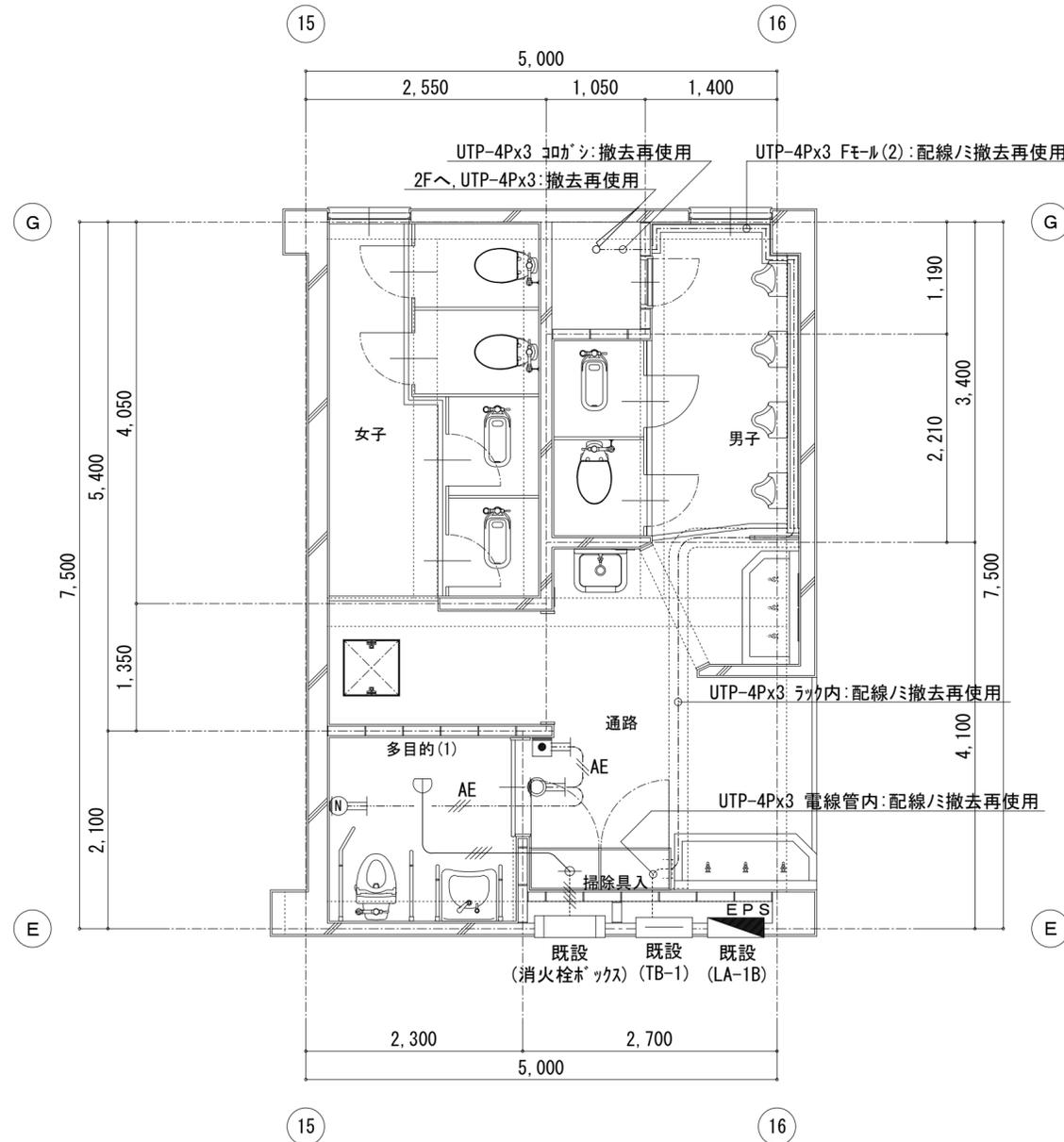
(有) 梶 芳晴建築設計研究所

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号
一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴

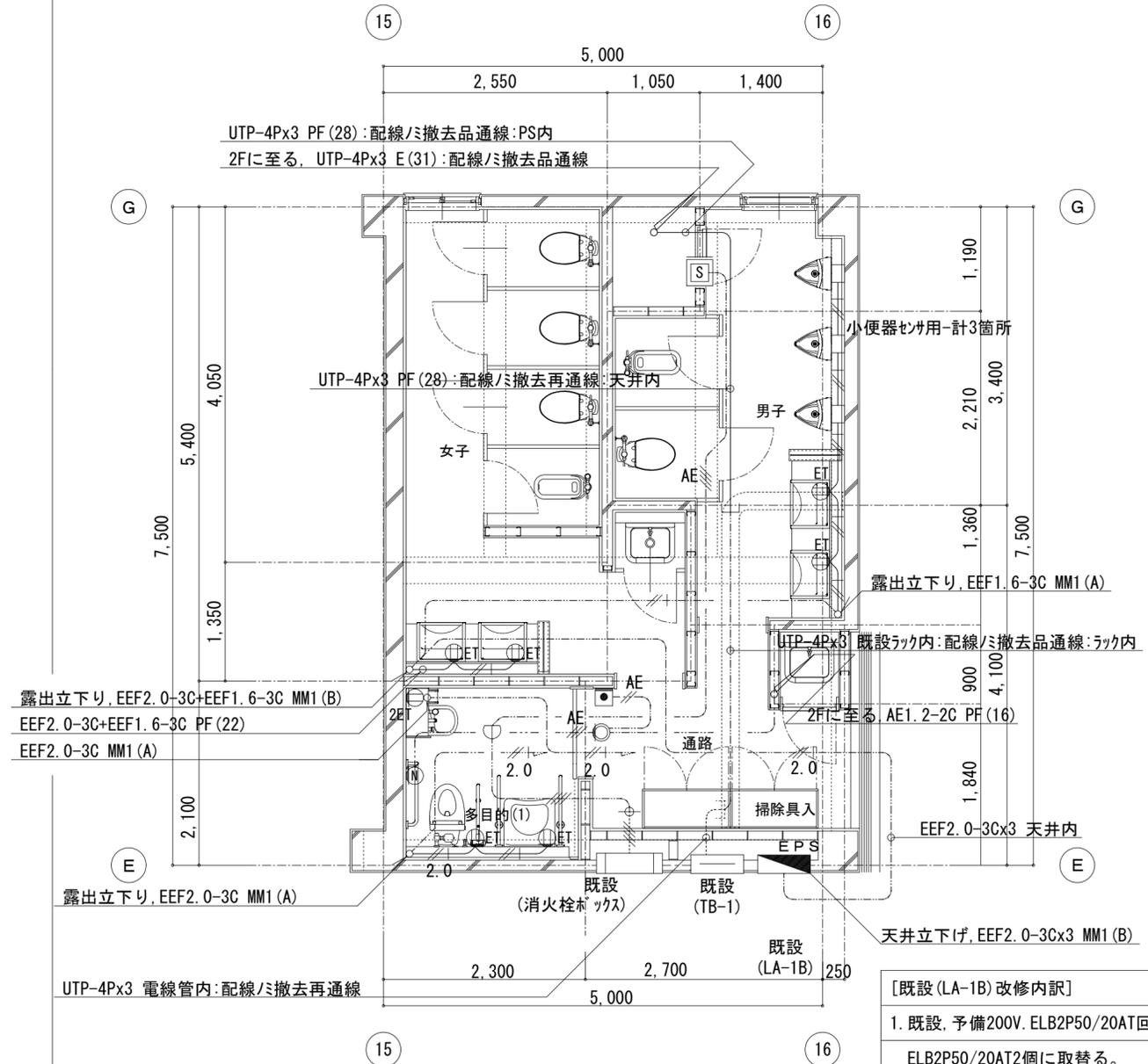
JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY

工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事
(第一期工事)
図面名称 便所(B)2・3・4階平面詳細図【改修前・後】
電灯設備

施工年度	令和3年度	図面番号	E-04
工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	S=1/50
			A2: 1/50, A3: 1/71



1階平面詳細図 [改修前] S=1/50



1階平面詳細図 [改修後] S=1/50

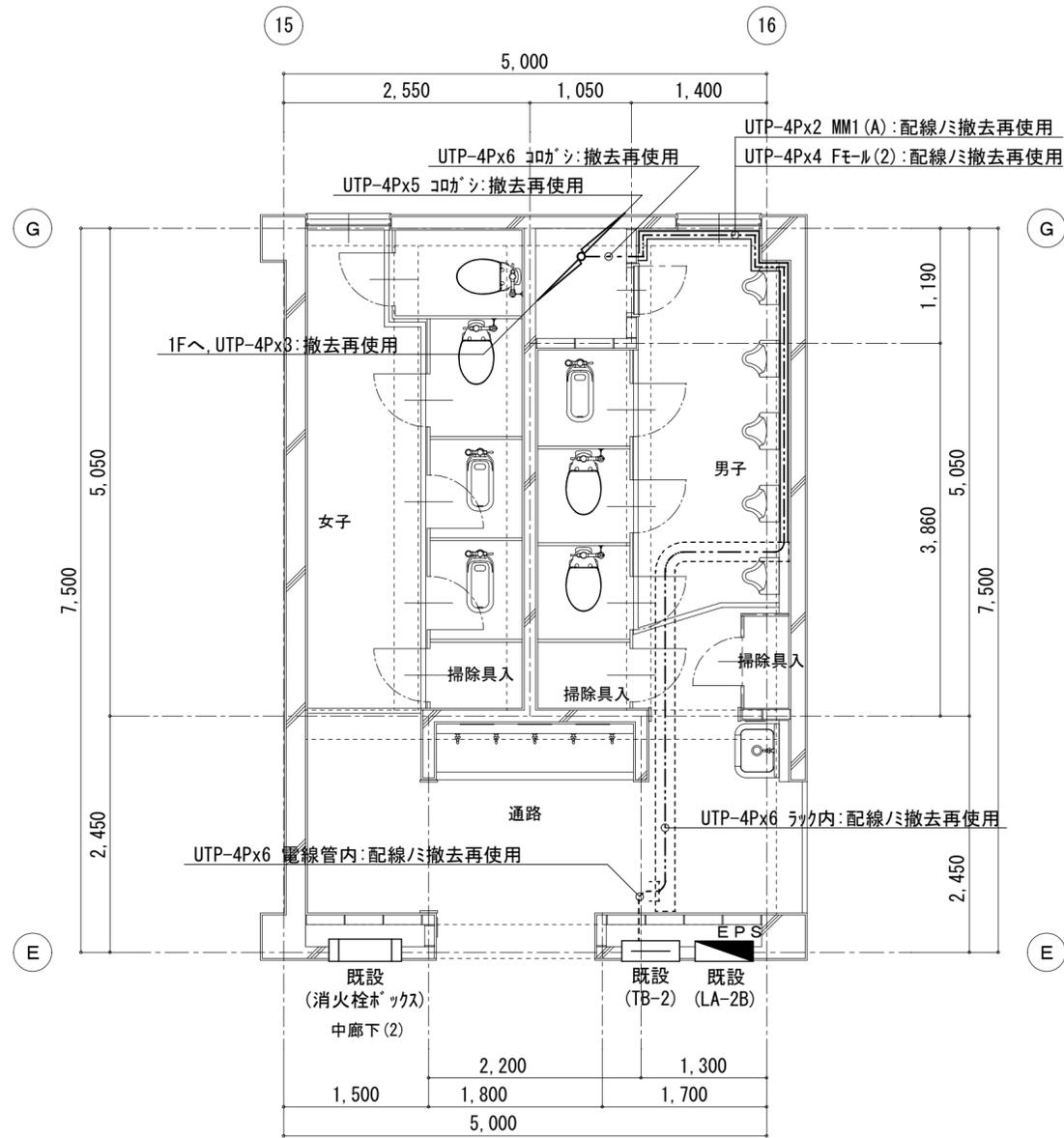
- [既設 (LA-1B) 改修内訳]
- 既設 予備200V. ELB2P50/20AT回路を1Pモジュール形 ELB2P50/20AT2個に取替る。
 - 既設 予備100V. MCB1P50/20AT回路を1Pモジュール形 ELB2P50/20AT1個に取替る。

(備考)

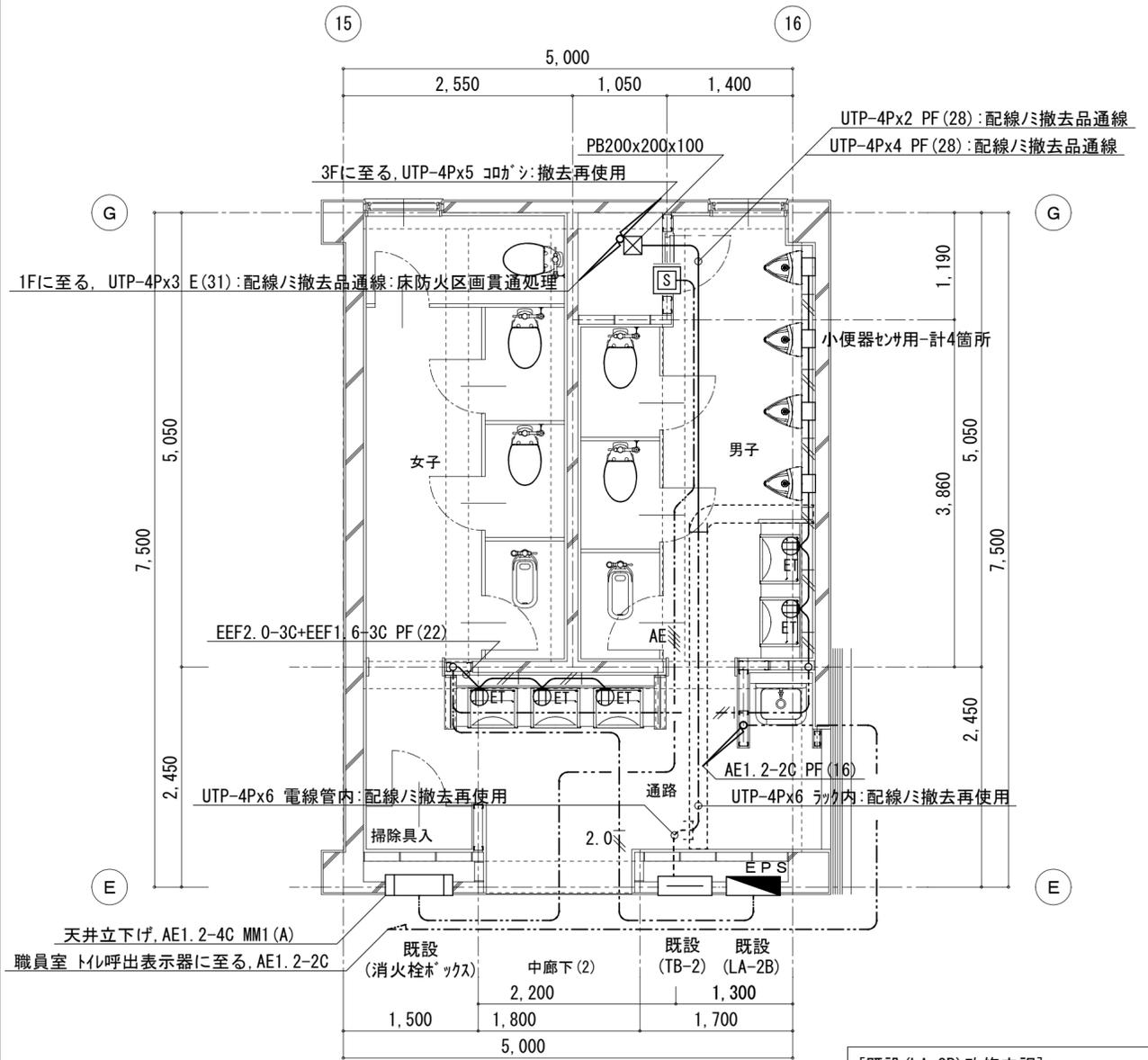
1. 特記なき配管配線は、下記による。	(火報設備)	2. 器具凡例
——— 配管配線共：撤去	——— IV1.2x4(19)：撤去	⊖ 定温式1種防水型：撤去
..... 配管：現状のまま、配線/ミ撤去 IV1.2x4(19)：電線/ミ撤去	Ⓝ トイレ呼出ボタン(ヒモ付)+MM1(A)スイッチボックス：撤去
——— ケーブル・Fケーブル：配線、撤去再使用	(トイレ呼出設備)	Ⓞ プザ-付表示灯+MM1(A)スイッチボックス：撤去
..... Fケーブル撤去	——— AE1.2-4C、壁露出MM1(A)	Ⓚ 復帰ボタン+MM1(A)スイッチボックス：撤去
..... ケーブルラック内：配線、撤去再使用	——— AE1.2-3C、壁露出MM1(A)	
..... ラック、現状のまま		

(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。	(火報設備)	2. 器具凡例
(特記なきは、全て新設とする) AE1.2-4C	ETⓁ 埋込コンセント 2P15Ax1. ET：新設
..... ケーブル天井内配線、壁内電線管保護 AE1.2-4C(19)：配線/ミ新設	2ETⓁ 埋込コンセント 2P15Ax2. ET：新設
..... 配管：既設利用、配線/ミ新設	(トイレ呼出設備)	⊖ 定温式1種防水型感知器：新設
..... 配管配線	——— AE1.2-4C、壁露出MM1(A)	Ⓢ 煙式2種感知器(点検ボックス付)：新設
(コンセント設備)	——— AE1.2-3C、壁露出MM1(A)	Ⓝ トイレ呼出ボタン(ヒモ付)
..... 2.0 EEF2.0-3C、壁内PF(22)		Ⓞ プザ-付表示灯
..... EEF1.6-2C、壁内PF(16)		Ⓚ 復帰ボタン
..... EEF1.6-3C、壁内PF(16)		



2階平面詳細図 [改修前] S=1/50



2階平面詳細図 [改修後] S=1/50

[既設 (LA-2B) 改修内訳]
1. 既設, 予備200V. ELB2P50/20AT回路を1Pモジュール形 ELB2P50/20AT2個に取替る。

(備考)

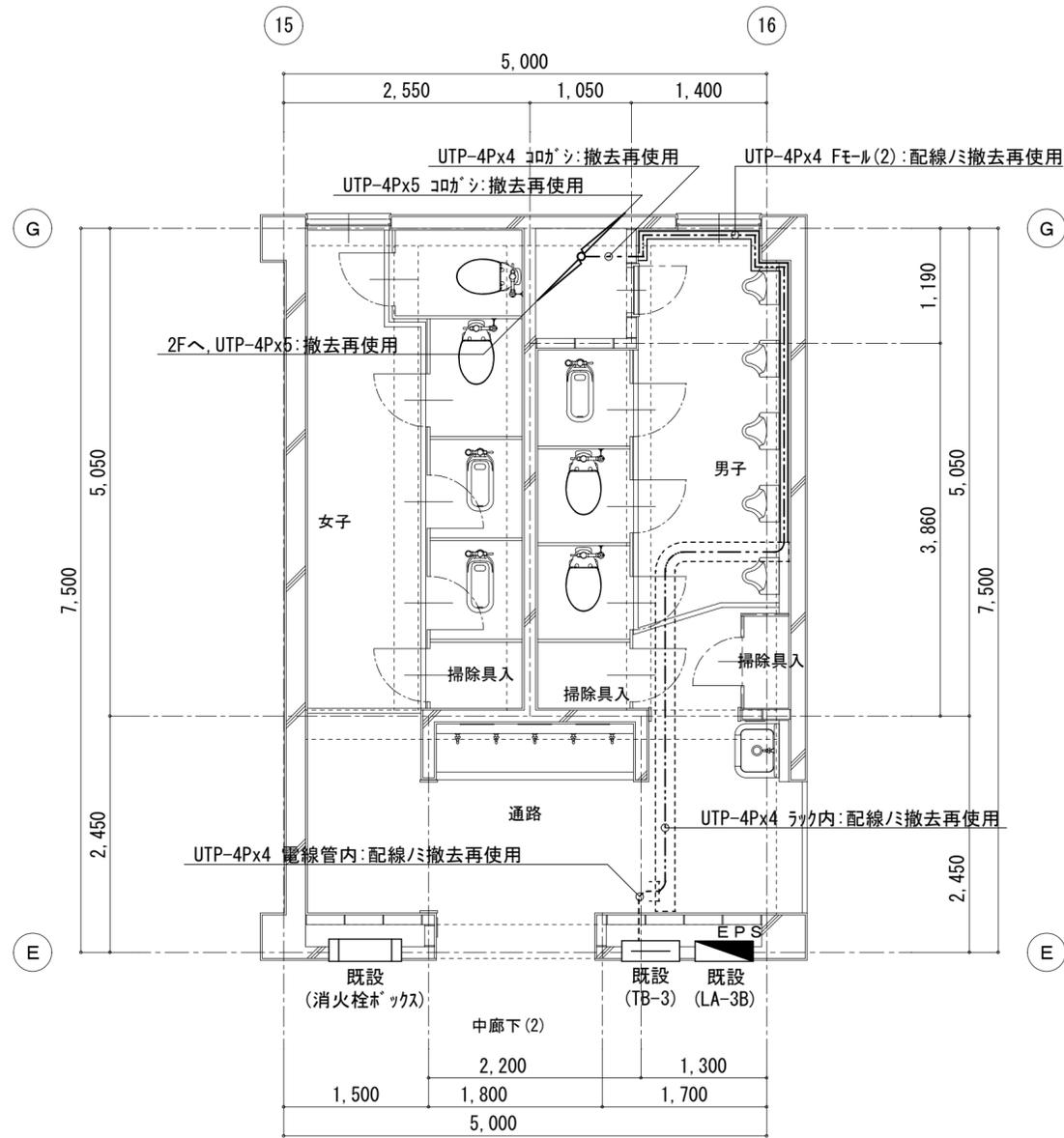
1. 特記なき配管配線は, 下記による。

—————	配管配線共:撤去
-----	配管:現状のまま, 配線/ミ撤去
=====	ケーブル・Fモール:配線, 撤去再使用
-----	Fモール撤去
-----	ケーブルラック内:配線, 撤去再使用
-----	ラック, 現状のまま

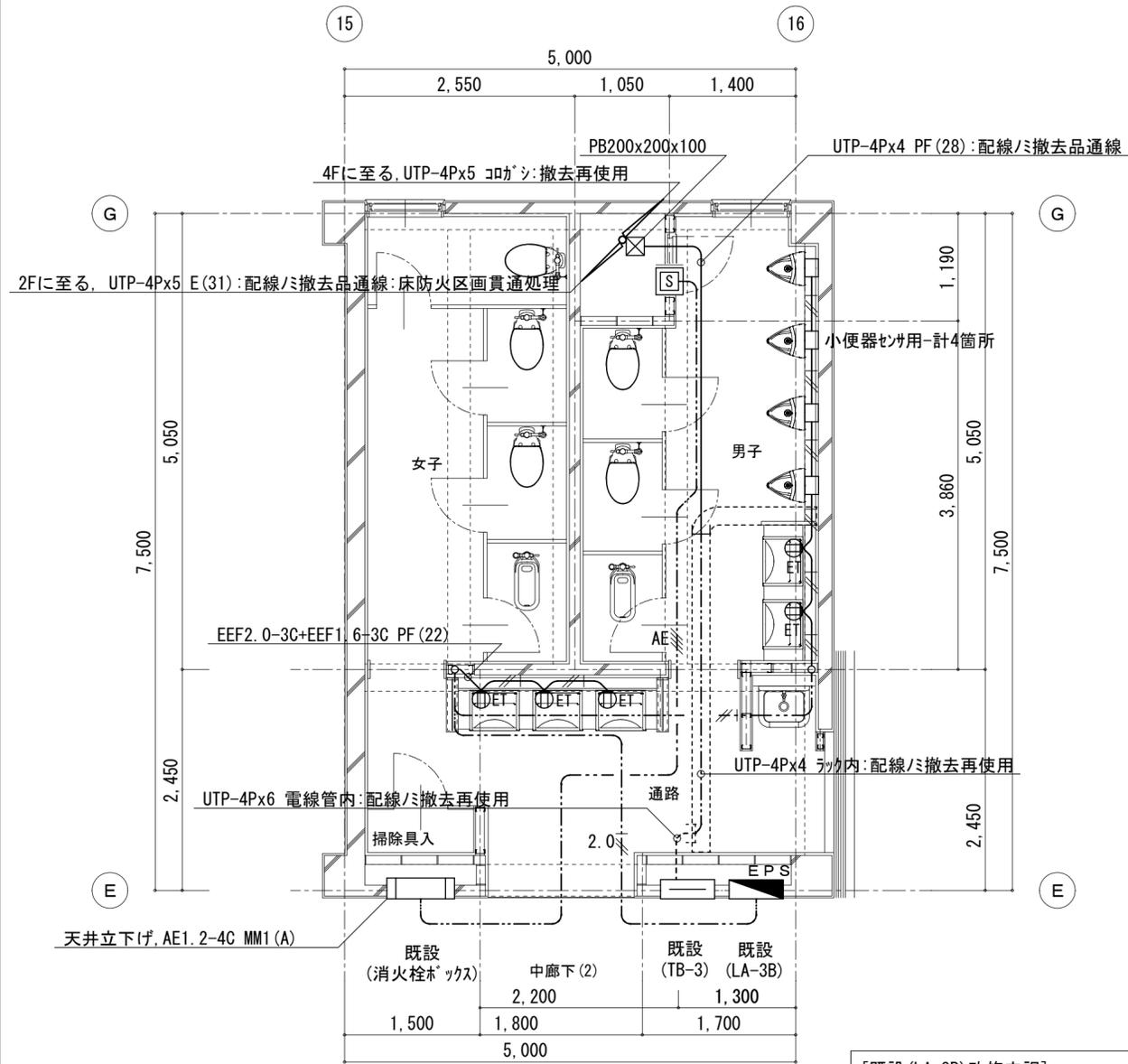
(備考)

1. 特記なき配管配線は, 下記による。 (火報設備)

(特記なきは, 全て新設とする)	---###--- AE1.2-4C	2. 器具凡例
-----	ケーブル天井内配線, 壁内電線管保護	ET ㊦ 埋込コンセント 2P15A1. ET:新設
-----	配管:既設利用, 配線/ミ新設	㊦ 煙式2種感知器(点検ボックス付):新設
—————	配管配線	
(コンセント設備)		
-----	EEF2.0-3C, 壁内PF(22)	
-----	EEF1.6-2C, 壁内PF(16)	
-----	EEF1.6-3C, 壁内PF(16)	



3階平面詳細図 [改修前] S=1/50



3階平面詳細図 [改修後] S=1/50

[既設 (LA-3B) 改修内訳]
1. 既設 予備200V. ELB2P50/20AT回路を1Pモジュール形 ELB2P50/20AT2個に取替る。

(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。

——— 配管配線共:撤去	
- - - - - 配管:現状のまま, 配線/ミ撤去	
≡≡≡≡≡ ケーブル・Fケーブル:配線, 撤去再使用	
Fケーブル撤去	
- · - · - ケーブルラック内:配線, 撤去再使用	
ラック, 現状のまま	

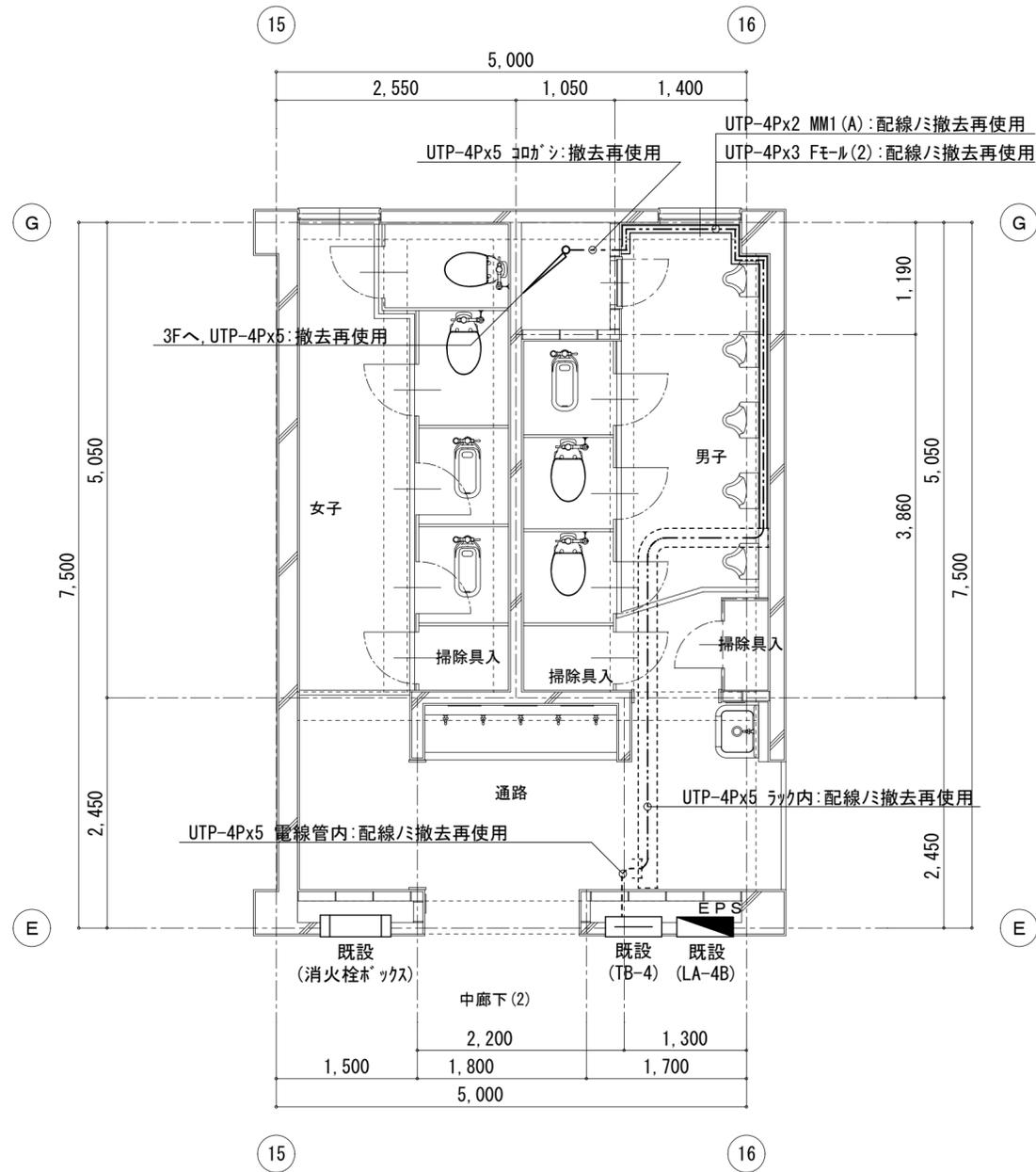
(備考)

1. 特記なき配管配線は、下記による。 (火報設備)

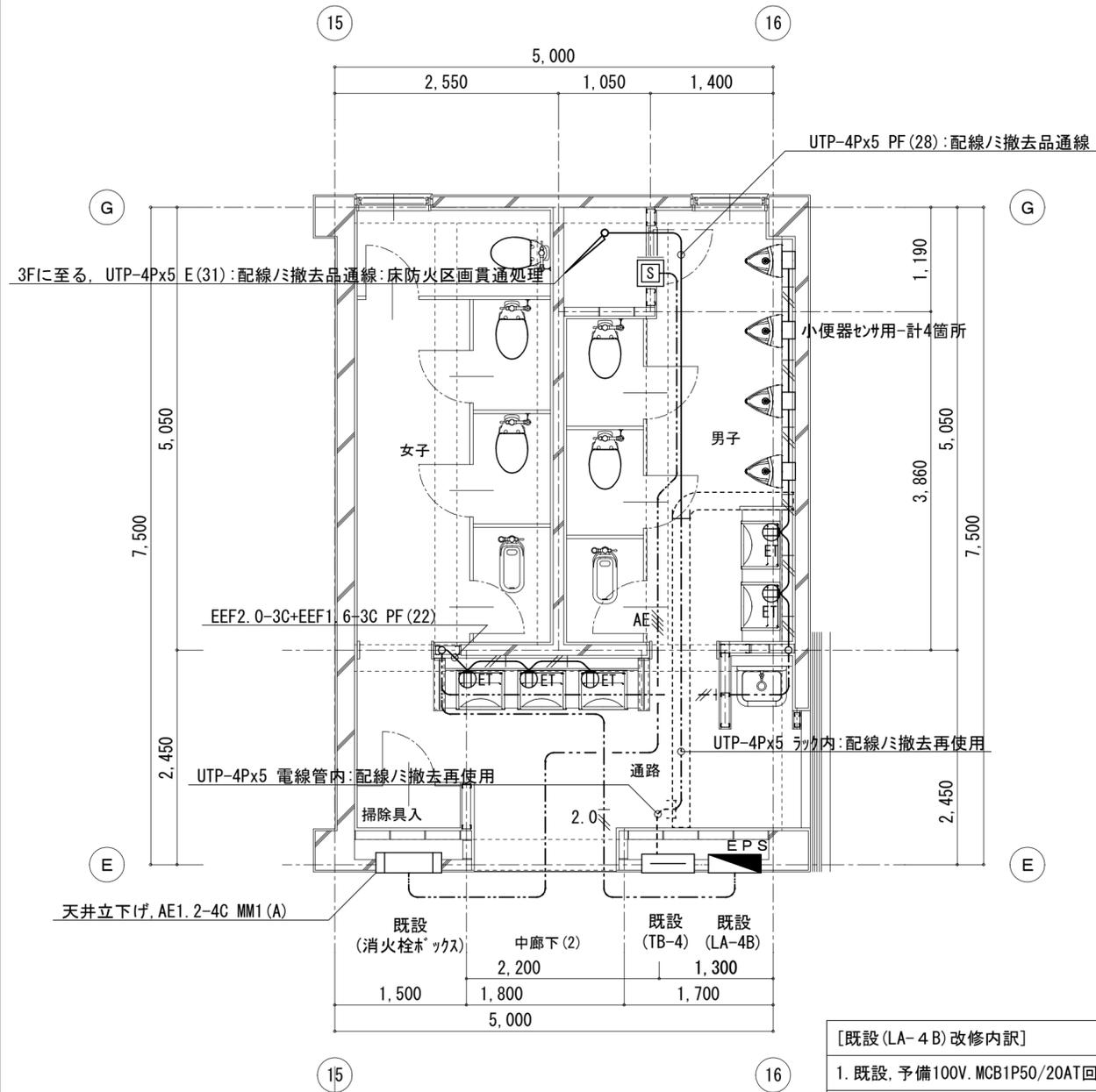
(特記なきは、全て新設とする)	--- AE1. 2-4C	2. 器具凡例
----- ケーブル天井内配線, 壁内電線管保護		ET 埋込コンセント 2P15A1. ET:新設
- - - - - 配管:既設利用, 配線/ミ新設		[S] 煙式2種感知器(点検ボックス付):新設
——— 配管配線		

(コンセント設備)

--- EEF2. 0-3C, 壁内PF (22)
- - - EEF1. 6-2C, 壁内PF (16)
--- EEF1. 6-3C, 壁内PF (16)



4階平面詳細図 [改修前] S=1/50



4階平面詳細図 [改修後] S=1/50

[既設 (LA-4B) 改修内訳]
1. 既設, 予備100V, MCB1P50/20AT回路を1Pモジュール形 ELB2P50/20ATに取替る。

(備考)

1. 特記なき配管配線は, 下記による。

—————	配管配線共:撤去
-----	配管:現状のまま, 配線/ミ撤去
=====	ケーブル・Fモール:配線, 撤去再使用
-----	Fモール撤去
-----	ケーブルラック内:配線, 撤去再使用
-----	ラック, 現状のまま

(備考)

1. 特記なき配管配線は, 下記による。 (火報設備)

(特記なきは, 全て新設とする)	----- AE1.2-4C	2. 器具凡例
-----	ケーブル天井内配線, 壁内電線管保護	ET 埋込コンセント 2P15Ax1, ET:新設
-----	配管:既設利用, 配線/ミ新設	[S] 煙式2種感知器(点検ボックス付):新設
—————	配管配線	

(コンセント設備)

-----	EEF2.0-3C, 壁内PF(22)
-----	EEF1.6-2C, 壁内PF(16)
-----	EEF1.6-3C, 壁内PF(16)

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事（第1期工事）
2	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内
3	工期	契約日から令和3年10月15日
	現場施工期間	令和年月日から令和年月日

現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

4	建物概要					
	建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
	①校舎西棟	RC造	4		(7)	
	②					
	③					
	④					
	⑤					

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外 工事種目	工事種別					屋外
	①	②	③	④	⑤	
○空気調和設備						
●換気設備	一式					
○排煙設備						
○自動制御設備						
●衛生器具設備	一式					
●給水設備	一式					
●排水設備	一式					
○給湯設備						
○消火設備						
○厨房機器設備						
○ガス設備						

6 指定部分 ※無・有
対象部分： 工期：令和年月日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和年月日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要
・換気扇の更新（壁換気扇 → 天井扇）
・衛生器具、水栓の撤去、新設
・給水管の撤去、新設
・排水管の撤去、新設
・その他

埼玉環境配慮方針の適用項目（該当項目数：）	・長寿命機材の選定（2-3-③） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-④） ・再生品の優先使用（2-3-⑥） ・有害物質の放数量が少ない材料の使用（2-4-②） ・発生材の再資源化を推進（3-1-⑥） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-①） ・代替フロンの使用抑制（4-1-②） ・新冷媒の採用（4-1-③） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-②） ・高効率機器の採用（5-2-②） ・ゾーニングの工夫（5-3-①） ・外気冷房制御の導入（5-3-②） ・搬送動力の低減（5-3-③） ・ヒートポンプの採用（5-3-④） ・熱回収システムの導入（5-3-⑤） ・コージェネレーションの導入（5-4-①） ・節水機器の採用（6-1-①） ・雨水利用（6-1-③） ・排水再利用（6-1-④） ・アスコン廃材の再利用（6-3-②） ・再生塩ビ管の採用（6-3-③）
-----------------------	---

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事
・建築工事 ・電気設備工事

II 工事仕様

1 共通仕様
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官庁官庁管轄部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工すること。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7A'を含有の有無を確認し、7A'を含む機材は、使用しないこと。【国等による環境物品等の調達推進に関する法律】（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 ・置く ※置かない
2	電気保安技術者	
3	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風通制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
④	技能士の適用	
⑤	機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硫酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。
6	監督員事務所	本工事で ・設ける（規模 ） ※設けない
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。
⑧	工事用電力、水等	本工事に必要な工事用電力及びび水は構内から使用できるものとし、その仮設にかかる費用は受注者の負担とする。
⑨	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
11	残土処分	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。
12	埋め戻し土・盛土	※根切土中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類
13	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
⑬	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分するもの（ ） (3) 再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ・ ） (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。
⑮	容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
16	配管	(1) 地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設標（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要 2) 地中埋設鉄（キャッツアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要 3) 埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要
17	耐震施工	設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平地震力K _h 及び設計用鉛直地震力K _v （K _h /√2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上階階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び付屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>

(注) () 内の数値は防護支持の機器の場合に適用する。
< > 内の数値は水槽類に適用する。
※上階階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階）
中間階とは地下階、1階を除く各階で上階階に該当しないもの（平屋建の場合は無し）
重要機器は次のものを示す。
給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器
防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置
火を使用する設備 避難経路上に設置する機器

17-1 あと施工アンカー
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込の完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

⑮ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

空気調和設備工事の保温の種別		
区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室・書庫・倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P S内及び空隙壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	c2・(ロ)・Ⅶ e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室・書庫・倉庫	B・(イ)・Ⅱ
	天井内、P S内及び空隙壁中 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	C2・(ロ)・Ⅱ D・(ロ)・Ⅱ E3・(イ)・Ⅱ
冷水・冷温水管 （膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室・書庫・倉庫	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、P S内及び空隙壁中 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	C1・(イ)・Ⅲ D・(ハ)・Ⅲ E3・(ハ)・Ⅲ
温水管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室・書庫・倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P S内及び空隙壁中 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	C2・(ロ)・Ⅰ D・(ロ)・Ⅰ E3・(イ)・Ⅰ

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製 ・ 亜鉛メッキ鋼板製 ・ S U S製）
屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・ S U Sラッキング ・ 保温化粧カバー（※樹脂製 ・ 亜鉛メッキ鋼板製 ・ S U S製）
2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
3. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール保温材 ・ ロックウール保温材）とする。

ダクトの保温の種別		
区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・X I
	屋内隠べい、D S内 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	I・(ロ)・X I K3・(イ)・X I
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・X I
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・X I
	屋内隠べい、D S内 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	N・(ロ)・X I P3・(イ)・X I
消音内貼り	サブライチャンパー 消音チャンパー・消音エルボ	M・(ロ)・Ⅷ L・(ロ)・Ⅷ

給排水衛生設備工事の保温の種別		
区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅶ
	機械室・書庫・倉庫	b・(ロ)・Ⅶ
	天井内 P S内及び空隙壁中 県営住宅P S内 床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。） 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	c2・(ハ)・Ⅶ — — e3・(ハ)・Ⅶ
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—
	機械室・書庫・倉庫	—
	天井内 P S及び空隙壁中 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	c2・(ロ)・Ⅶ — e3・(ハ)・Ⅶ
給湯管 （膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室・書庫・倉庫	b・(イ)・Ⅰ
	天井内 P S内及び空隙壁中 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	c2・(ロ)・Ⅰ d・(ロ)・Ⅰ e3・(イ)・Ⅰ

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかかり部は塗装を施す。
2. 排水管の管壁が耐火二層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。
3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
4. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール ・ ロックウール）とする。
5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ) ・Ⅶとする。
6. 便所内露出S U S管及び流し内露出S U S管は保温を要しない。
7. 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。
※ロックウール、グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。
※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚50mmの防露保温を行うこと。
・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防露保温を行う。
※保温仕様は保温厚さを呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

20 塗装
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室・書庫・倉庫
下記の金属電線管は塗装を行う。
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（※見えかかり部 ・ ）

21 電線
特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

⑳ はつり及びあと施工アンカー打設
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線機影調査を実施すること。

23 管の埋設深さ
(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。
(2) 構内車両道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。
(3) その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。

● 一般共通事項特記事項（続き）

24 既設管分岐・接続
既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。
やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

25 絶縁継手の設置・種別
※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管
※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50 A以下は絶縁ユニオンとし、それ以外は絶縁フランジ ・ 全て絶縁フランジ
（ ） 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

26 天井仕上げ区分

27 他工事との取合区分
スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。

28 施工図等の取扱い
施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

29 保険
受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている相立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
受注者は法定外の労災保険について、証書の写しを監督員に提出する。

30 配管識別
配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。

31 墜落制止用器具（フルハーネス型）
※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け発0622第2号）による
・使用を要しない

32 その他
完成図書の電子納品適用ガイドライン ※適用する ・適用しない
完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。
県営住宅の完成図書の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り2部とする。
三相誘導電動機はJ I S C 4 2 1 3（I E 3）トッパンナーモーターとする。
工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施することと、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

① 共通事項
改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

② 改修部分の足場
本工事で単独に必要な足場は、下記に限り設ける。
(1) 内部足場 ※ 願立足場 ・ 枠組足場 ・
(2) 外部足場 ※ A種（枠組足場） ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「[手すり先行工法に関するガイドライン]について」（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

● 改修一般事項（付加事項）

3 既存部分養生・既存家具等養生
(1) 関係受注業者と共用部分
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。
・本工事で負担とする。（種別は（2）による。）
(2) 本工事で単独が必要となる養生は、下記による。
※ビニールシート ・ 合板 ・

4 備品等の移動
・別途工事 ・ 本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

5 仮設間仕切り
(1) 関係請負業者と共用部分
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。
・本工事で負担とする。（種別は（2）による。）
(2) 本工事で単独が必要となる仮設間仕切りは、下記による。
※A種 単管下地全面シート張り ・

⑥ 撤去後機材の扱い
(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。
(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。
それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。

⑦ 支持金物の再使用
(1) インサート金物 ・ インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品
(2) 形鋼支持金物等 ・ 再使用できる ※新品

⑧ あと施工アンカーの種類
金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

9 フロン回収
冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。
※破壊フロン回収 ・ フロン再生後引き渡し ・ 未再生引き渡し
「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。

⑩ 総合調整
・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整

11 既設基礎等の解体はつり
建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。
現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。
粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

⑬ その他
(1) 図面上の縮尺は、J I S A 1版とした縮尺とする。
(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(5) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(6) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(7) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（6）第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事（第1期工事）	施工年度 令和3年度	図面番号 M-O 1
	図面名称 特記仕様書 1									工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	
												A2: 1/50, A3: 1/71

○ 空 気 調 和 設 備	1 設計温度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期温度50%とする。</p>		外 気		屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%
		外 気		屋 内																									
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																						
	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	%	℃	%																						
	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	%	℃	%																						
	2 総合運転調整	<p>※本工事 ・別途</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>風量調整</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>水量調整</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>騒音の測定</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>室内外空気の温度の測定</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>室内気流及びじんあいの測定</td> <td>・する</td> <td>※しない</td> </tr> <tr> <td>初期運転状態の記録</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>工事対象範囲の既設機器運転状態の記録</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> </tbody> </table>	風量調整	※する	・しない	水量調整	※する	・しない	騒音の測定	※する	・しない	室内外空気の温度の測定	※する	・しない	室内気流及びじんあいの測定	・する	※しない	初期運転状態の記録	※する	・しない	工事対象範囲の既設機器運転状態の記録	※する	・しない						
	風量調整	※する	・しない																										
	水量調整	※する	・しない																										
	騒音の測定	※する	・しない																										
	室内外空気の温度の測定	※する	・しない																										
	室内気流及びじんあいの測定	・する	※しない																										
	初期運転状態の記録	※する	・しない																										
	工事対象範囲の既設機器運転状態の記録	※する	・しない																										
	3 煙 道	<p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・4.5mm)</p> <p>(2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない</p> <p>(3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない</p>																											
	4 煙 突	※別途 ・本工事																											
	5 長方形ダクト	<p>※低圧ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</p> <p>・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>																											
	6 円形ダクト	<p>※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU)</p> <p>・換気用耐火2層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無)</p> <p>(注)1 使用区分は図示による。</p>																											
	7 風量測定口	<p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。</p> <p>送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p>																											
	8 チャンパー	<p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。</p> <p>・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>																											
9 吹出口及び吸込口ボックス	※垂鉛鉄板製 ・ガラスウール製																												
10 ダンパー	<p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p>																												
11 配管材料	<p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>(3) フライング管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・</p> <p>(4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管</p> <p>(保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上)</p> <p>ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。</p> <p>(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V P</p> <p>ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (ISO/ACI/In/17 相当品)</p> <p>・耐火2層管V P (FDPS-1)</p> <p>・配管用炭素鋼管 (白) ・硬質塩化ビニル管V P</p> <p>(消防協議事項:)</p> <p>ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。</p> <p>(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・</p> <p>(7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・</p> <p>還 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管</p> <p>(8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管</p> <p>※配管用炭素鋼管 (白) ・</p>																												
12 弁 類	<p>規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。</p> <p>また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。</p>																												
13 温 度 計	<p>取付部は下記による。</p> <p>※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空調調和機の冷温水管 (出入口共)</p> <p>※ダクト接続形空調機のサブライチャンパー、レンジダクト、</p> <p>外気取入ダクト及びレタンチャンパー</p> <p>※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p>																												
14 圧 力 計	<p>取付部は下記による。</p> <p>※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共)</p> <p>※空調調和機の冷温水管 (出入口共)</p> <p>※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p>																												
15 瞬間流量計	<p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・個) 付属とする。</p> <p>・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>・空調調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p>																												
16 油面制御装置	<p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・着脱形) を設ける。</p> <p>制御盤には (※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・過満警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御) の端子を設ける。</p> <p>なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p>																												
17 冷却塔	<p>※直交流式 ・向流型</p> <p>※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・</p> <p>補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>																												
18 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>標準仕様書によるほか下記による。</p> <p>(1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御</p> <p>(2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C)</p> <p>(注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。</p> <p>(注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。</p> <p>(3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>																												

1 長方形ダクト	<p>※低圧ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法</p> <p>それ以外の部分 ※アングルフランジ工法</p> <p>・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製)</p> <p>・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>									
2 円形ダクト	<p>※スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU)</p> <p>・耐火2層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・保温付 ・保温無)</p> <p>(注)1 使用区分は図示による。</p>									
3 風量測定口	<p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。</p> <p>送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p>									
4 チャンパー	<p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。</p> <p>・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p>									
5 ダンパー	<p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)</p>									
6 多湿箇所の排気ダクト	<p>(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU)</p> <p>(防火区画貫通箇所は換気用耐火2層管又は耐火V P) を使用できる。</p> <p>※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・</p> <p>(2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・) の排気ダクトには設ける</p>									
7 保 温	<p>下記のダクトの保温を行う。</p> <p>※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト</p> <p>仕様はN ・ (ロ) ・X1とする。</p> <p>保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。</p> <p>※ (※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh ・ (イ) ・IXとし範囲は図示による)</p>									
8 試運転調整	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>風量調整</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>風量測定</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> <tr> <td>騒音の測定</td> <td>※する</td> <td>・しない</td> </tr> </tbody> </table>	風量調整	※する	・しない	風量測定	※する	・しない	騒音の測定	※する	・しない
風量調整	※する	・しない								
風量測定	※する	・しない								
騒音の測定	※する	・しない								
1 ダ ク ト	※垂鉛鉄板 ・									
2 排煙口の形式	<p>※天井取付 (・スリット形 ※スイング形)</p> <p>・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)</p>									
3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)									
4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。									
1 中央監視制御装置	・有り ※無し									
2 構成・機能	図示による									
3 電気計装用機材	<p>使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。</p> <p>屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。</p> <p>天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p>									
① 小便器用節水装置	JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。									
② バリアフリー対応	<p>・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形</p> <p>手すり (・本工事 ※別途工事)</p> <p>・洗面器 ※自動水栓 (・全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部)</p> <p>・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式</p> <p>※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド</p> <p>・鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・傾斜鏡 (・照明無 ・照明付)</p>									
③ 衛生器具付属水栓	<p>(1) 器具付属止水水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式</p> <p>(2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマとする。</p>									
④ 自動水栓類の電源	※AC100V ・乾電池等 ・自己発電									
⑤ 暖房便座	<p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。</p> <p>(2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房</p> <p>(3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・貯湯式</p> <p>(4) 使用流体は、飲料用水道水とする。</p> <p>(5) リモコン ・AC100V ・乾電池等 ※自己発電</p>									
⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク	<p>器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。</p> <p>・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ)</p> <p>・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p>									
⑦ 大便器耐火カバー	※設ける (ピット内は除く) ・設けない									
⑧ 掃除流し	※共栓なしとする。 ・共栓付とする。									
⑨ 排水器具用ゴム継手	※使用できる ・使用できない									
10 標 記 板	大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。									
11 水せつけん入れ	せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗器に設ける。									
12 擬音装置	・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) <p>・男子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事)</p> <p>・多目的トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事)</p>									
⑬ そ の 他	衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。									

① 配管材料	<p>配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>・SUS ○SGP-VB</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管)</td> <td>・SUS ○SGP-VD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部)</td> <td>・SUS ○SGP-VD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>・HIVP ・水道用ステンレス鋼管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>・HIVP ・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○SGP-VD</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-VD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・SGP-VD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シダー内配管)</td> <td>※SUS ・SGP-VD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部)</td> <td>※SUS ・SGP-VD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-VD ・HIVP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリブテン管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・圧縮 ※ダブル・拡管) 便所・廊下流し廻り露出配管 (※拡管) とする。</p> <p>2. ステンレス管に取り付ける弁は、JV8-11による。</p> <p>3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。</p> <p>4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。</p> <p>5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。</p> <p>6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・SUS ○SGP-VB		・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管)	・SUS ○SGP-VD ・HIVP		・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部)	・SUS ○SGP-VD	地中埋設部 (水道直結部分)	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管		・水道配水用ポリエチレン管 (PE)		・	地中埋設部 (一般部分)	・HIVP ・水道用ポリエチレン管		・水道配水用ポリエチレン管 (PE)		○SGP-VD	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-VD ・HIVP		・ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-VD ・HIVP		・ポリブテン管	湿潤シダー内配管)	※SUS ・SGP-VD ・HIVP		・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部)	※SUS ・SGP-VD	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管		・水道配水用ポリエチレン管 (PE)		・	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-VD ・HIVP		・ポリブテン管
施 工 箇 所	管 種 別																																																														
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・SUS ○SGP-VB																																																														
	・ポリブテン管																																																														
ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管)	・SUS ○SGP-VD ・HIVP																																																														
	・ポリブテン管																																																														
保温をしない屋外露出部)	・SUS ○SGP-VD																																																														
地中埋設部 (水道直結部分)	・HIVP ・水道用ステンレス鋼管																																																														
	・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																														
	・																																																														
地中埋設部 (一般部分)	・HIVP ・水道用ポリエチレン管																																																														
	・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																														
	○SGP-VD																																																														
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																														
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																														
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																														
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																														
その他の部分	※SUS ・SGP-VD ・HIVP																																																														
	・ポリブテン管																																																														
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・SGP-VD ・HIVP																																																														
	・ポリブテン管																																																														
湿潤シダー内配管)	※SUS ・SGP-VD ・HIVP																																																														
	・ポリブテン管																																																														
保温をしない屋外露出部)	※SUS ・SGP-VD																																																														
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・水道用ポリエチレン管																																																														
	・水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																														
	・																																																														
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																														
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																														
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																														
その他の部分	※SUS ・SGP-VD ・HIVP																																																														
	・ポリブテン管																																																														
2 一体形タンク	<p>一体形タンクについての標準値は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p>																																																														
③ 水 栓	<p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。</p> <p>・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマとする。</p>																																																														
4 量 水 器	※観メーター (※資用品 ・) ・子メーター (※買取り ・)																																																														
5 量水器樹	※水道事業者指定品 ・標準図MC形																																																														
6 弁 類	<p>規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p>																																																														
7 水 栓 柱	※防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ・不凍給水栓																																																														
8 建物導入部配管	<p>図示部分について下記のとおり施工する。</p> <p>※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。</p> <p>・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))</p>																																																														
9 検針方法	水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。																																																														
10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。																																																														
11 本管取出し	水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。																																																														
① 配管材料	<p>配管材料は、※下記 ・図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ○V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ○V P</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ○V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用防火用樹脂被覆鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ○V P</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・VU</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・卵形管 (ゴム輪接合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・REP-VU (軽荷重の場合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RF-V P又はリサイクルV P ○V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>・耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>・リサイクルV P又はRF-V P ○V P</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。</p> <p>2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。</p> <p>3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY4.5で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)	その他の部分	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P		・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P	耐火性能を要求される場所	※耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用防火用樹脂被覆鋼管	その他の部分	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P		・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU		・卵形管 (ゴム輪接合)		・REP-VU (軽荷重の場合)		・RF-V P又はリサイクルV P ○V P	耐火性能を要求される箇所	・耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)	その他の部分	・リサイクルV P又はRF-V P ○V P		・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																												
施 工 箇 所	管 種 別																																																														
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P																																																														
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																														
耐火性能を要求される箇所	※耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																														
その他の部分	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P																																																														
	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																														
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P																																																														
耐火性能を要求される場所	※耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・排水用防火用樹脂被覆鋼管																																																														
その他の部分	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P																																																														
	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																														
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・VU																																																														
	・卵形管 (ゴム輪接合)																																																														
	・REP-VU (軽荷重の場合)																																																														
	・RF-V P又はリサイクルV P ○V P																																																														
耐火性能を要求される箇所	・耐火2層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・SGP (白)																																																														
その他の部分	・リサイクルV P又はRF-V P ○V P																																																														
	・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																														
② 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。																																																														
③ 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 <p>※掃除口付きソケット ・満水試験用掃除口ソケット</p>																																																														
4 樹の適用	別紙樹表による。																																																														

1 配管材料	<p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管 (M鋼管)</p> <p>・一般配管用ステンレス鋼管</p> <p>・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</p>
2 絶縁フランジ	<p>取付部は下記による。</p> <p>※鋼管と鋼管及びこれに類する部分</p> <p>※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p>
3 弁 類	<p>(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。</p> <p>(2) ステンレス管に取り付ける弁は、JV8-11による。</p>
4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型
5 電気給湯器	<p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>
○ 給湯設備	
○ 消火設備	<p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40</p> <p>消火用 地中埋設※SGP-VS ・HIVP</p> <p>一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40</p> <p>地中埋設※SGP-VS ・HIVP</p> <p>不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80</p>
○ ガス設備	<p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。</p> <p>・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP (白)</p> <p>地中埋設 ※PE管</p>
○ 厨房設備	<p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p>
	<p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>
○ 厨房設備	<p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p>
	<p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓</p>
	<p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>
舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書	
<p>第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。</p> <p>第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。</p> <p>・種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) ・ m3</p> <p>・中間処理施設 市 地内、(株) ・</p> <p>・処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ搬入 (処理に焼却又は溶融含まず)</p> <p>・中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)</p> <p>2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。</p> <p>2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。</p> <p>4 受注者は、濁水の処理に関する履行については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。</p> <p>第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。</p> <p>第5条 濁水処理業については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。</p> <p>2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事		施工年度	令和3年度	図面番号
	(第1期工事)		工事場所	M-O2											
	特記仕様書2				富士見市東みずほ台3丁目地内						縮尺				
A2: 1/50、A3: 1/71															

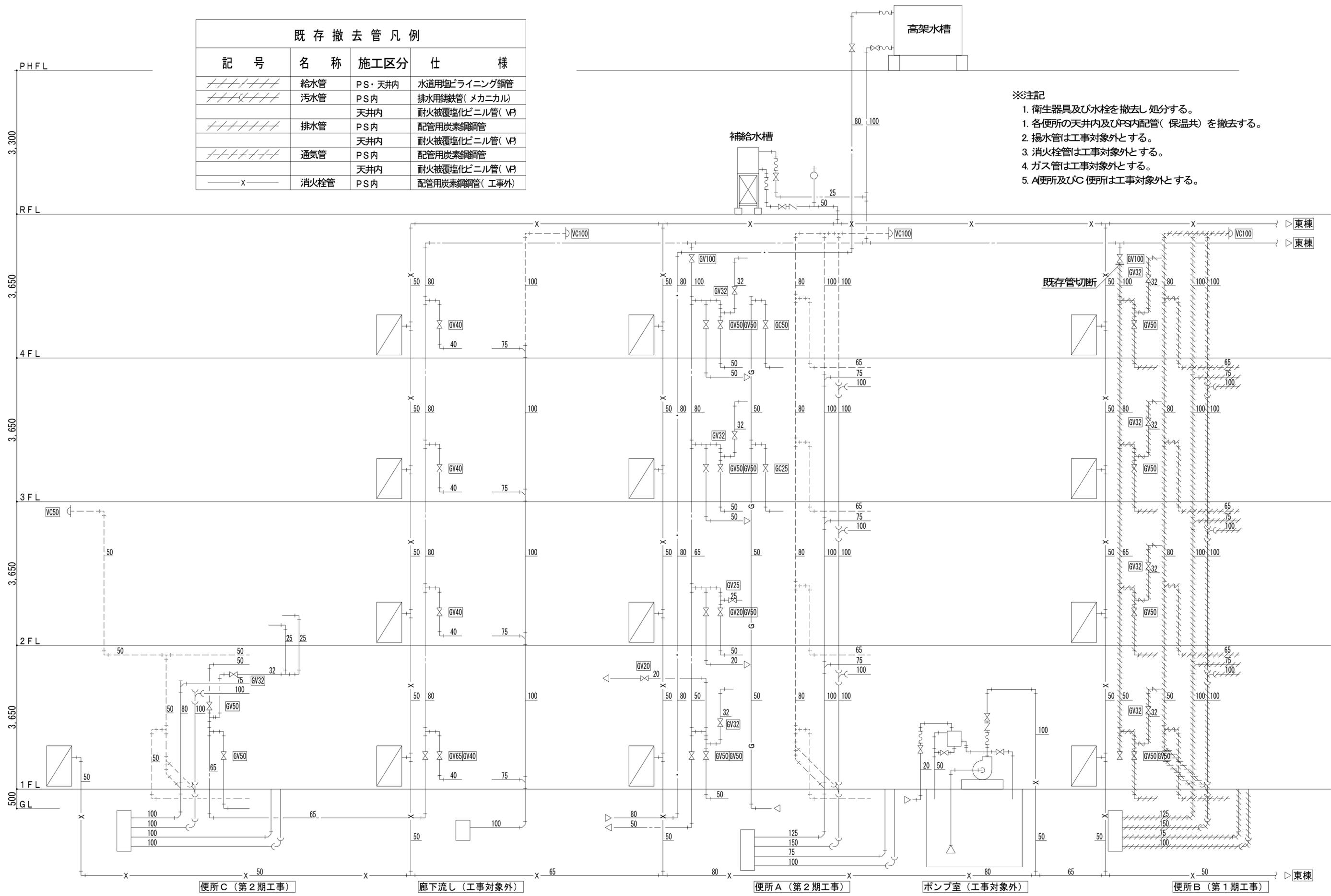
衛生設備撤去器具表

器具名	型式	設置場所											台数	
		西棟1階(B)			西棟2階(B)			西棟3階(B)			西棟4階(B)			
		生徒男子便所	生徒女子便所	多目的便所	生徒男子便所	生徒女子便所	通路	生徒男子便所	生徒女子便所	通路	生徒男子便所	生徒女子便所		通路
洋風便器	フラッシュバルブ	1	2		2	2		2	2		2	2		15組
車椅子対応便器	押しボタンフラッシュバルブ			1										1組
和風便器	フラッシュバルブ	1	2		1	2		1	2		1	2		12組
和風便器耐火カバー					1	2		1	2		1	2		9組
ストール小便器	フラッシュバルブ	4			5			5			5			19組
壁掛け洗面器	立水栓													
車椅子対応洗面器	立水栓			1										1組
掃除用流し														
化粧鏡	360×450	2		1			3			3			3	12枚
水栓		3	3				5			5			5	21個

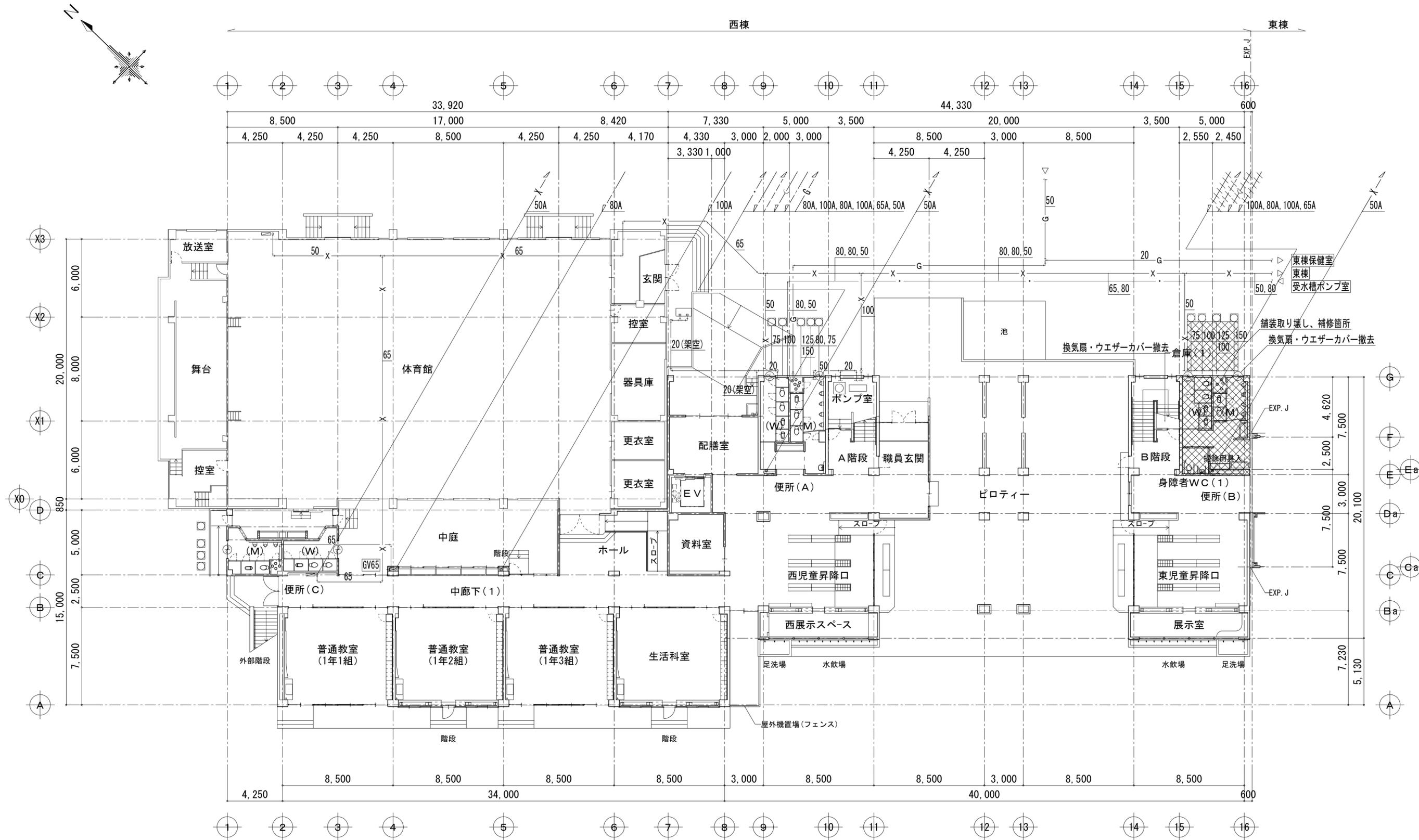
衛生設備撤去機器表

機器名	仕様	設置場所	台数
壁換気扇	仕様 250φ×690m3/h	西棟1-4階男女子便所(B)	8台
	備考 ウエザーカバー		

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
//////	給水管	PS・天井内	水道用塩ビライニング鋼管
//////	污水管	PS内	排水用鉄管(メカニカル)
//////	排水管	天井内	耐火被覆塩化ビニル管(VP)
//////	通気管	PS内	配管用炭素鋼管
//////	消火栓管	天井内	耐火被覆塩化ビニル管(VP)
—x—		PS内	配管用炭素鋼管(工事外)



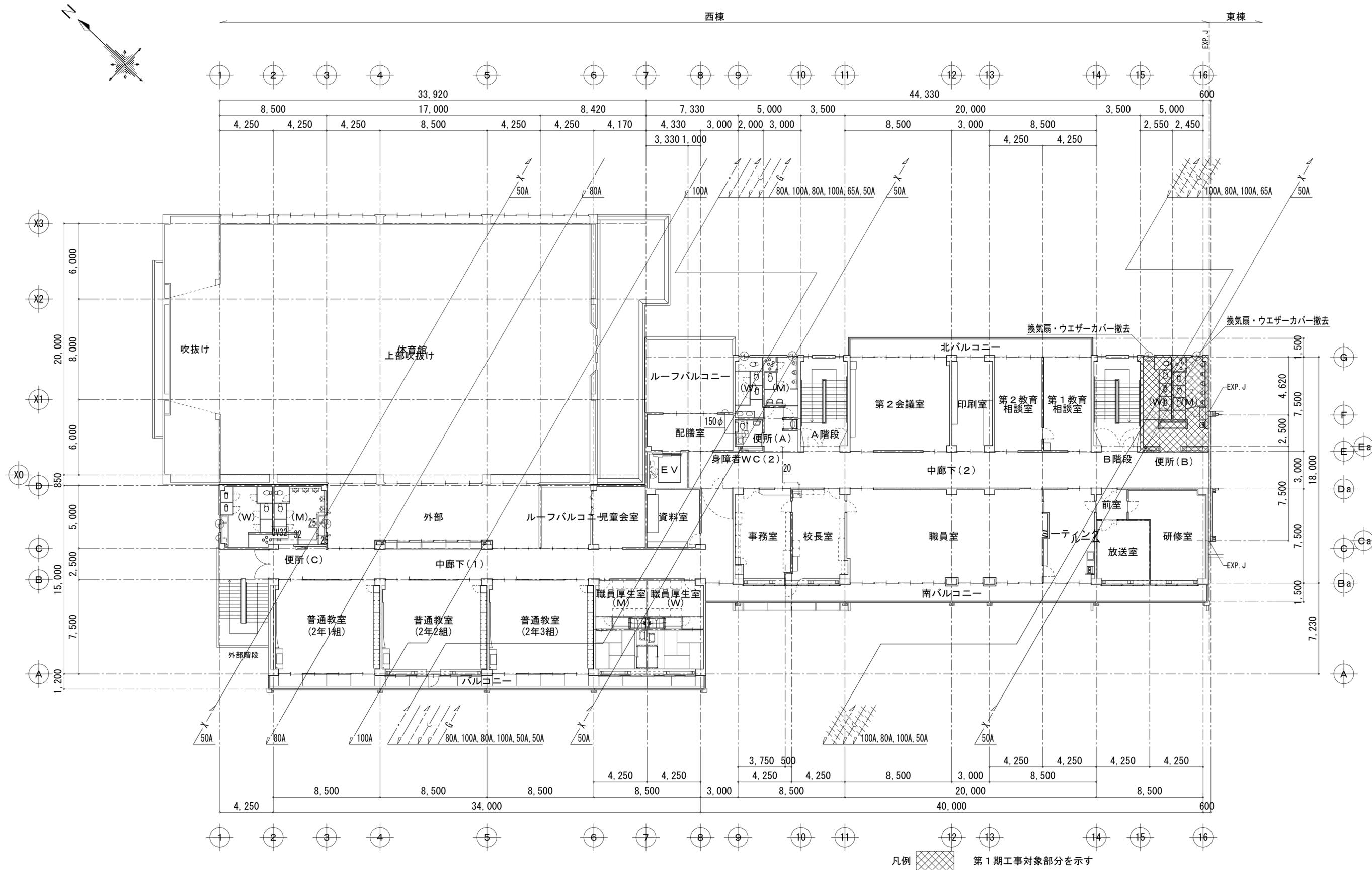
- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 1. 各便所の天井内及びPS内配管(保温共)を撤去する。
 2. 揚水管は工事対象外とする。
 3. 消火栓管は工事対象外とする。
 4. ガス管は工事対象外とする。
 5. A便所及びC便所は工事対象外とする。



1階平面図【改修前】 S=1/200

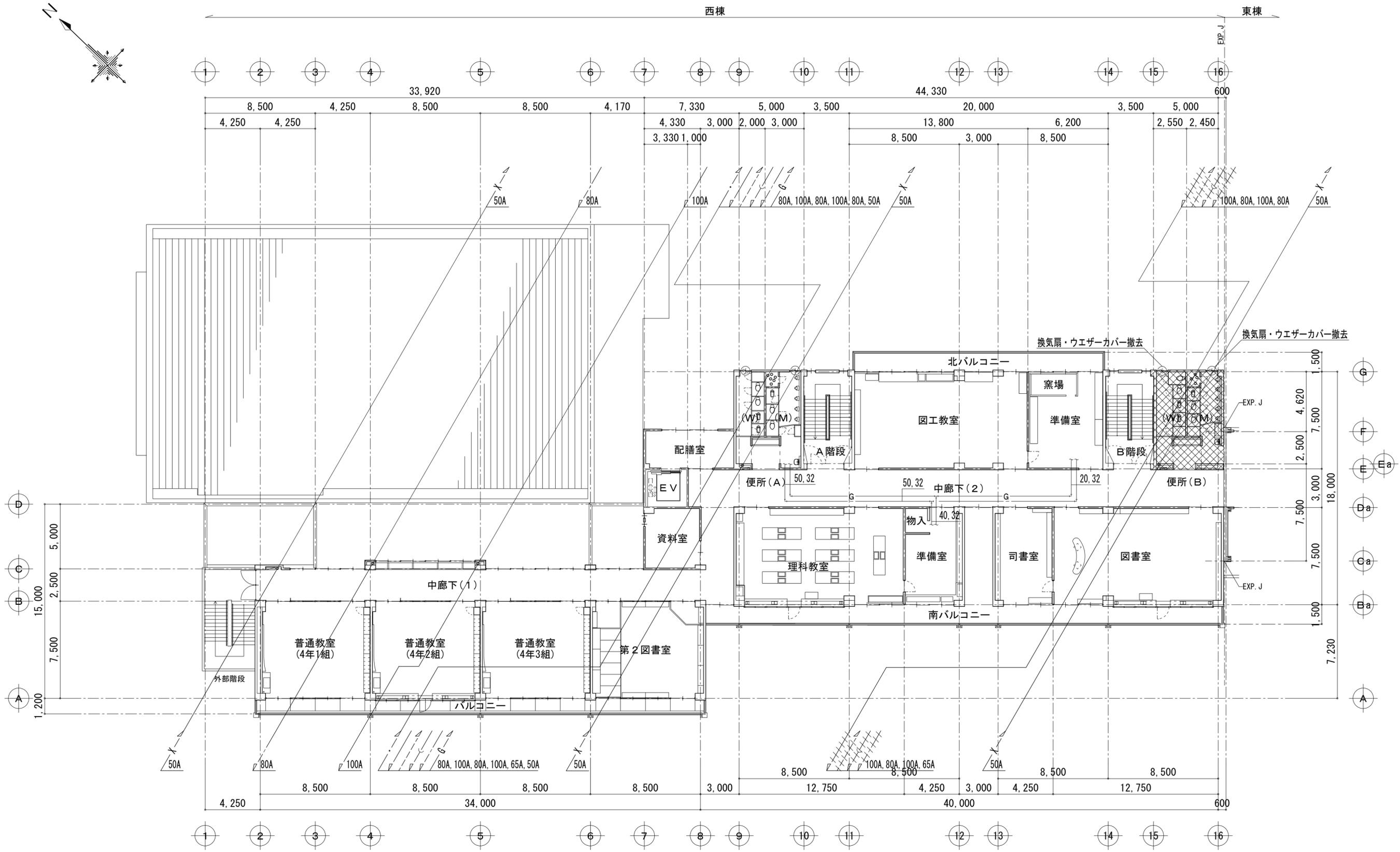
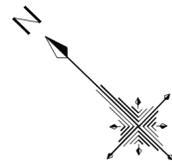
凡例  第1期工事対象部分を示す

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	M-06	
	図面名称										1階平面図【改修前】	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	S=1/200	
	A2: 1/200, A3: 1/282															



2階平面図【改修前】 S=1/200

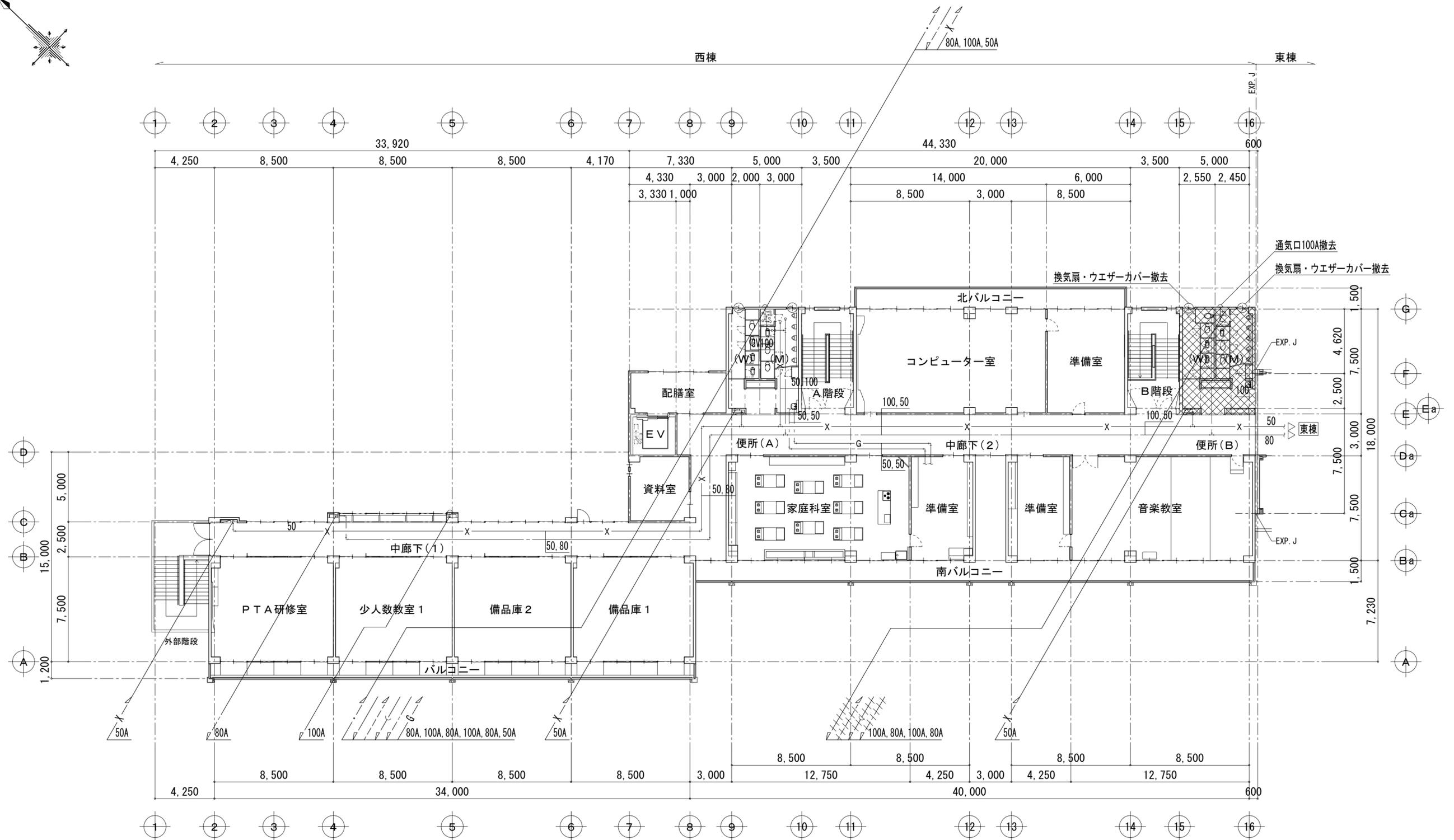
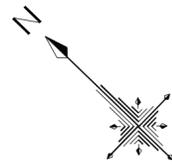
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	M-07
	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282	図面名称		2階平面図【改修前】								



3階平面図【改修前】 S=1/200

凡例 第1期工事対象部分を示す

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 M-08
	図面名称 3階平面図【改修前】										工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282



4階平面図【改修前】 S=1/200

凡例  第1期工事対象部分を示す

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	M-09
	図面名称	4階平面図【改修前】	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺		S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282								

衛生設備新設器具表

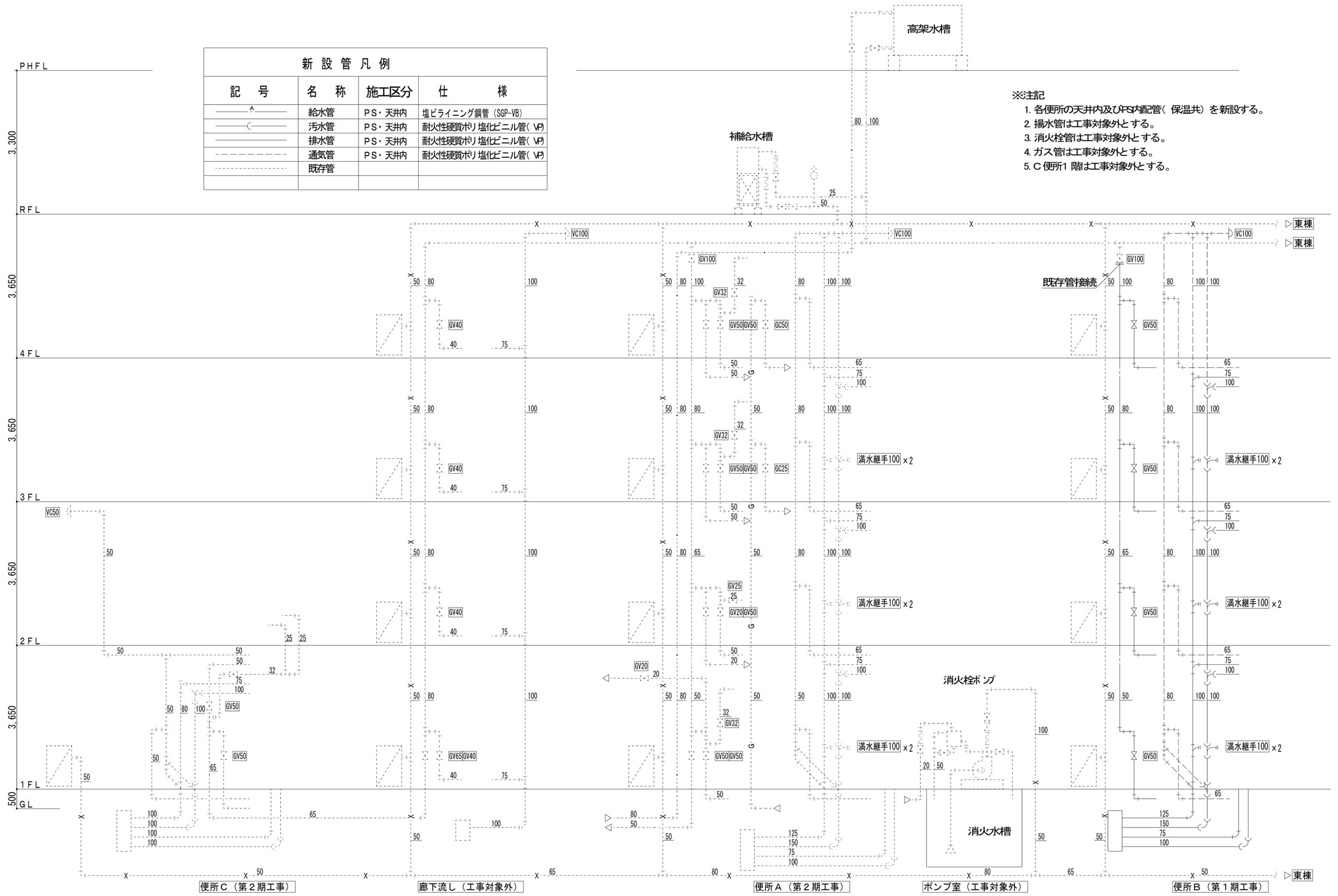
器具名	参考品番		付属品	設置場所												台数	
				西棟1階(B)				西棟2階(B)			西棟3階(B)			西棟4階(B)			
	生徒男子便所	生徒女子便所		多目的便所	通路	生徒男子便所	生徒女子便所	通路	生徒男子便所	生徒女子便所	通路	生徒男子便所	生徒女子便所	通路			
洋風便器	CFS-494NHNS	CP-25S	床給水777mm ^φ 17 CF-T7114A ヲ閉止普通便座CF-49AT SUS製棚付2連紙巻器CF-63HST 付属品共	1	3			2	3		2	3					14組
洋風便器	CFS-494NSNS	CP-25S	床給水低圧777mm ^φ 17 CF-T7114TA ヲ閉止普通便座CF-49AT SUS製棚付2連紙巻器CF-63HST 付属品共											2	3		5組
車椅子対応便器	CFS-494NKNA	CP-25S	自動洗浄弁OKC-AT781 洗浄便座CW-PC12-NECK (金属ベースプレート、固定強化ボルト)			1											1組
			タッチスイッチOKC-8BY SUS製棚付2連紙巻器CF-63HST 付属品共														
和風便器	C-755VU	C-852B	節水フラッシュバルブCF-T610B SUS製棚付2連紙巻器CF-63HST 付属品共	1	1			1	1		1	1					6組
			低圧フラッシュバルブCF-610BUT SUS製棚付2連紙巻器CF-63HST 付属品共										1	1			2組
和風便器耐火カバー	HGS-755V	R-40	床上給水便器用 付属品共					1	1		1	1		1	1		6組
自動洗浄小便器	UFS-900R	U-A51AP	壁掛低リップ型 付属品共	3				4			4			4			15組
カウンター洗面器	L-350CM	L-2150P	自動単水栓AM-130C 壁給水 壁排水トラップ 付属品共	2	2			2		3	2		3	2		3	19組
車椅子対応洗面器	L-103DMP	L-365APR	自動単水栓AM-200CV1 壁給水 壁排水トラップ 付属品共			1											1組
掃除用流し	SK-22A	S-202A	給水ホースSF-202 付属品共		1		1			1			1			1	5組
コンパクトストリートパック	UAS-81LSB2NW	PTOM-A210TLS	紙巻器 水石入れ 側板 付属品共			1											1組

※注記

1. てすり・化粧鏡は取付共、別途建築工事
2. 陶器の色は工事にて決定する。

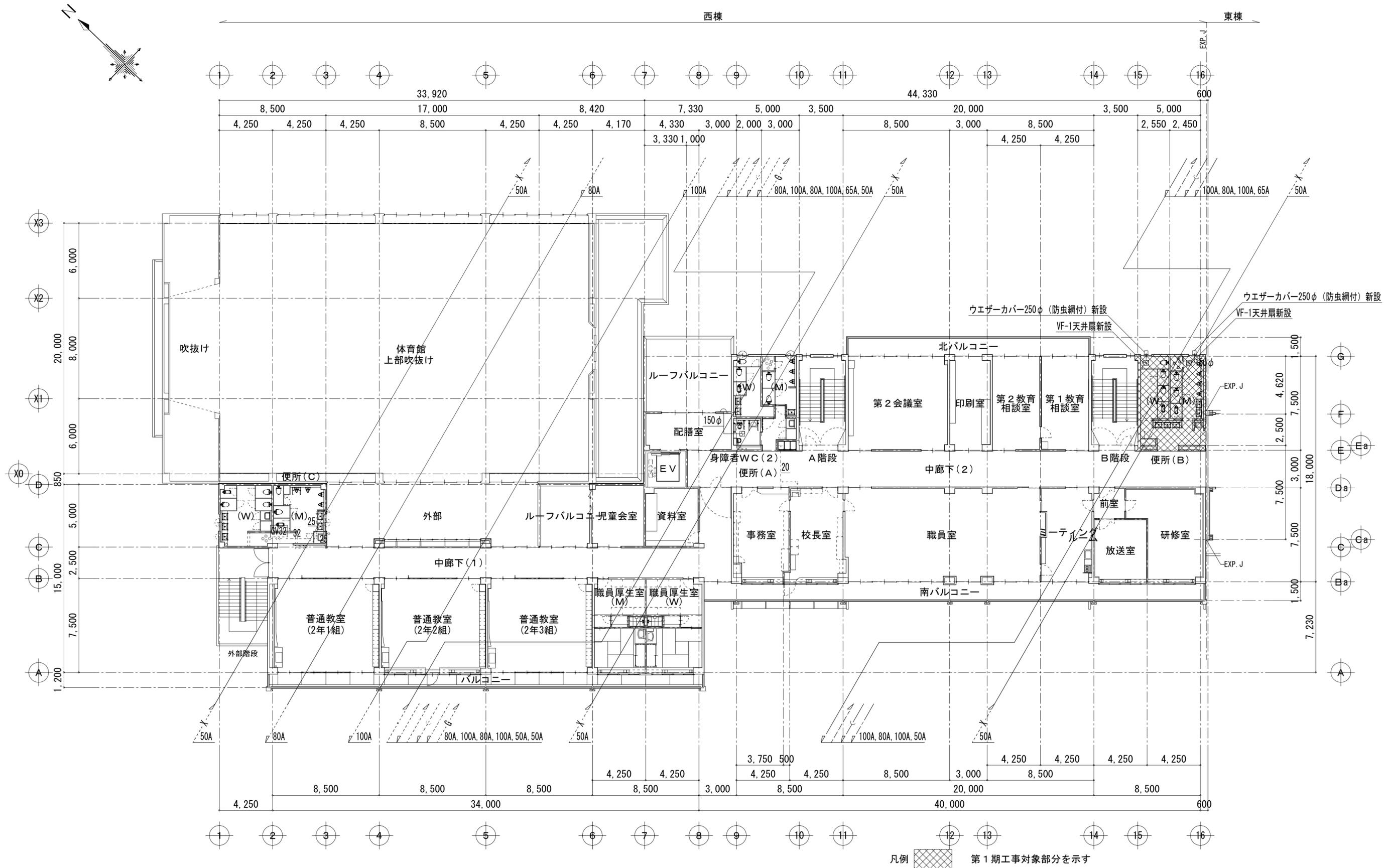
衛生設備新設機器表

記号	機器名	仕様	電源			設置場所	台数	備考
			φ	V	kw(w)			
VF-1	天井扇	形式 低騒音タイプ 仕様 150φ×350m3/h×40Pa 備考 ウエザーカバー (防虫網付) 新設、壁開口部鉄板塞ぎのうえダクト接続			(44.0)	西棟1-4階男女子便所 (B)	8台	VD-20ZB12
VF-2	天井扇	形式 低騒音タイプ 仕様 100φ×120m3/h×40Pa 備考 ダクト以降は既存再使用			(14.0)	西棟1階多目的便所 (B)	1台	VD-15Z12



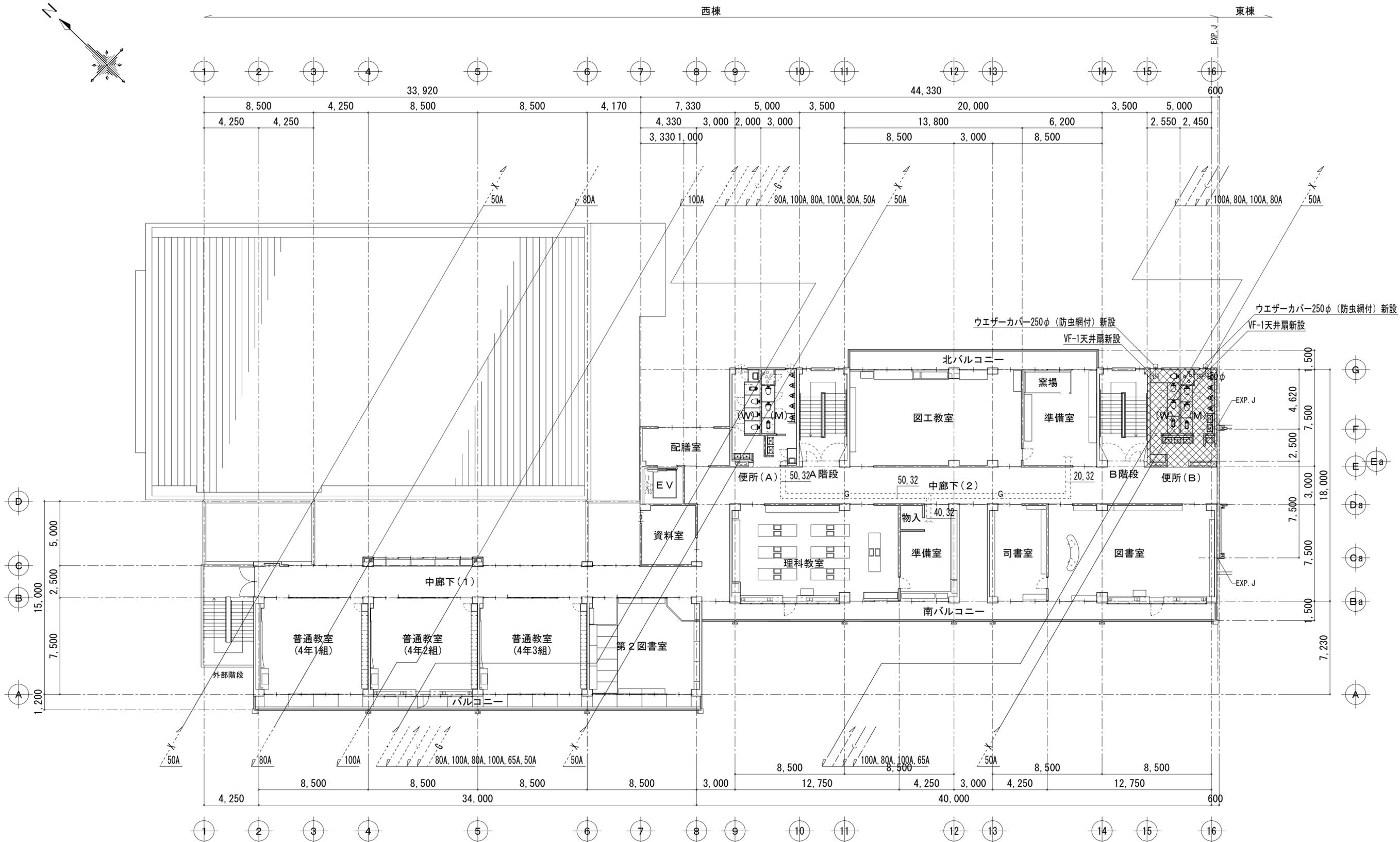
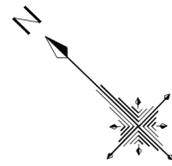
新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
—A—	給水管	PS・天井内	塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
—C—	污水管	PS・天井内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—	排水管	PS・天井内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- - -	通気管	PS・天井内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- - -	既存管		

- ※注記
- 各便所の天井内及びPFS内配管(保温共)を新設する。
 - 揚水管は工事対象外とする。
 - 消火栓管は工事対象外とする。
 - ガス管は工事対象外とする。
 - C便所1階は工事対象外とする。



2階平面図【改修後】 S=1/200

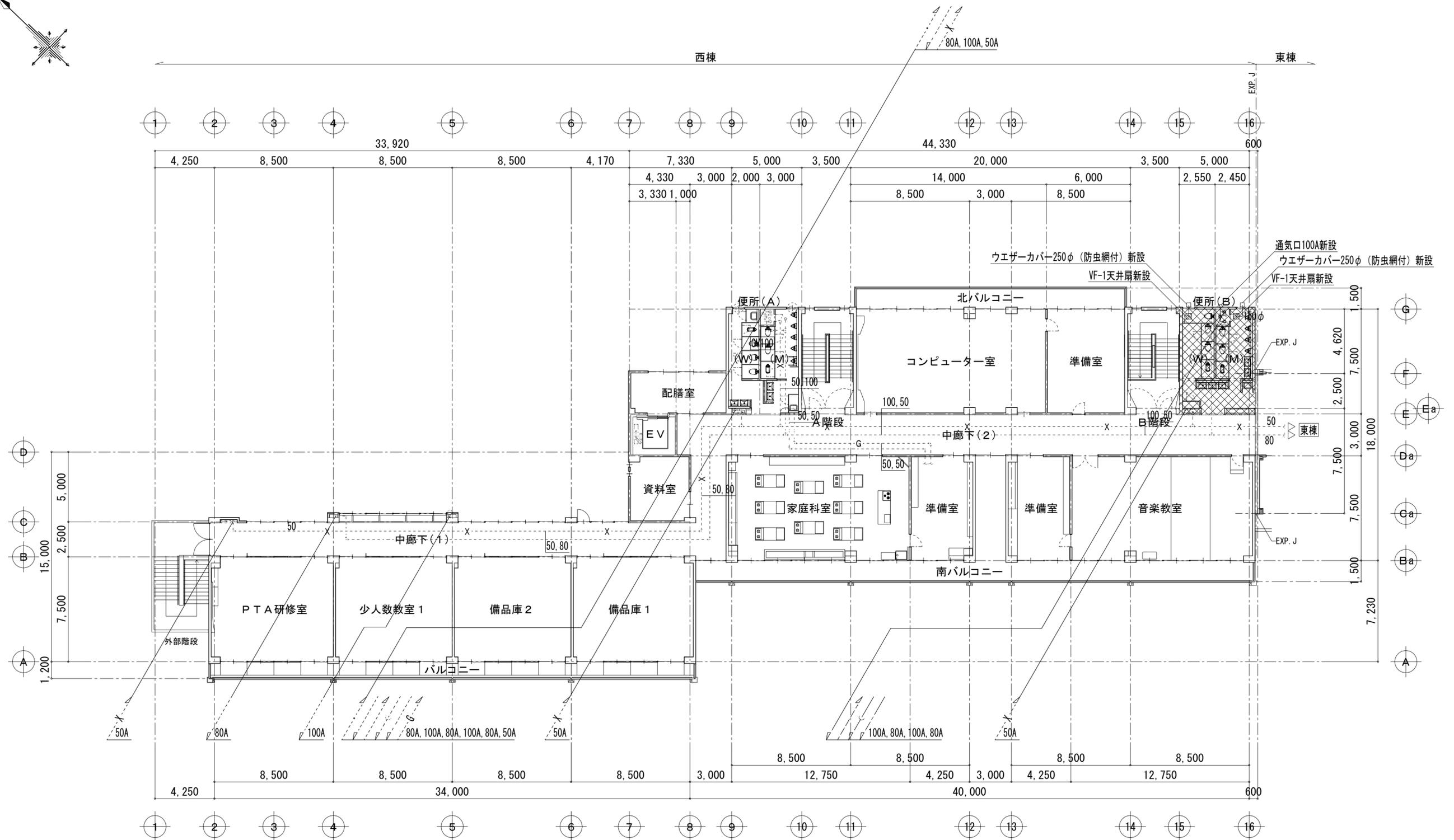
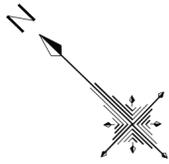
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	M-13
	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282	図面名称		2階平面図【改修後】	施工年度	令和3年度	図面番号	M-13				



3階平面図【改修後】 S=1/200

凡例 第1期工事対象部分を示す

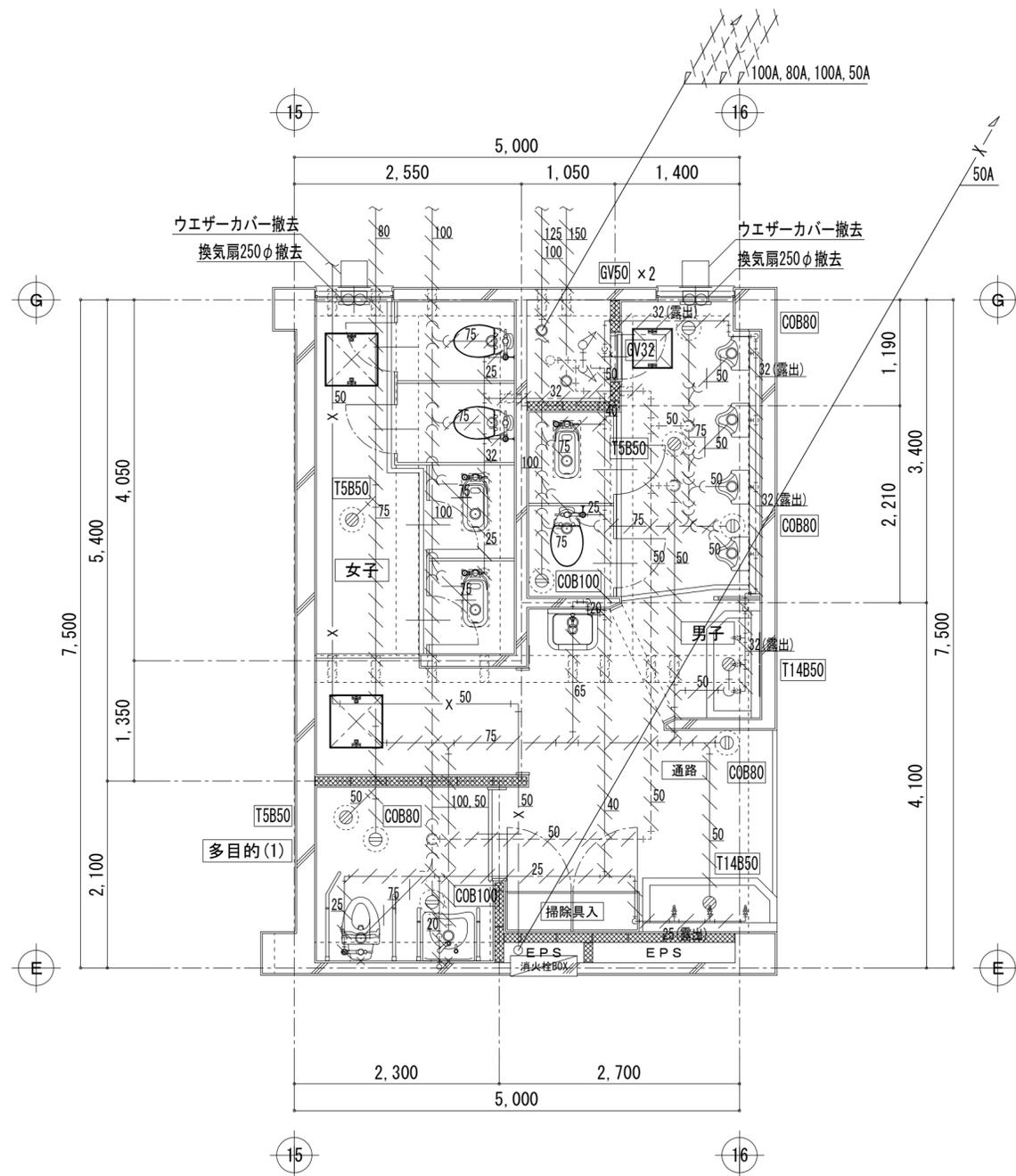
富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度 令和3年度	図面番号 M-14
	図面名称 3階平面図【改修後】										工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺 S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282



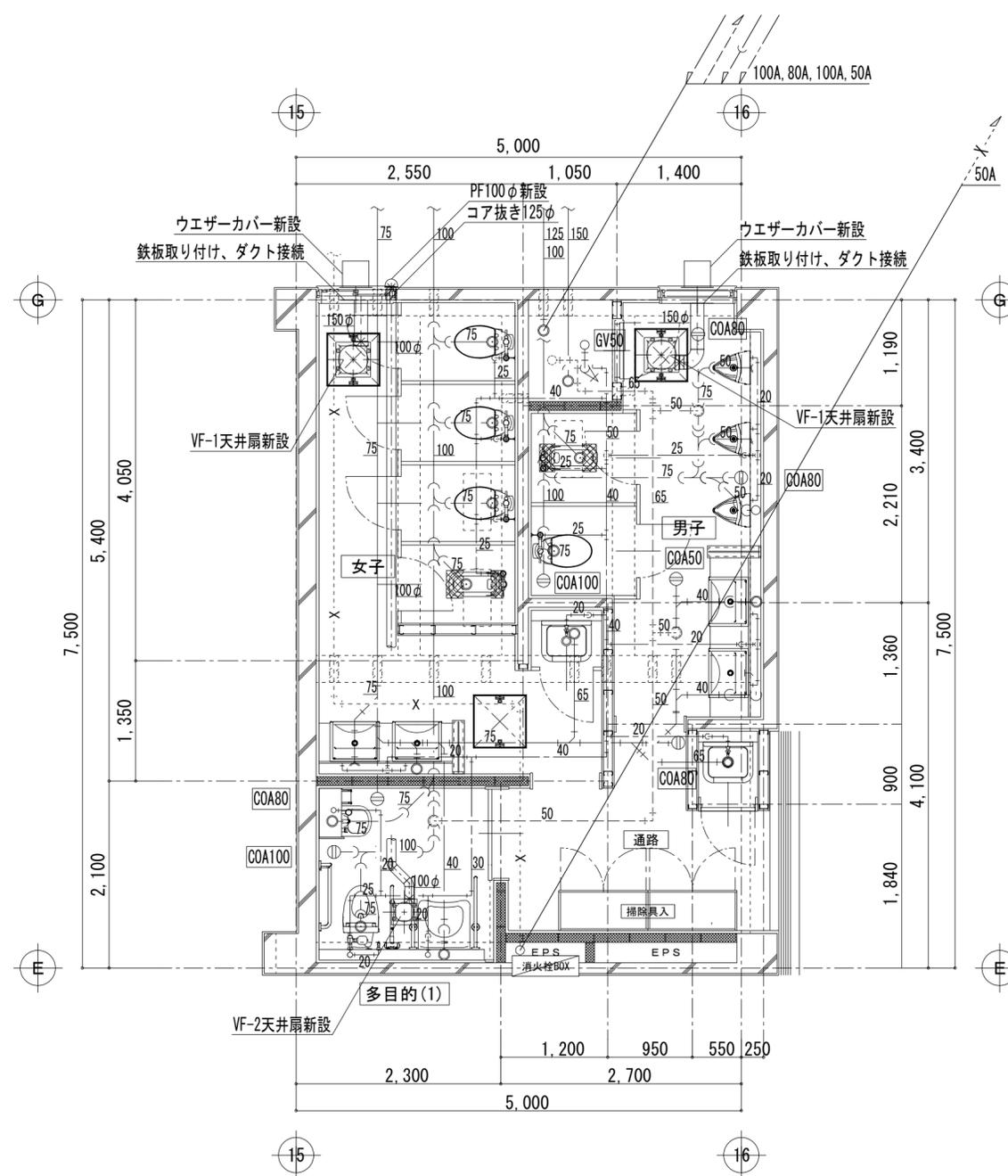
4階平面図【改修後】 S=1/200

凡例 第1期工事対象部分を示す

富士見市総務部営繕課	課長	副課長	主査	監督員	主幹	(有) 梶 芳晴 建築設計研究所 一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号 一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴	JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY	工事名称	市立みずほ台小学校トイレ改修工事 (第1期工事)	施工年度	令和3年度	図面番号	M-15
							図面名称	4階平面図【改修後】	工事場所	富士見市東みずほ台3丁目地内	縮尺	S=1/200 A2: 1/200, A3: 1/282			



1階平面詳細図 [改修前] S=1/50



1階平面詳細図 [改修後] S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ピット内	水道用塩ビライニング鋼管
	汚水管	ピット内	硬質塩化ビニル管 (VP)
	排水管	地中埋設	排水用鋳鉄管
	通気管	ピット内	硬質塩化ビニル管 (VP)
	消火栓管	ピット内	配管用炭素鋼鋼管 (工事外)

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. ピット内及びEPS内配管(保温共)を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 汚水管及び排水管は第一樹までを撤去する。
 5. 消火栓配管は既存のままとする。
 6. 換気扇250φ及びウエザーカバーを撤去する。
 7. 多目的便所の天井扇150φを撤去し、ダクトは再使用する。
 8. 和風便器撤去後の開口閉鎖(補強共)は建築工事とする。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
	給水管	ピット内	塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)
	汚水管	ピット内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管 (VP)
	排水管	ピット内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管 (VP)
	通気管	ピット内	リサイクル発泡3層塩化ビニル管 (VP)
	消火栓管	ピット内	配管用炭素鋼鋼管 (工事外)
	既存管	埋設	

- ※注記
1. 衛生器具を新設する。
 2. ピット内及びEPS内の給排水・汚水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 汚水管及び排水管は第一樹までを新設する。
 4. 天井扇150φ及びウエザーカバーを新設する。
 5. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 6. 多目的便所の天井扇及びダクトを新設する。

富士見市総務部営繕課

課長	副課長	主査	監督員	主幹

(有) 梶 芳晴 建築設計研究所

一級建築士事務所 埼玉県知事登録(6)第6029号
一級建築士 大臣登録 第137820号 梶 芳晴

JOB MANAGER	JOB CAPTAIN	DRAFTING BY

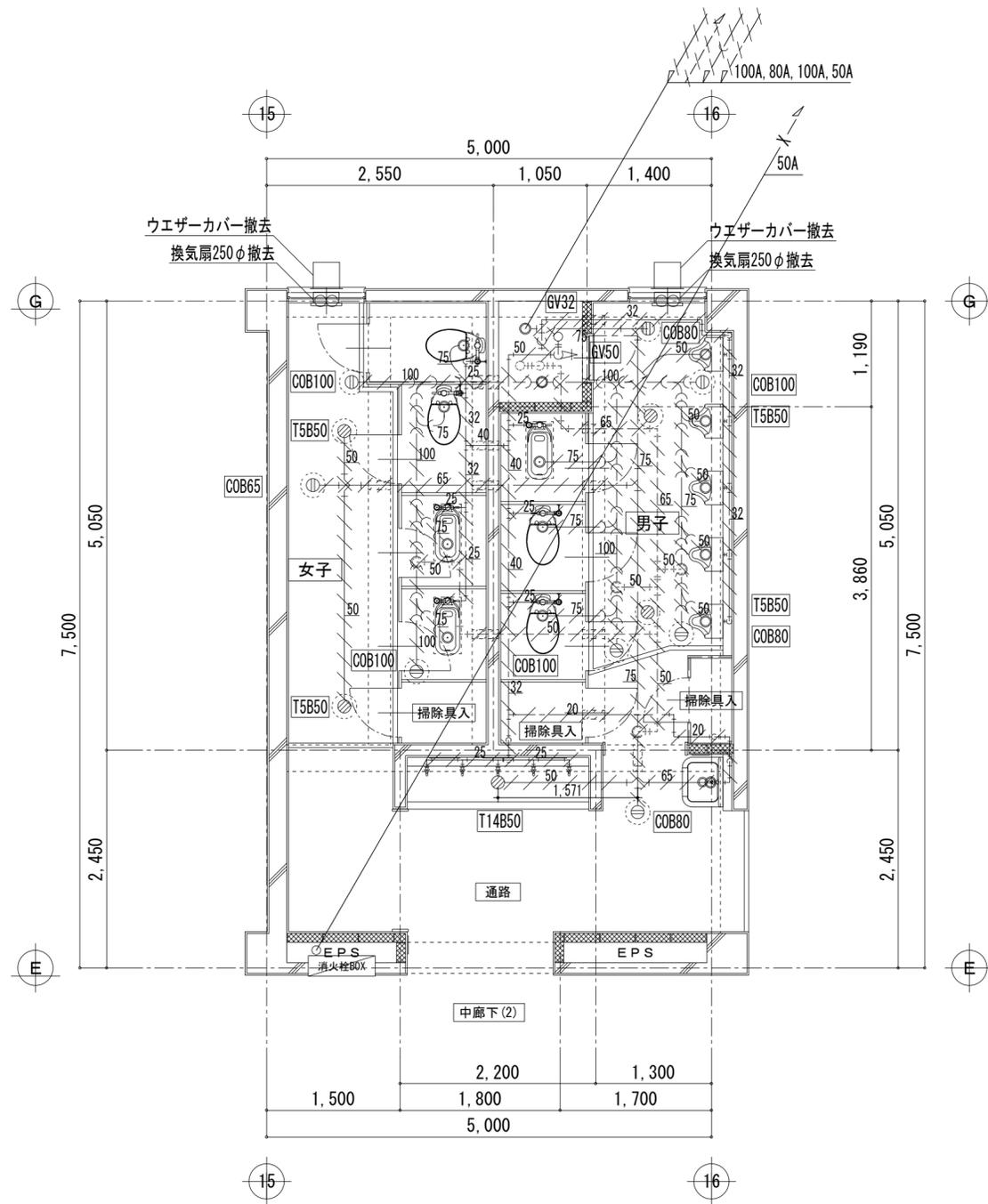
工事名称 市立みずほ台小学校トイレ改修工事
(第1期工事)

図面名称 便所(B)1階平面詳細図【改修前・後】

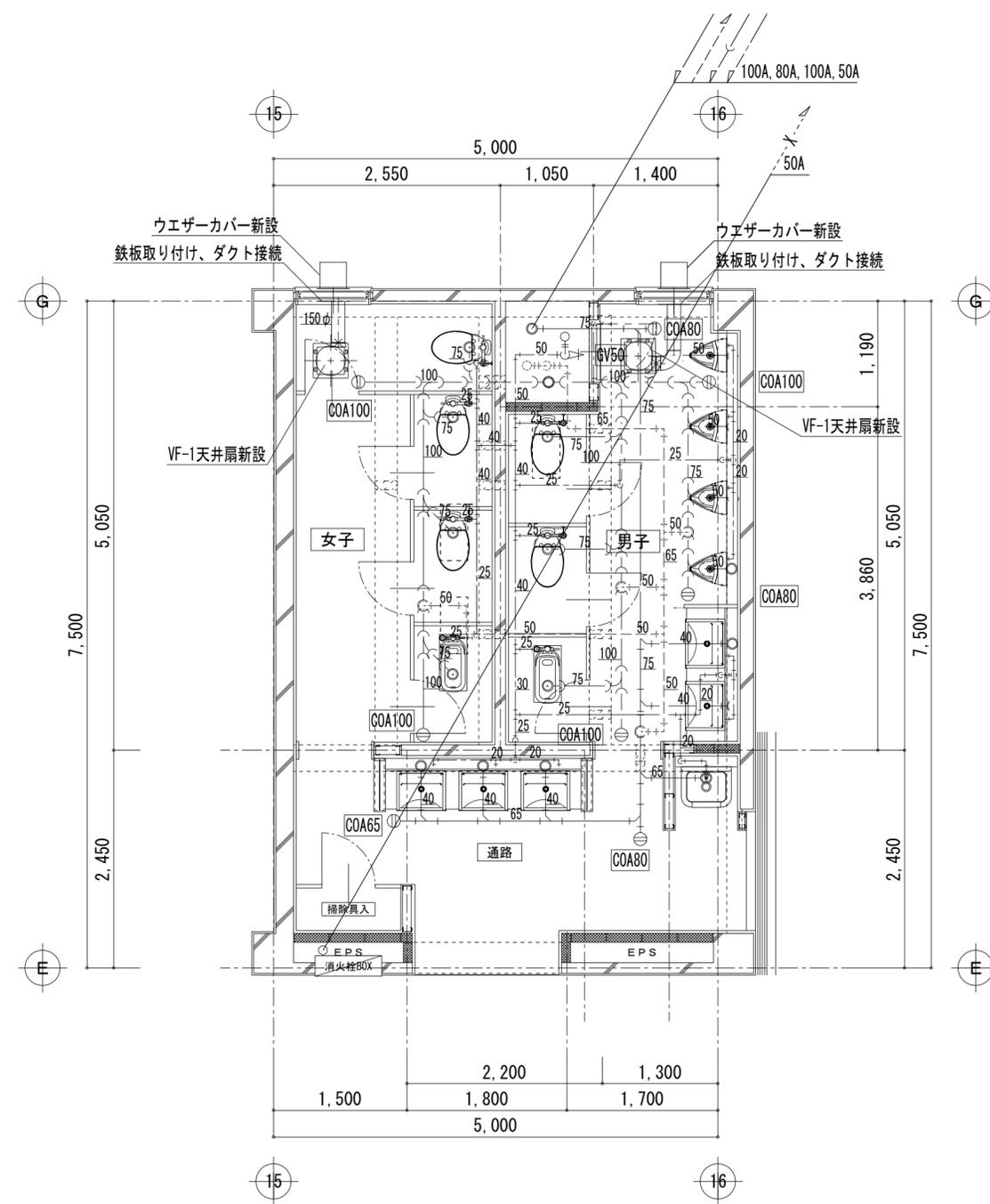
施工年度 令和3年度

工事場所 富士見市東みずほ台3丁目地内

図面番号	M-16
縮尺	S=1/50
	A2: 1/50, A3: 1/71



2・3・4階平面詳細図 [改修前] S=1/50



2・3・4階平面詳細図 [改修後] S=1/50

既存撤去管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
////	給水管	PS・天井内	水道用塩ビライニング鋼管
////	污水管	PS内	排水用鉄管(メカニカル)
////	排水管	天井内	耐火被覆塩化ビニル管(VP)
////	排水管	PS内	配管用炭素鋼管
////	通気管	天井内	耐火被覆塩化ビニル管(VP)
////	通気管	PS内	配管用炭素鋼管
////	通気管	天井内	耐火被覆塩化ビニル管(VP)
-x-	消火栓管	PS内	配管用炭素鋼管(工事外)

- ※注記
1. 衛生器具及び水栓を撤去し処分する。
 2. 天井内及びPS内配管(保温共)を撤去する。
 3. 掃除口、床排水トラップを撤去する。
 4. 消火栓配管は既存のままとする。
 5. 換気扇250φ及びウエザーカバーを撤去する。
 6. 和風便器撤去後の開口閉鎖(補強共)は建築工事とする。

新設管凡例			
記号	名称	施工区分	仕様
A	給水管	PS・天井内	塩ビライニング鋼管(SGP-VB)
C	污水管	PS・天井内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
-	排水管	PS・天井内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
-	通気管	PS・天井内	耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
-x-	消火栓管	PS内	配管用炭素鋼管(工事外)

- ※注記
1. 衛生器具を新設する。
 2. 天井内及びPS内の給排水・污水・通気管・掃除口を新設する。
 3. 天井扇150φ及びウエザーカバーを新設する。
 4. 新設配管は既存梁貫通スリーブを使用する。
 5. 和風便器用の床研り補修は本工事とする。
 6. 和風便器用の開口補強は建築工事とする。

